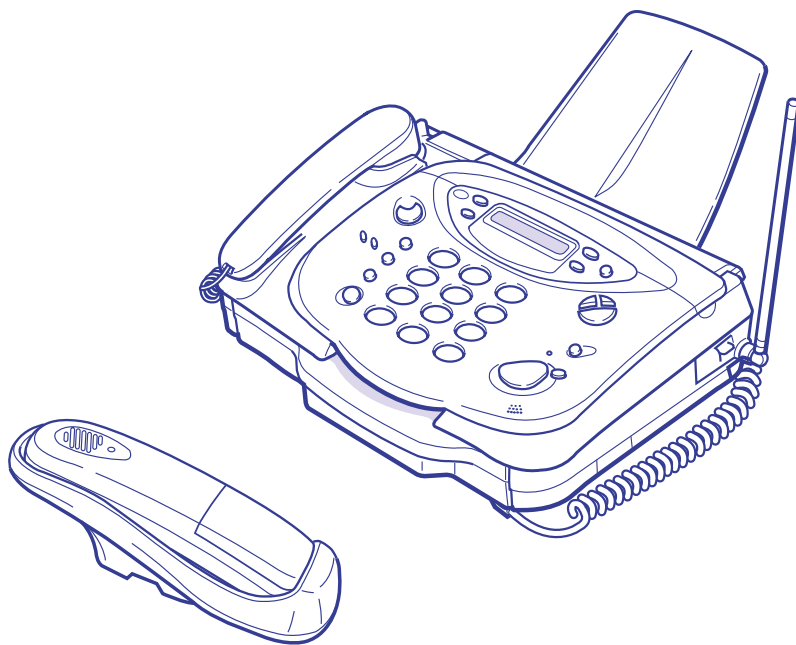


NECパーソナルファクシミリ

スピークス

speex 315 KCL / KCLW

取扱説明書



注 製品をご使用前に必ず本書をお読みください。
注 本書はいつでも活用できるように大切に保管してください。

ご使用前の
注意

設置と
初期状態

電
話

ファ
クス

留
守
番

ハン
ドス
キャ
ナ

スー
パー
L
C
R

ダイ
ヤル
イン

困
った
とき
は

はじめに




このたびはコードレス留守番電話付きファクシミリ「speax（スピークス）315シリーズ」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

品名	機器構成	備考
speax315KCL	親機（本体）と子機1台	増設できる子機の台数は最大3台まで
speax315KCLW	親機（本体）と子機2台	増設できる子機の台数は最大2台まで

なお、本書ではspeax315KCLについて子機の増設も含めて説明していますので、speax315KCLWについては、speax315KCLに子機を1台増設した場合として本書をお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただくための表示について

本書では製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を表示や図記号で示しています。表示や図記号の意味は次のとおりです。

- | | |
|---|--|
|  | 危険 : 人が死亡するまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
|  | 警告 : 人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 : 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例



記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は高温注意)が描かれています。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

本製品の故障・誤動作、停電あるいは天災等によって本製品が使用できなくなった場合、それに付随して生じる損害(通信・録音等上に生じる機会損失等)に対しては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品を改造しないでください。改造・回路変更等を行った場合、当社は一切責任を負いません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い

本品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。



本書の見方

本書の構成は次のとおりです。

ご使用前の注意

- ・安全に正しくご使用いただくために
- ・コードレス子機使用についてのご注意
- ・停電したとき

…………… 本製品を安全に正しくご使用いただくために守っていただきたい事を説明しています。必ずお読みください。
また、コードレス子機使用についてのご注意や、停電したときのことを説明しています。

設置と初期状態

- ・組み立てかた
- ・接続のしかた
- ・自分の電話番号を登録する
- ・初期状態について

…………… 本製品の組み立てかたや電話回線の接続のしかたなどについて説明しています。
また、お買い上げ時の本製品の設定状態について説明しています。

電話

…………… 電話のかけかた / 受けかたや、いろいろな使いかたなどについて説明しています。

ファクス

…………… コピーのしかたや、ファクスの送信や受信のしかたなどについて説明しています。

留守番

…………… 留守番電話の使いかたについて説明しています。
また、おやすみモードの使いかたについて説明しています。

ハンズキャナ

…………… ハンズキャナを使ったコピーのしかたや、ファクスの送信のしかたについて説明しています。

スーパー L C R

…………… スーパー L C R の利用について説明しています。

ダイヤルイン

…………… N T T のダイヤルインサービスの利用について説明しています。

困ったときは

…………… 原稿や記録紙がつまったときの対処方法や、記録紙の交換方法などについて説明しています。
また、いろいろな疑問などについて Q & A 形式で説明しています。
うしろには操作早わかりガイドがあります。

！安全に正しくご使用いただくために - 必ずお読みください -

設置についてのご注意

！危険

付属の充電器以外を使用しないでください。火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



電池は極性表示（プラスとマイナスの向き）を確認してから機器内に挿入してください。間違えると、電池の破壊・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



！警告

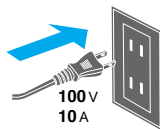
本機に水が入ったりしないように、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。



AC100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

115V
200V

電源プラグは100V10A専用コンセントに差し込んでください。やむを得ず、同じコンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、電流値の合計がコンセントの最大値を超えないようにしてください。火災の原因となります。



本体の電源コードはたこ足配線にしないでください。たこ足配線にすると、テーブルタップ等が過熱・劣化し、火災の原因となります。



電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。



開口部から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱されたり、ひっぱったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



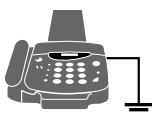
病院内などで使用される場合には、医用電気機器に電波による影響を与えることも考えられますので、医用電気機器の近く（例えば、手術室や集中治療室内など）ではご使用にならないでください。



⚠ 注意

湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。アース線が取り付けられるところは次の部分です。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを6.5cm以上、地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）が行われている接地端子



次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。

- ・ガス管、電話専用アース線、避雷針、水道管や蛇口

子機を壁掛け用に取り付ける場合は機器の重みにより落下しないよう、堅固に取り付け、設置してください。けがの原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

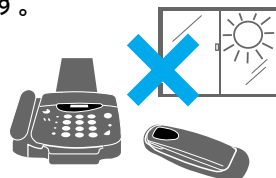
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

直射日光の当たるところや温度が高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認の上行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。漏電して、火災や感電の原因となります。

ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。装置の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙が詰まって、故障の原因となります。

漆等、高温で変色する可能性のある材質の台の上には置かないでください。変色の原因となります。

使用する際のご注意

⚠ 警告

本機の上や近くに、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などが入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

本機で指定されていない電池は使用しないでください。電池の破壊、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。

本機を分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本体内部のサーマルヘッドとその周辺は高温になっています。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。内部の点検、修理はご購入店またはNECサービスセンター、サービスステーションにご依頼ください。

子機をねじったり、重い物をのせたり、ポケットに入れたまま椅子などに強く押しつけたりして圧迫しないでください。子機が破損し、火災・けが・やけどの原因となることがあります。

⚠ 注意

本機のアンテナを誤って目にささないようにしてください。



旅行などで、長期間本機をご使用にならないときは安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



記録紙交換などで開閉部を閉めるとき、指挟み、指のけがにご注意ください。



ゴミブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。



通信やコピー中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。



極端に暑い場所（35℃以上）や寒い場所（5℃以下）では使用しないでください。誤動作・故障の原因となります。



落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。



ハンズキャナを落としたり、固いものにぶついたりしないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。



もしもこんなときは

⚠ 警告

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。



電池を廃棄する場合は火中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となることがあります。



万一、本機を落としたり、カバーを破損した場合や、電源コードが痛んだ場合（芯線の露出、断線など）は電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNECサービスセンター、サービスステーションに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



⚠ 注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。



雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。



！コードレス子機使用についてのご注意

子機の通話範囲について

子機を親機から離しすぎると、通話できなくなったり子機の呼出ベルが鳴らなくなったりします。使用できるのは、親機と子機の間に見えるものがない場合で100m程度です。

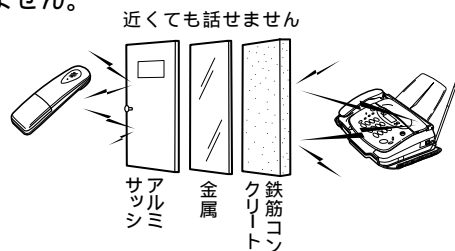


建物内などは、親機と子機の間にも何も見えなくても電波の届く範囲が狭くなる場合があります。

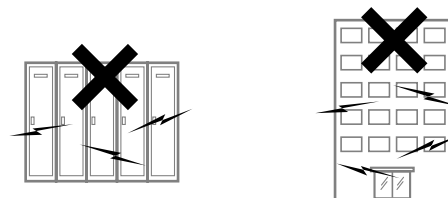
建物内の異なる階層（上下）や屋外を經由するときは通話できないことがあります。

親機のアンテナはまっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

親機との間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシ等の障害物がある場合は、電波が届きません。



次のような場合は、電波の届く距離が短くなります。



- ・ 金属製家具の近くなど
- ・ マンションなど鉄筋コンクリートの壁で仕切られていたり金属製のドアの内と外のように障害物があるとき

子機使用上のご注意

コードレス子機は電波を使っているため、特殊な装置により盗聴される恐れがあります。大切な話は親機の受話器を使用するなど、注意してお使いください。

親機からの電波が届かない場所では、電話がかかってきた時に子機の呼出ベルは鳴りません。また、子機で電話をかけようとした時「ピー・ピー...」と警告音が鳴ります。内線通話等により、あらかじめ子機が使用できる範囲をお確かめください。

通話中に「ピーピーピー...」という音がした時は、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のままいると約10秒後に親機側で保留になります。さらに1分経過すると回線が切断されます。

通話中に「ピッピッピッ...」という音がした時は、電池の充電残量が1分以内になっています。このままいると約20秒後に回線が切断されます。

近隣でコードレス電話機をお使いのかたがいる場合、まれに誤動作する場合があります。

つながらない、通話の途中で切れた等の場合は、いったん切って、もう一度かけなおしてください。

次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。

- ・ ビジネスホン、モデム、パソコン、ワープロ、コピー機、他のコードレス電話機など
 - ・ テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘッドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
 - ・ 自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- 極端に寒いところで使用しないでください。車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。
- ふる場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。
- 自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」した時など、雑音が入ることがあります。

子機の防水機能について

子機は生活防水（JIS保護等級 防まつ形）機能付きです。洗車や料理中に電話があってもぬれた手のままで子機をとって通話することができます。ただし、水中電話ではありませんので、次のような点にはご注意ください。

- ・浴室内などの湿気の多いところに放置しないでください。
- ・水道の水などを直接かけないでください。
- ・ぬれたまま0 以下になるところに放置しないでください。
- ・ぬれた子機は、よく拭いてから充電器に戻してください。ぬれたままにしておくと、防水機能が低下することがあります。
- ・ファクス本体および充電器は、防水構造ではありませんのでご注意ください。

子機がぬれたときは

送話口や受話口が水滴でふさがってしまった場合、そのままお使いになると、通話の妨げになります。子機を軽く振って水滴を落とすか、または乾いた柔らかい布で送話口や受話口を拭いてからお使いください。

JIS保護等級 防まつ形とは

バスルームやプールサイドなどで使用したとき、水しぶきがかかっても内部に水分が進入するのを防ぐ構造になっているものをいいます。

！ 停電したとき

停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、次のとおりです。

- ・本機は使用できません。
 - ・本機に接続した外付け電話機で電話をかける／受けることができません（停電対応できる電話機＜コードレスタイプでないなど＞の場合）。ただし、ダイヤルインサービスをご利用の場合は使用できません。
- 停電時、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリ送信時のメモリに記憶されている文書 ・ハンドスキャナ使用時のメモリに記憶されている文書 ・リダイヤルに記憶されている電話番号 ・時計のデータ（停電が36時間以上続いたとき） ・スーパーLCRのデータ（停電が36時間以上続いたとき）
消えない情報	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリ代行受信文書 ・メモリ受信文書（おやすみモード、リモート取り出し設定時に受信した文書） ・留守番電話に録音した応答メッセージ ・留守番電話に録音された用件 ・登録した電話番号や各種の設定値

停電が復旧すると

停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。消えてしまった情報があるときは、停電が復旧した時にメモリクリアレポートが自動的に出力されます。

停電が36時間以上続いたときは、時計が初期化されます（1997年1月1日0時0分になります）。この場合は、時刻セット（P.20）を行ってください。停電が36時間以上続いたときは、スーパーLCRが使用できなくなり、LCRランプが赤点灯します。

メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア レポート					
NEC					
イカノ ナイヨウガ、テイデンニヨリ クリア サレマシタ。					
メモリ ソウシン ブンショ					
ウツク ニジ	ツシジ カ	アイテサキ	モード	マイソ	ツシジ ケカ
4.24 14:04	0' 00"	0120200940	ECM	1	テイデン

目次

はじめに	
本書の見方	1

！ ご使用前の注意

安全に正しくご使用いただくために	2
コードレス子機使用についてのご注意	5
停電したとき	6

目次	7
----	---

特長	10
----	----

🔧 設置と初期状態

梱包品の確認	12
各部の名称	13
組み立てかた	16
・ 受話器の取り付け	17
・ 子機の取り付け	17
・ 記録紙スタッカの取り付け	18
・ 電源の接続	18
・ 記録紙のセット	19
・ 時刻セット	20
接続のしかた	20
・ NTT電話回線の接続	20
・ NTT回線種別の設定	21
・ 外付け電話機の接続	21
自分の電話番号を登録する	22
初期状態について	24

☎ 電話

電話をかける	26
リダイヤル（同じ相手にもう一度かける）	27
保留する	28
電子電話帳（短縮ダイヤル）	29
・ 親機の電子電話帳の登録	29
・ 親機で電子電話帳を使って電話をかける	30
・ 子機の短縮ダイヤルの登録	31

・ 子機で短縮ダイヤルを使って電話をかける	32
・ 子機で親機の短縮番号を使って電話をかける	32
・ 電話番号リストのプリント	33
電話を受ける	34
キャッチホンの利用	35
ワイワイトーク（ハンズフリー通話）	36
・ 親機の受話器を持たずに話をする	36
・ 子機を持たずに話をする	37
転送（外線を他の内線へ転送する）	38
・ 電話を親機から子機へ転送する	38
・ 電話を子機から親機へ転送する	39
・ 電話を子機から他の子機へ転送する（増設子機使用の場合）	40
内線通話	41
・ ボイスコールの設定	41
・ 親機から子機を呼ぶ（ボイスコール設定時）	42
・ 親機から子機を呼ぶ（ボイスコール未設定時）	43
・ 子機から親機を呼ぶ（ボイスコール設定時）	44
・ 子機から親機を呼ぶ（ボイスコール未設定時）	45
・ 内線通話の途中で電話がかかってきたとき	46
音量調整	47
トーン信号送出（ダイヤル回線の場合）	48
子機の増設	48
外付け電話機の利用	49
ドアホンとの通話	50
いろいろな使いかた	53
・ 通話録音（通話中の会話を録音する）	53
・ 通話録音した内容を聞く	54
・ 留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる	54
・ 保留メロディの設定	55
・ 優先着信の設定（子機のベルを優先して鳴らす）	55




ファクス

自分の名前を登録する（発信元登録）.....	56
発信元を相手の記録紙にプリントする設定.....	57
原稿のセットのしかた.....	58
コピーのしかた.....	60
送信原稿の種類の設定.....	62
・写真や小さい文字の原稿を送るとき（画質モード）.....	62
・色がついた原稿や文字がうすい原稿を送るとき（読み取り濃度）.....	63
ファクスを送る.....	64
・自動送信.....	64
・手動送信.....	66
・おまかせ送信（メモリ送信）.....	67
・送信結果通知.....	68
・電子電話帳で送信.....	69
・海外通信の設定.....	69
ファクスを受ける.....	70
ファクス／電話自動切替の設定.....	71
・ファクス／電話自動切替の仕組み.....	71
・着信ベル回数の設定.....	72
・呼出ベル回数の設定.....	72
・無鳴動着信の設定（ファクス優先の設定）.....	73
・音声メッセージの設定.....	73
電話モード（主に電話を使う）.....	74
Fネットについて（ファクシミリ通信網）.....	74
ファクス情報サービスの利用.....	75
・FAXサービスボタンの使いかた.....	75
いろいろな使いかた.....	76
・FAXかんたん受信の設定.....	76
・ペーパーセーブ（記録紙を節約して受ける）.....	77
・手動カットモードの設定.....	77
・転送受信の設定（外付け電話機の場合）...78	



留守番


留守設定での動作.....	79
応答メッセージを録音する.....	80
応答メッセージを消去する.....	81
留守セット.....	82
用件の再生と消去.....	84
用件の再生順序の設定.....	86
ツールセイバの設定.....	87
留守番リモート（子機で留守番電話を操作する）.....	88
外線リモート（外出先で留守番電話／ファクスを操作する）.....	89
・リモート操作の設定とリモートパスワードの登録.....	89
・外出先で留守番電話の用件を聞く／受信文書を取り出す.....	90
・リモート操作コード表.....	91
用件転送（留守番電話やファクスが入ったら外出先へ通知する）.....	92
・用件転送先の登録.....	92
・用件転送されたときの受けかた.....	93
・ポケベル呼び出し.....	94
おやすみモード.....	95
・おやすみモードセット.....	96
・おやすみモードのタイマ切替.....	97

 **ハンドスキャナ**

ハンドスキャナでの原稿の読み取りについて ...98
 ハンドスキャナでコピーする99
 ハンドスキャナで送信する100
 拡大/縮小の設定101
 メロディハンドスキャナの設定101

LCR **スーパーLCR**

スーパーLCRの利用102
 ・スーパーLCRについて102
 ・スーパーLCRの申し込みかた103
 ・スーパーLCRの設定とご利用の準備操作 ...104
 ・スーパーLCRを利用する105
 ・料金表示の設定106
 ・スーパーLCRのデータメンテナンスに
 ついて106

 **ダイヤルイン**

ダイヤルインサービスの利用107
 ・ダイヤルインサービスについて107
 ・ダイヤルインの登録109

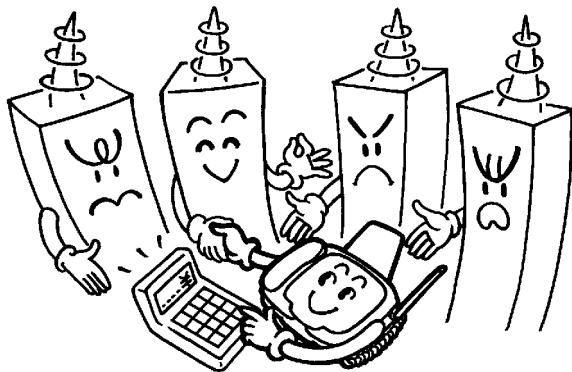
? **困ったときは**

原稿がつかまったとき112
 記録紙がつかまったとき113
 記録紙の交換114
 メモリ内の受信文書がプリント出力されない
 とき115
 設定内容を確認するとき(システムリスト) ...116
 日頃のお手入れ117
 ・本体の清掃117
 ・ハンドスキャナの清掃117
 ・ローラーの清掃117
 電池パックの交換(子機)118
 こんなときは(Q & A)119
 エラーコード表126
 アフターサービスのご案内127
 お客様ご相談窓口127
 ・オプション品・消耗品のご案内127
 ・NECサービスセンター/サービスス
 テーション127
 ・ファクス情報サービス127
 ・インフォメーションサービス127
 いろいろな接続のしかた130
 ・ホームテレホン/ビジネスホンとの接続 ...130
 ・パソコンやモデムとの接続131
 ・ISDNターミナルアダプタ(TA)との
 接続131
 ・ドアホンとの接続132
 仕様133
 索引134
 操作早わかりガイド140
 機能選択早見表144

📖 特長

電話料金が安い回線を自動で選ぶ

「スーパーLCRの利用」(P.102)
新電電(J T、D D I、T W J)との契約で、距離や時間帯によって一番お得な回線を自動的に選びます。
日本テレコム株式会社(J T)との契約が必要です。



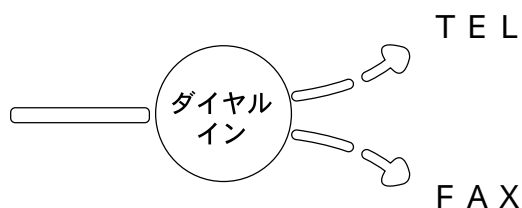
停電してもメッセージが消えない

フラッシュメモリ留守録で、停電しても録音された用件は消えません。(P.6)



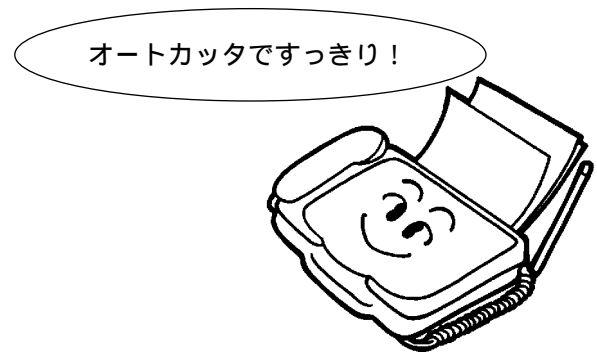
電話とファクスの電話番号を変えられます

「ダイヤルインサービスの利用」(P.107)
1本の電話回線でファクス用と電話用の電話番号を使い分けられる、ダイヤルインサービスをご利用いただけます(ファクス用1, 電話用最大5)。
N T Tとの契約が必要です(有料)。



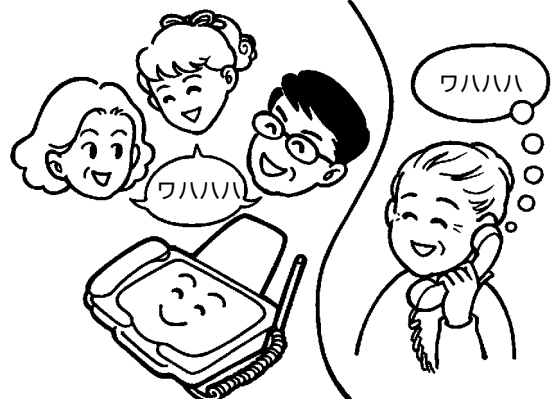
受信文書をきちんと整理

「ファクスを受ける」(P.70)
オートカットで受信文書やコピーを1枚ずつ自動的にカットします。



受話器を持たずにみんなでおしゃべり

「ワイワイトーク(ハンズフリー通話)」(P.36)
「どうしても手が離せない」、「田舎のおばあちゃんと家族そろっておしゃべりしたい」。そんなとき、ワイワイトークを使えば受話器を置いたままみんなで話ができます。



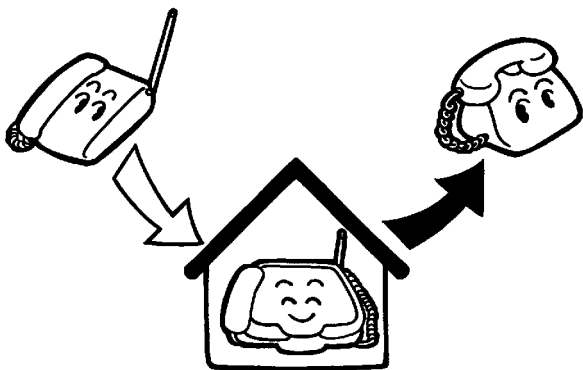
夜中の電話やファクスで起こされたくない

「おやすみモード」(P.95)
おやすみモードを使えば、ベルの音や、ファクスが出てくる音で起こされることもありません。



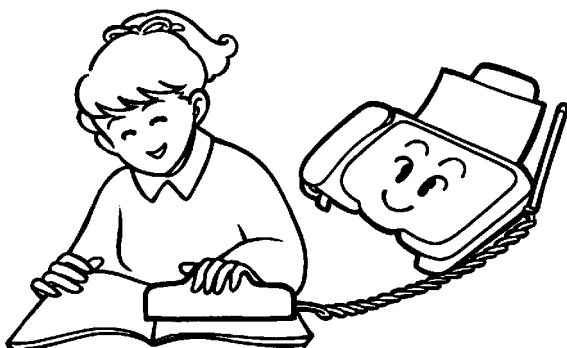
留守中の緊急連絡もだいじょうぶ

「用件転送」(P.92)
留守設定中に用件を録音したりファクスを受信したら、あらかじめ登録した外出先の電話機やファクスなどへ通知することができます。



本やノートもそのままコピー/ファクス送信

「ハンズキャナでコピーする」(P.99)
「ハンズキャナで送信する」(P.100)
新聞や雑誌の気になる情報、友達のノートだってハンズキャナを使えば簡単にコピーがとれます。読み取った内容を、そのままファクスで送ることもできます。



おまかせ送信

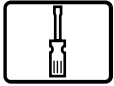
「おまかせ送信(メモリ送信)」(P.67)
まず原稿はメモリに記憶します。あとはs p e a xが送信してくれるから、原稿を家族に見られたくないときにサッと部屋に持ち帰れます。送信結果は子機にお知らせします。



ドアホン接続

「ドアホンとの通話」(P.50)
最大2台のドアホンと接続できます。玄関先にお客様が来たら、子機で対応できます。とっても便利です。

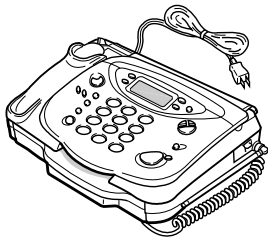




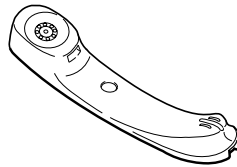
梱包品の確認

箱を開けたら次のものがすべてそろっているか確認してください。不足していた場合はご購入店にご連絡ください。

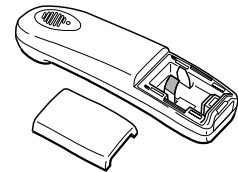
親機（本体） 1台



受話器 1個

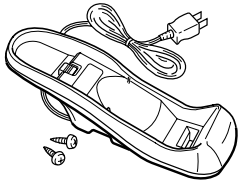


子機 1台
（電池カバー付き）



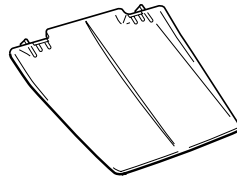
speax315KCLWでは2台

充電器 1台
（壁掛け用ネジ2本付き）

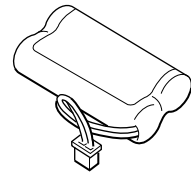


speax315KCLWでは2台

記録紙スタッカ 1個



電池パック 1個
（子機用）

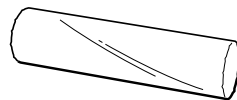


speax315KCLWでは2個

電話回線接続コード
1本（2m）



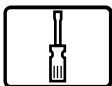
記録紙 1巻
（B4サイズ10m）



スーパーLCRご利用申込書（ハガキ）	1枚
スーパーLCRファクシミリ申込書（ファクス用）	1枚
スーパーLCRトクトクガイド	1通
取扱説明書（本書）	1冊
保証書	1枚

保証書について

保証書は、販売店で所定の事項を記入いたしますので、必ず保証期間、ご購入店名、記載事項を確認の上、大切に保管してください。



各部の名称

ご使用前の
注意

設置と
初期状態

電

話

ファクス

留守番

ハンドスキャナ

スーパーLCR

ダイヤルイン

困ったときは

全体（正面）

組み立てたあとを示しています。

受話器

補聴器対応（ヒヤリングエイド対応）で、誘導コイルタイプの補聴器をお使いの方に通話が聞き取りやすい構造になっています。

モニタスピーカ

左側面にモニタスピーカがあります。ハンズフリー通話や用件を再生すると、ここから聞こえます

操作パネル

原稿排出口

ハンドスキャナ

手前に引くと外れます。戻すときは押し込みます。

原稿セットガイド
原稿の幅に合わせます。

原稿挿入口

記録紙スタック

コピーや受信した文書は、ここに重ねられます。

ダストカバー

原稿をセットするときに開けます。

アンテナ

ダストカバーを開けるときの、このへこみを利用します。

カバー開レバー

カバーを開けるときの、下に押し込みます。

ハンドスキャナ用コード

全体（背面）

組み立てたあとを示しています。

記録紙排出口

通風孔

受話器用コード

アース端子

底面にアース端子（銀色）があります。

電源コード

電話機端子

外付け電話機を接続できます。

回線端子

NTT電話回線を接続します。



操作パネル

LCRランプ

スーパーLCRが利用できるときは緑色、利用できないときは赤色に点灯します。 P.105

内線 / ドアホン

内線通話やドアホン通話などに使用します。 P.42、P.51

文字の大きさ

画質モードを設定するときを使用します。 P.62

おやすみ

電話がかかってきた時に点滅します。おやすみモードに設定するときなどに使用します。 P.96

ディスプレイ

16文字まで表示できます。機能選択中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中はバックライトが点灯します。バックライトは動作終了後約3秒で消灯し、消灯時に[セット]ボタンを押すと3秒間点灯します。点灯が5時間続いた場合、ディスプレイ保護のために消灯します。

機能選択

各種の登録や設定時に使用します。

セット

各種の登録や設定時に使用します。

FAXサービス

FAX情報サービスを利用するときを使用します。 P.75

留守

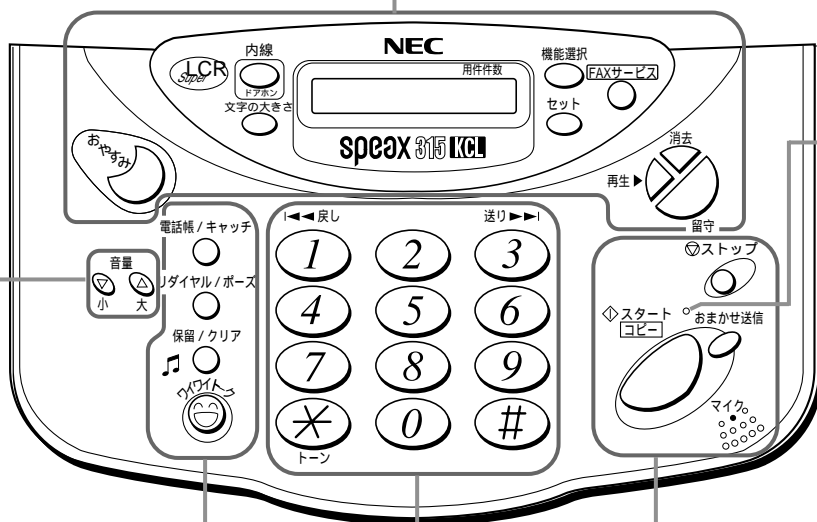
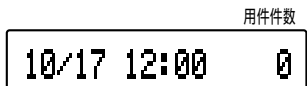
留守設定にするときなどに使用します。 P.82

再生

用件を再生するときなどに使用します。 P.84

消去

用件を消去するときなどに使用します。 P.85



音量

ベル音量、受話音量、ワイワートーク音量、モニタスピーカ音量を調整するときなどに使用します。 P.47

ランプ

ファクス通信中に緑点滅 / 緑点灯します。 P.64

メモリ代行受信やリモート取り出しの文書があるときに赤点滅します。通信異常時や記録紙づまりなどのときに赤点灯します。

電話帳 / キャッチ

電子電話帳 (短縮ダイヤル) で電話をかけるときなどに使用します。 P.30
キャッチホンが入った時に使用します。 P.35

リダイヤル / ポーズ

最後にかけた相手にもう一度かけるときに使用します。 P.27

ポーズを入れるときに使用します。 P.29、P.94

保留 / クリア

電話を保留するときなどに使用します。 P.28
各種の登録時、入力内容を消去するときを使用します。 P.29

ワイワートーク

受話器を持たずに電話するときを使用します。 P.36

ストップ

送信やコピーを途中でやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに使用します。
セットした原稿を排出するときを使用します。

スタート / コピー

ファクスの送信や受信時、コピー時などに使用します。 P.60、P.64

おまかせ送信

メモリ送信時に使用します。 P.67

マイク

ワイワートークするときなどに使用します。 P.36
応答メッセージを録音するときを使用します。 P.80

ダイヤルボタン

ダイヤルするときなどに使用します。

◀◀ 戻し (1)

各種の設定時、ディスプレイのカーソルを左方向に移動させるときに使用します。 P.57
再生中の用件をもう一度聞くとときや、ひとつ前の用件を聞くとときを使用します。

送り ▶▶ (3)

各種の設定時、ディスプレイのカーソルを右方向に移動させるときに使用します。 P.57
再生中の用件の次の用件を再生するときなどに使用します。

トーン (*)

ダイヤル回線を使用の場合、トーン (プッシュ) 信号を送出したいときに使用します。 P.48

子機 (正面)

外線

電話をかけるときや受けるときなどに使用します。 P.26、P.34
受話音量を調整したいときに使用します。 P.47

切

電話を切りたいときに使用します。 P.26

保留

電話を保留するときに使用します。 P.28

内線 / ドアホン

内線通話やドアホン通話などに使用します。 P.44、P.51



ダイヤルボタン

ダイヤルするときに使用します。

◀◀ 戻し (1)

再生中の用件を初めから再生するときなどに使用します。

再生 ▶▶ (2)

録音された用件を再生するときなどに使用します。 P.88

送り ▶▶▶ (3)

再生中の用件の次の用件を再生するときを使用します。

録音 (5)

通話録音をするときに使用します。 P.53

留守設定 (7)

留守設定にするときに使用します。 P.88

消去 (8)

用件を消去するときに使用します。 P.88

留守解除 (9)

留守設定を解除するときに使用します。 P.88

トーン (＊)

ダイヤル回線を使用の場合、トーン(ブッシュ)信号を送出したいときに使用します。 P.48

呼出音量 (0)

ベル音量を調整するときに使用します。 P.47

ストップ (#)

再生を止めるときに使用します。

優先 / キャッチ

優先着信の設定に使用します。 P.55
キャッチホンが入ったときに使用します。 P.35

リモコン / マイクオフ

留守番電話をリモコン操作するときに使用します。 P.88
ワイワイトーク中にこちらの声を相手に聞かせたくないときに使用します。 P.37

短縮 / 登録

短縮ダイヤルで電話をかけるときなどに使用します。 P.32

リダイヤル / ポーズ

最後にかけた相手にもう一度かけるときに使用します。 P.27
ポーズを入れるときに使用します。

FAX

ファクスを受信するときに使用します。 P.70
おまかせ送信時に送信結果通知の設定をするときに使用します。 P.68

ワイワイトーク

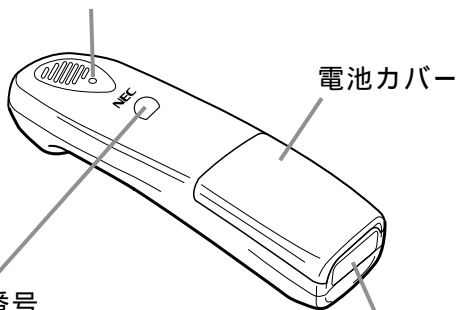
子機を持たずに電話するときなどに使用します。 P.37

ワイワイトーク時のスピーカ音量を調整するときに使用します。 P.47

子機 (背面)

着信 / 充電ランプ

電話がかかってきた時に赤点滅します。
充電器にセットすると赤点灯します。



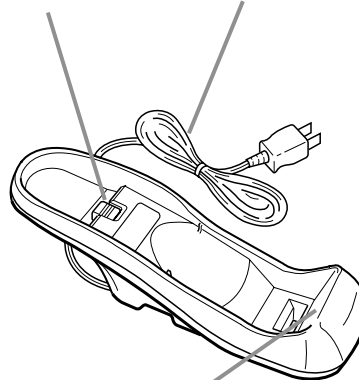
内線番号

s p e a x 3 1 5 K C L W
では内線番号が表示されています。

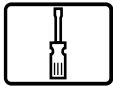
充電器

壁掛け用ツメ

電源コード

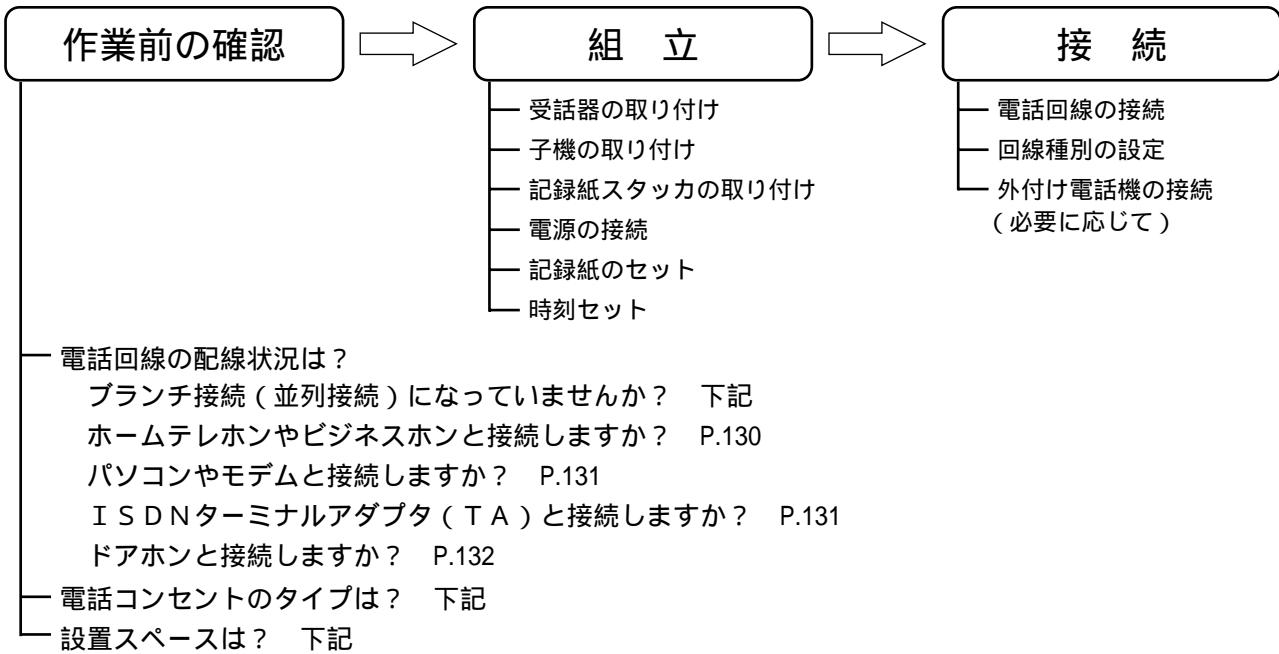


充電部

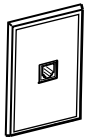


組み立てかた

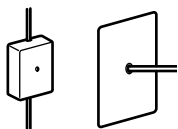
本機を組立・接続するまでの全体の流れを示します。まず、作業前の確認を行ってください。



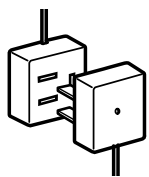
電話コンセント



モジュラ式の時
そのまま接続できます。



直接配線の時（ネジ止め式）
NTT窓口等にご相談ください。接続工事には、工事担当者資格が必要です。

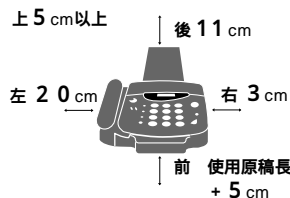


3ピンプラグ式の時
市販のモジュラ付の電話キャップをお買い求めください。

設置スペース

親機（本体）は壁に掛けて使うことはできません。子機（の充電器）は壁掛けできます。

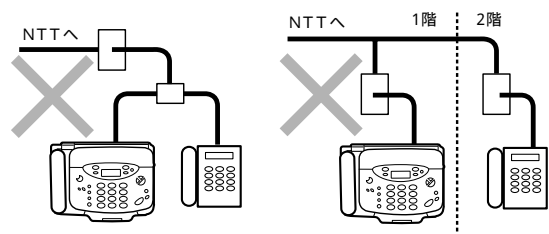
本機の操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うために、図のスペースを確保してください。なお、本機は水平な所に設置してください。正常に動作しないことがあります。



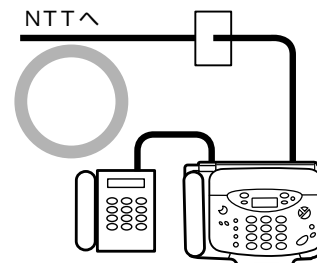
ブランチ接続はしないでください

ブランチ接続（並列接続）をすると、次のような支障があり正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機を受話器を上げるとファクスの画像に異常が起きます。
- 電話がかかってきた時、並列接続されている電話機のベルが途中で鳴り止んだり、相手がファクスのとき受信できない場合があります。

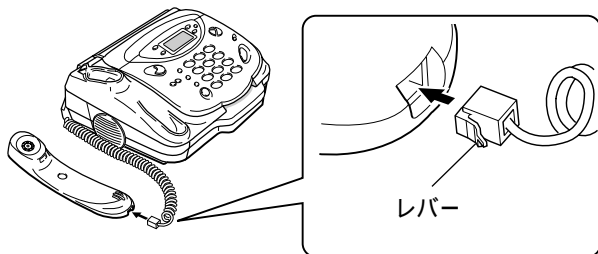


今までお使いの電話機は本機に接続して利用することができます。（P.21）



受話器の取り付け

受話器に受話器用コードを接続します。
カチッと音がするまで差し込んでください。
(抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。)

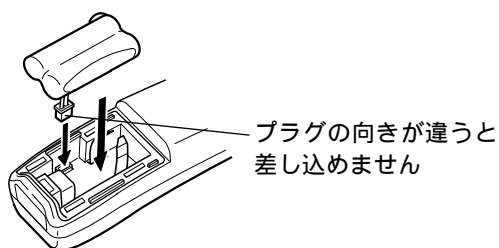


子機の取り付け

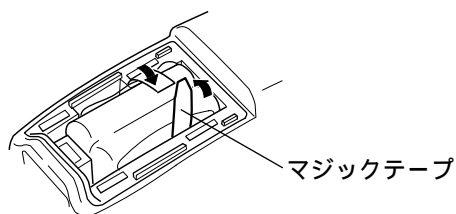
電池パックの取り付け

1 電池パックを取り付けます。

電池パックのプラグを差し込んでから入れます。
コードをはさまないように注意してください。

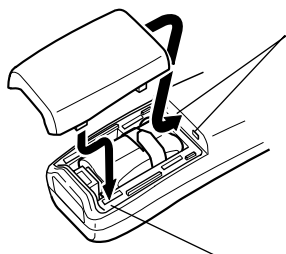


2 電池パックをマジックテープで固定します。



3 電池カバーを取り付けます。

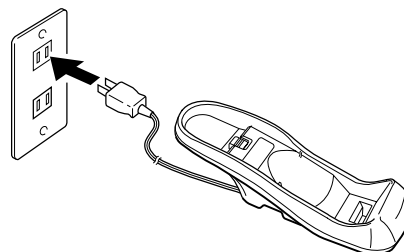
の穴に入れてから、の穴にツメを入れるようにして、カバーを取り付けてください。



充電器の取り付け

電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

テレビやステレオなどと同じコンセントに電源コードをつなぐと雑音の原因となることがあります。別のコンセントを使うか、充電器を離してください。



⚠ 警告

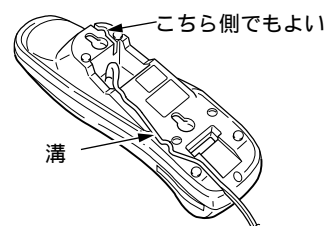
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。

充電器を壁掛けする場合

1 充電器の壁掛け用ツメを上げます。

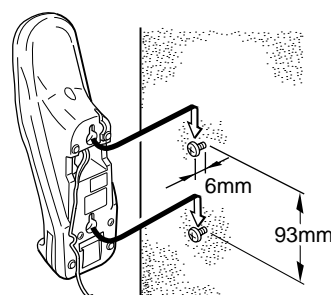


2 電源コードを底面の溝にはわせます。



3 付属のネジ2本を壁などに取り付け、ネジの頭を6mm程度出したままにします。

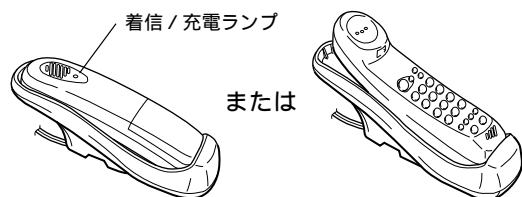
4 充電器の壁掛け用穴をネジに引っかけて下に少し引き下ろします。



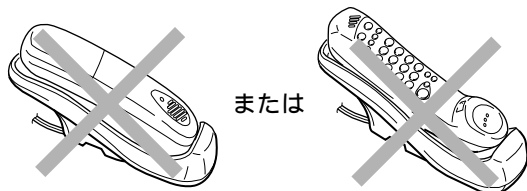
子機の充電

充電器に子機を置きます。

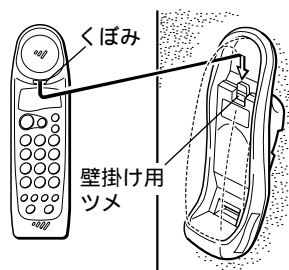
充電端子のない無接点充電方式を採用しています。背面の〔着信／充電〕ランプが赤色に点灯します。お買い上げいただいたときは充電されていません。9時間以上充電してからご使用ください。充電が完了しても充電器に置いているあいだは〔着信／充電〕ランプは赤く点灯しますが、過充電になることはありません。子機は操作面を上下どちらの向きに置いて充電できます。



次の場合は充電されません



壁掛けの場合、子機の正面にあるくぼみを、充電器の壁掛け用ツメに引っかけてください。子機を掛ける向きは、背面向き（ダイヤル面が壁側）だけです。



子機の使用可能時間（フル充電時）

- ・連続通話時：約8時間
- ・連続待受時：約200時間

充電してもすぐに電池がなくなって通話ができないようになったら電池パックの交換が必要です。（交換時期は通常の使用で約2年です。）

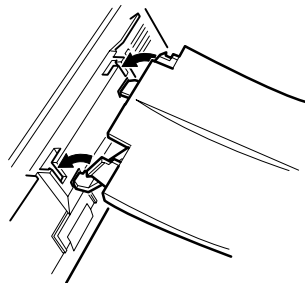
⚠危険

付属の充電器以外を使用しないでください。火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

記録紙スタッカの取り付け

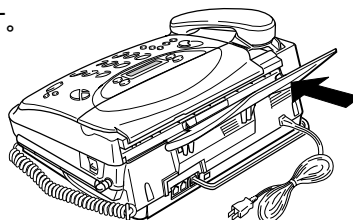
1 記録紙スタッカを本機背面の穴に合わせます。

記録紙スタッカの下側の位置決めを本機の穴に合わせたあと、上側のフックを本機の穴に合わせます。



2 記録紙スタッカを本機に押し込みます。

カチッと音がするまで記録紙スタッカを押し込みます。

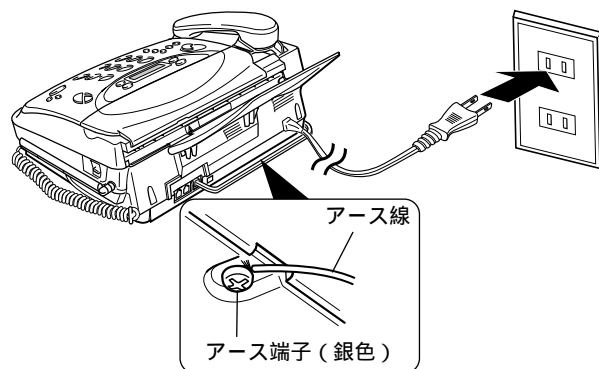


記録紙スタッカを外すときは記録紙スタッカの根本を押し下げてください。「カチッ」と音がして外れます。

電源の接続

電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

ディスプレイに「カバー／キロクシ カクニン」と表示されます。



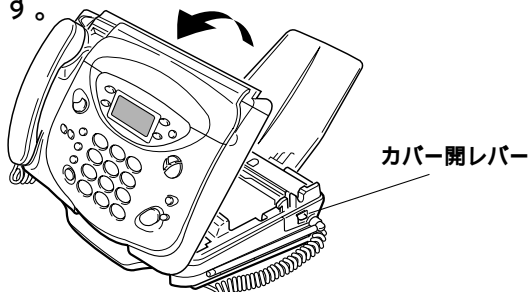
⚠注意

湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。底面にアース端子（銀色）があります。アース線は付属していませんのでご用意ください。

記録紙のセット

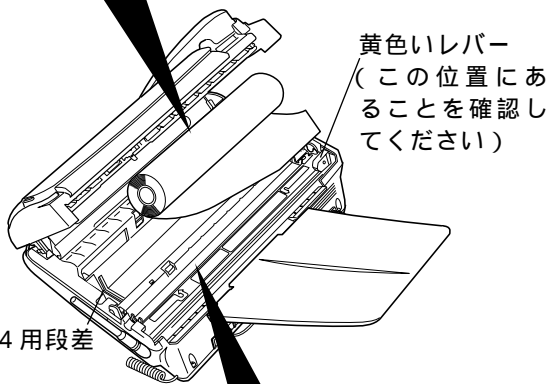
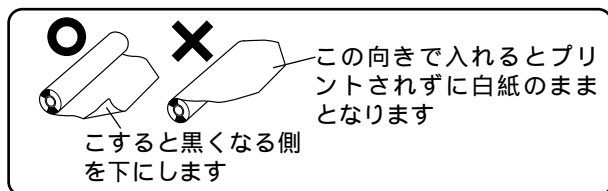
記録紙は付属品を使用するか、または巻き芯内径が1インチ(25.4mm)のものを使用してください。

- 1** カバー開レバーを押してカバーを開けます。



- 2** 記録紙を入れます。

A 4 サイズのときは段差の中に入れてください。



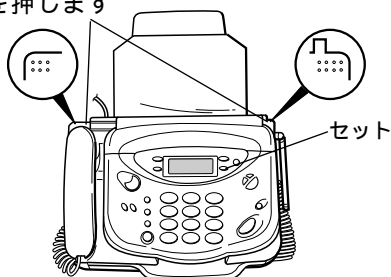
注意

手を触れないようにご注意ください。けがをすることがあります。サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをすることがあります。

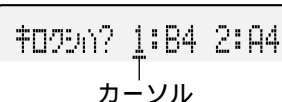


- 3** 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。

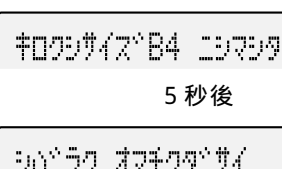
ここを押します



- 4** **1** または **2** を押して記録紙のサイズを選びます。

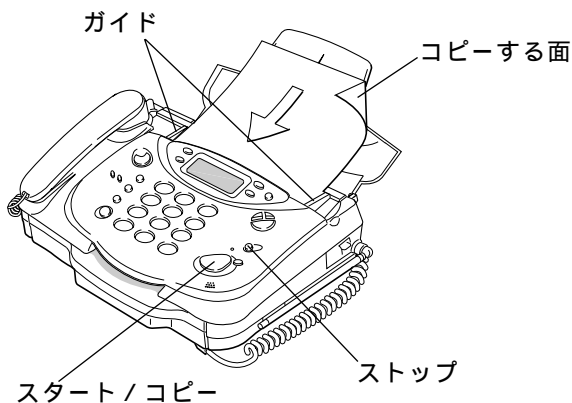


- 5** **セット** を押します。約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。



- 6** 正しく記録紙がセットされたかを確認するためコピーを試みましょう。

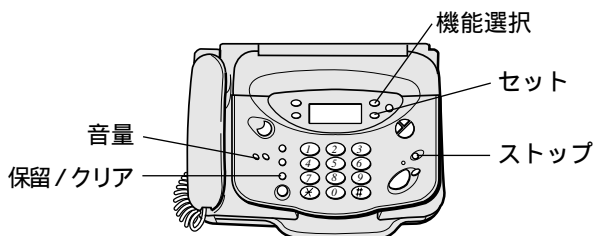
ダストカバーを開けます。原稿の幅にガイドを合わせます。コピーする面を下に向けて原稿を軽く差し込みます。自動的に約3cm引き込まれます。[スタート/コピー]ボタンを押します。コピーが終了と「ピー」という音がします。



途中でやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。白紙が出てきたときは、コピーする面を上に向けてセットしたか、または記録紙の向きが逆です。原稿や記録紙がつまんだときは、P.112、P.113をご覧ください。

時刻セット

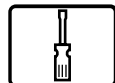
本機に内蔵されている時計を設定します。この時計はファクス送信時刻を相手の記録紙にプリントしたり、留守番電話で用件を録音した時刻を記録したりするときに使用されます。時計の精度は平均月差±60秒以内です。



- 1 機能選択 を押します。 キリウセンタク シテクダサイ
- 2 4 を押します。 トウゴ モード
- 3 セット を押します。 アテサキ トウゴ
- 4 機能選択 を7回押しします。
ジゴク セット
 3秒待つか、または[セット]を押します
'97 1/ 1 00:00
 カーソル
- 5 年月日、時刻を入力します。
 1文字入力するごとにカーソルが移動します。
 ・年： 西暦下2桁
 ・月日： 1～9は頭に「0」を付けてください。
 ・時刻： 24時間制。1～9は頭に「0」を付けてください。
 例) 1997年10月17日12:00にする場合
 「97 10 17 12 00」と入力します。
 [音量]ボタンでカーソルを移動できます
 (小:左移動、大:右移動)
- 6 セット を押します。 カリヨウ
10/17 12:00 0

こんなときは

修正したいときは、[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。
 途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

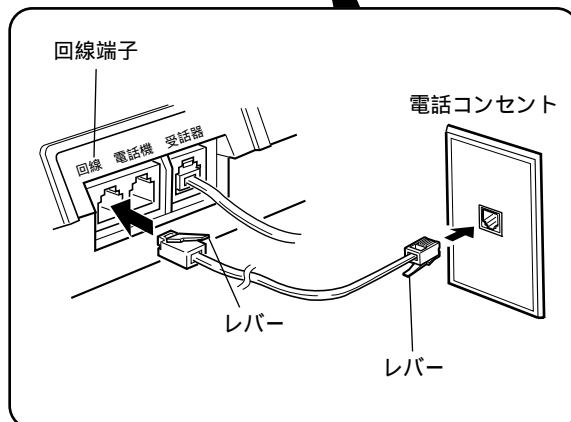
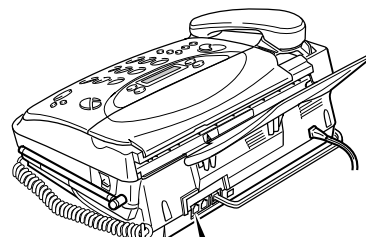


接続のしかた

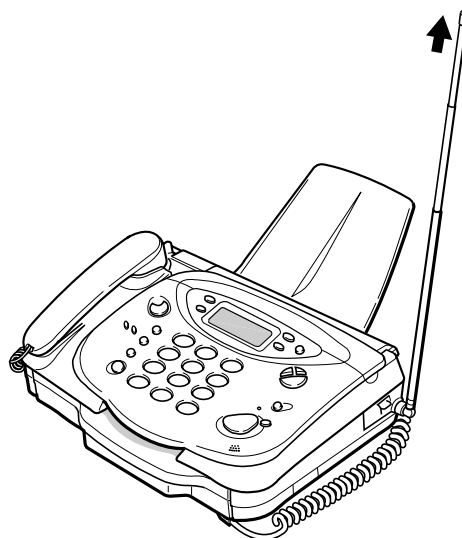
NTT電話回線の接続

付属の電話回線接続コードの片方を本機背面の回線端子に、もう片方を電話コンセントに接続します。

カチッと音がするまで差し込んでください。
 (抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。)

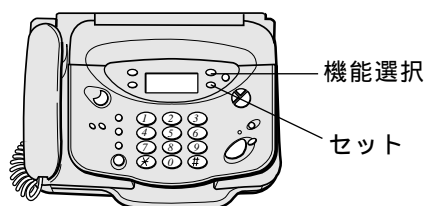


接続したら、アンテナを立てて、のばしてください。



NTT回線種別の設定

お使いの電話回線種別（プッシュ回線とダイヤル回線）に本機を合わせます。この設定をしないと、電話をかけられません。お買い上げいただいたときは、「ダイヤル回線（20pps）」に設定されています。プッシュ回線の場合は必ず設定してください。回線種別がわからないときは自動で設定することもできます（P.22）。ただし、ISDNターミナルアダプタと本機を接続する場合は、自動で設定することはできません。



1 機能選択 を押します。キリウセンタク シテクダサイ

2 3 を押します。セツテイ モード

3 セット を押します。ヨミリ ノウゴ 0000

4 機能選択 を10回
押します。カイセンシュウハク 20P

5 1 または 3 カイセンシュウハク PB

を押して回線種別を選びます。

20P：ダイヤル回線（20pps）

10P：ダイヤル回線（10pps）

PB：プッシュ回線

6 セット を押します。カンリョウ

10/17 12:00 0

7 電話をかけて接続を確認してみましょう。

受話器をとります。

「ツー」という音がします。音がしないときは電話回線接続コードを確認してください。

117（時報）にダイヤルします（有料）。電話がかかれば接続は正しいです。

受話器を戻します。

こんなときは

ダイヤル回線の場合、お買い上げ時の状態で電話がかからなかったときは、「10pps」に設定してください。回線種別がわからないときはNTTにお問い合わせください。

外付け電話機の接続

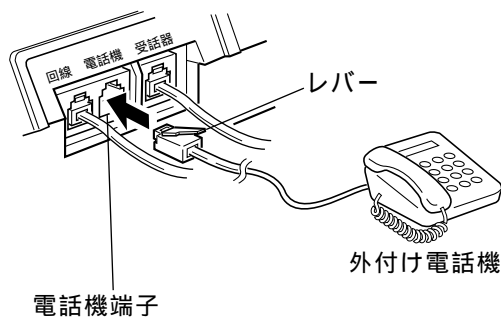
お手持ちの電話機などを本機に1台接続することができます。必要に応じて接続してください。

留守番電話機を接続した場合、その電話機の留守番電話機能は使用できません。本機の留守番機能をお使いください。

コードレス電話機は接続しないでください。コードレス電話機を接続した場合、お互いに電波干渉を起こして子機のベルが鳴らなかったり、通話に雑音が入ったり、通話が切れたりすることがあります。

外付け電話機の利用にあたっては、いろいろな制限事項があります。詳しくはP.49を参照してください。

- 1 接続する電話機の電話回線接続コードを本機背面の電話機端子に接続します。カチッと音がするまで差し込んでください。（抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。）

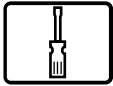


- 2 外付け電話機の回線種別を設定します。ダイヤル回線（10pps、20pps）、プッシュ回線の設定です。詳しくは、その電話機の説明書をご覧ください。

以上で組立と接続は終わりです。続いて次のページをお読みください。

- ・P.22「自分の電話番号を登録する」必要に応じて登録してください。
- ・P.24「初期状態について」

お買い上げいただいたときの本機の設定状態について説明しています。よくお読みの上、本機をお使いください。



自分の電話番号を登録する

自分の電話番号を登録すると、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示させたり、通信管理レポートなどに表示させたりすることができます（相手機種によっては表示されないことがあります）。必要に応じて登録してください。また、スーパーLCRを利用する場合（P.102）ここでスーパーLCRのご利用の準備操作を行うことができます。

操作前のご注意

自分の電話番号を登録すると、「回線種別の自動選択」機能が働きます。登録した電話番号に自動的にダイヤルする（ビジートーンが返ってくる）ことによって回線種別を設定するという機能です。したがって、間違った電話番号を登録すると、その番号に電話をかけてしまいますのでご注意ください。なお、P.21で回線種別を設定済みの場合でも、この機能が働きます。



- 機能選択** を押し `キノウセウク シテウダサイ` します。
- 4** を押し `トウク モード` します。
- セット** を押し `アテサキ トウク` します。
- 機能選択** を押し `テンクワヤンゴウ トウク` します。
3秒待つか、または[セット]を押します
- 自分の電話番号 `0120200940_` を入力します。
市外局番から入力してください（最大16桁）。
[＊][#]は入力できません。空白を入力するときは、[リダイヤル/ポーズ]ボタンを押してください。
- セット** を押し `テンクワヤン カクニチュウ` します。
交互に表示

`シカクイテンクワ オクニシム`
10秒待つか、または[セット]を押します

`スーパーLCRオオススツマス`
10秒待つか、または[セット]を押します

`トウクリョウ キホリョウナン`
10秒待つか、または[セット]を押します

`LCRオウコメマカ` **OK**
カーソル

- 1** または **3** を押してカーソルを移動します。
_x: スーパーLCRを申し込む
x: スーパーLCRを申し込まない
- セット** を押し `テンクワヤン カクニチュウ` します。

<「スーパーLCRを申し込む」にしたとき>
この場合も必ず申込書をファクスまたは郵送してください。
この操作のみではお申し込みにはなりません。
(P.103参照)

`LCRオウコメマカ`
30秒後

`オウコメマカ FAXシテ`
30秒後

`10/17 12:00 0`

<「スーパーLCRを申し込まない」にしたとき>

`カクニチュウ`

`10/17 12:00 0`

消去

登録と同じ手順を行い、手順5で[保留/クリア]ボタンを押してください。

こんなときは

番号を間違えたときは、[保留 / クリア] ボタンを押して入力しなおしてください。

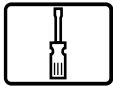
途中で登録をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

引っ越しなどで電話番号が変わったときは、登録しなおしてください。

『回線種別の自動選択はできませんでした。ご自分で設定してください』というメッセージが聞こえ、ディスプレイに「カイセンセツテイ シテクダサイ」と表示が出たときは、電話回線接続コードの接続を

確認し、次の操作をしてください。

- ・ 正しく接続されていないとき
電話回線接続コードを正しく接続する
[ストップ] ボタンを押す
手順の 1 ~ 4 を行う
[セット] ボタンを押す
- ・ 正しく接続されているとき
[セット] ボタンを押す
[1] / [3] を押して回線種別を選ぶ
[セット] ボタンを押す



初期状態について

お買い上げいただいたときの本機の設定状態について説明します。

電話がかかってくると次の動作をします（ファクス / 電話自動切替）

ベルが6回鳴ります。

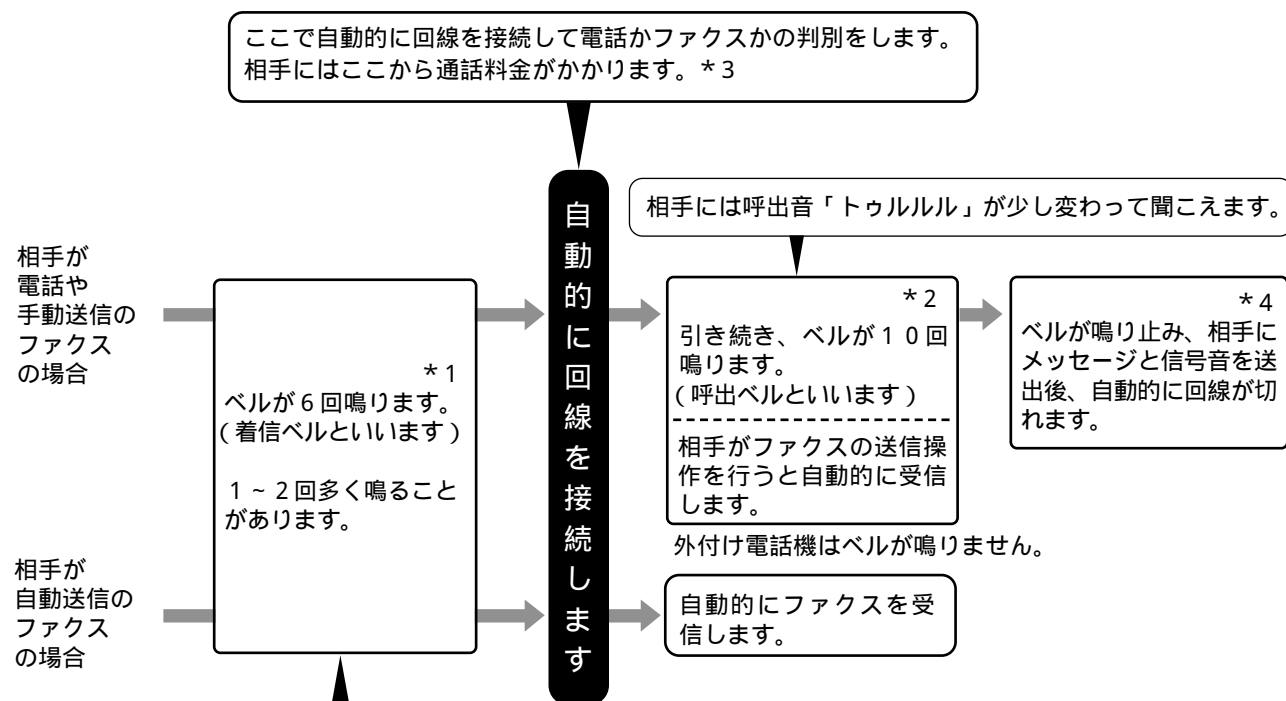
自動的に回線を接続します（ここから相手には通話料金がかかります）。

相手が電話の場合

- ・引き続きベルが10回鳴ります。電話に出ないと自動的に回線が切れます。相手がファクスの送信操作を行うと自動的に受信します。

相手が自動送信のファクスの場合

- ・自動的に受信します。



ここで受話器または子機をとった時、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたときは、相手が自動送信のファクスです。数秒後、『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。受話器または子機を戻してください。外付け電話機の場合は、メッセージは流れず「ポー・ポー・ポー...」のあと無音になります。無音になったら受話器を戻してください。(P.49、P.76)

なお、メッセージが流れず、または無音にならず、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえ続けるときは、[スタート/コピー] ボタン (子機では [F A X] ボタン) を押してください。外付け電話機では転送受信の操作を行ってください (P.49)。

*1 着信ベルの回数は変更できます (1 ~ 19 回) (P.72)

また着信ベルの回数を0回、つまり、ベルを鳴らさずに回線を接続させることもできます (無鳴動着信の設定) (P.73)

*2 呼出ベルの回数は変更できます (1 ~ 19 回) (P.72)

*3 ファクス / 電話自動切替したことを知らせるために、相手に音声メッセージを流すことができます。(P.73)

*4 相手には『ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話のかたは恐れ入りますが、のちほどおかけなおしください』というメッセージが流れます。メッセージのあと「ピーヒョロヒョロ」という信号音を約30~40秒送出後、回線が切れます。この信号音の間に相手が送信操作を行うと自動的に受信します。また、メッセージの途中に受話器をとると電話に出ることができます。

こんなときは

ファクス / 電話自動切替にたくないとき (通常の電話) は、P.74をご覧ください。

電話用の番号とファクス用の番号を別々にできるダイヤルインサービスを利用するときは、P.107をご覧ください。

留守にするときは、留守番電話にできます（詳細はP.79）
用件を録音したり、ファクスを受信したりできます。



を押します。

応答メッセージが流れ、[留守]ボタンが点灯します。（解除するときは、もう一度[留守]ボタンを押してください。）
おやすみになるときは、おやすみモードにできます（詳細はP.95）
ベルを鳴らさずに用件を録音したり、ファクスを受信（メモリ受信）したりできます。



を押します。

[おやすみ]ボタンと[留守]ボタンが点灯します。（解除するときは、もう一度[おやすみ]ボタンを押してください。）
その他のお買い上げ時の設定状態は次のとおりです

	機 能	設 定 状 態	参照ページ
記録紙	記録紙サイズ	B 4 (P.19で設定)	P.19
受信	無鳴動着信	しない	P.73
	音声メッセージ	流さない	P.73
	着信ベル回数	6回	P.72
	呼出ベル回数	10回	P.72
設定	読み取り濃度	普通	P.63
	ペーパーセーブ	しない	P.77
	発信元記録	する	P.57
	海外通信	しない	P.69
	FAXかんたん受信	する	P.76
	手動カット	しない	P.77
	ボイスコール	する	P.41
	転送受信	する(3*)	P.78
	ドアホン接続	なし	P.132
	保留メロディ	メロディ1	P.55
回線種別	20pps (P.21で設定)	P.21	
登録	電子電話帳	登録なし	P.29
	自分の電話番号	登録なし (P.22で設定)	P.22
	発信元	登録なし	P.56
	おやすみモードのタイマ切替	登録なし	P.97
	リモート操作	しない	P.89
	用件転送	しない	P.92
	ダイヤルインサービスの利用	しない	P.109
留守番	用件の再生順序	古い順に再生	P.86
	トールセイバ	する	P.87
LCR	スーパーLCRの利用	する	P.104
ス キ ャ ド ナ	倍率	等倍	P.101
	メロディ	流す	P.101

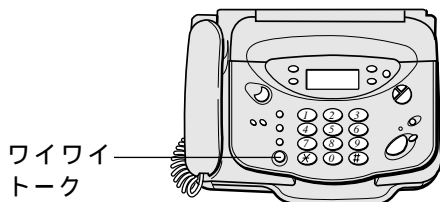
設定状態はシステムリストで確認できます。(P.116)

電話をかける

親機で電話をかける

操作前のご注意

子機を使用中のとき（「ナイセン2 ショウチュウ」と表示中）やコピー中のときは、電話をかけることができません。



1 受話器をとります。

オンフックダイヤル（受話器を置いたままダイヤル）するときは、[ワイワイトーク] ボタンを押してください。

「ツー」という音が聞こえます。

10/17 12:00 0

2 相手先の番号をダイヤルします。

話をします。
音量を調整できます。（ P.47）

TEL:0120200940_

4 話が終わったら受話器を戻します。

10/17 12:00 0

ご注意

待機中（電話やファクスを使っていない状態）にダイヤルボタンを押すと、その数字が約90秒間ディスプレイに表示されたままになります。このようなときは[ストップ]ボタンを押してから操作してください。

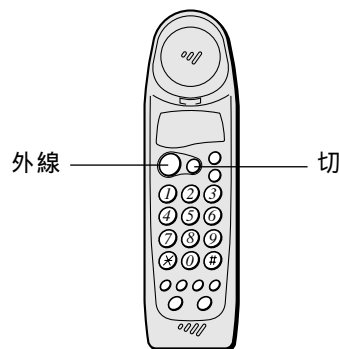
通話時間表示について

ダイヤル後、約10秒経つと相手が出ないときでも通話時間が表示されます。相手が出ると、0秒から表示されます。
通話時間は目安としてご利用ください。
受話器を戻してから、5秒間通話時間が表示されます。
通話時間が59分59秒を超えたときは、00分00秒から表示されます。

子機で電話をかける

操作前のご注意

親機を使用中（電話中やコピー中）のときは使用できません。電話をかけようとすると、「ピッピッ」という音がします。



1 充電器からとります。

（充電器に置いていないときは **外線** を押します。）

「ピッ」という音がして[外線]ボタンが点滅したのち点灯します。

「ツー」という音が聞こえます。

ダイヤルボタンが約15秒間光っています。

2 相手先の番号をダイヤルします。

充電器からとったときは、ダイヤルボタンが光っている間にダイヤルしてください。12秒以上何もしないと「ピッピッ・ピッピッ...」という音がして、そのまま3秒経つと回線が切れます。

3 話をします。

音量を調整できます。（ P.47）

4 話が終わったら充電器に戻します。

（または **切** を押します。）

[外線]ボタンが消灯します。

充電器に戻す際は[着信/充電]ランプが点灯するように置いてください。

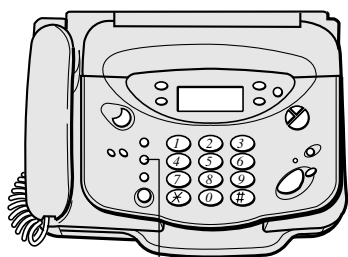
ご注意

通話中に通話圏外になると、「ピーピーピー...」という音がします。親機に近づいてください。通話圏外で約10秒経つと親機側で保留になり、さらに1分経つと回線が切れます。
通話中に「ピッピッピッ...」という音がした時は、電池の充電残量が1分以内になっています。約20秒後に回線が切れます。

☎ リダイヤル(同じ相手にもう一度かける)


親機でリダイヤルする

最後にかけた相手には、ボタンひとつでかけなおすことができます。話し中だった相手にもう一度かけなおすときなどにご利用ください。
リダイヤルできる桁数は40桁までです。



リダイヤル/ポーズ

1 受話器をとります。 10/17 12:00 0

2 リダイヤル/ポーズ  を押し
ます。 リダイヤル/ポーズ
交互に表示

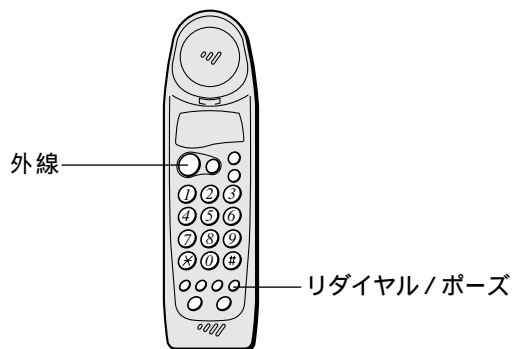
7/7:0120200940

ご注意

最後にかけた相手には、ファクスを送った相手も含まれます。この中には、相手が話し中などでファクスを送れなかった場合も含まれますのでご注意ください。
子機で電話をかけた相手に、親機でリダイヤルすることはできません。


子機でリダイヤルする


最後にかけた相手にはボタンひとつでかけなおすことができます。
リダイヤルできる桁数は32桁までです。



外線

リダイヤル/ポーズ

1 充電器からとります。
(充電器に置いていないときは  を
押します。)

2 リダイヤル
ポーズ  を押します。

ご注意

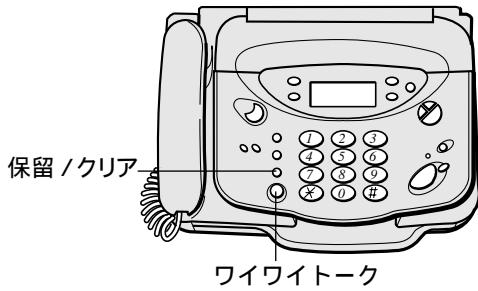
親機で電話をかけたたり、ファクスを送ったりした相手に、子機でリダイヤルすることはできません。

保留する

話をしている途中で相手に待っていてほしいときなどに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

メロディ音（保留メロディ）は、2つの中から選ぶことができます。（ P.55 ）

親機で保留する



- 1 通話中です。
- 2 を押します。
メロディ音が流れます。
受話器を戻しても電話は切れません。
- 3 もう一度話をするときには を押します。
受話器を戻していたときは、受話器をとるだけで話ができます。
- 4 話が終わったら受話器を戻します。
ワイワイトークのときは [ワイワイトーク] ボタンを押してください。

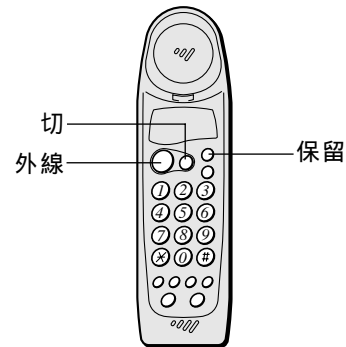
子機で話をするとき

- 1 保留中です。
- 2 受話器を戻します。
戻していたときは次の手順3へ進んでください。
- 3 子機を充電器からとります。
(充電器に置いていないときは を押します。)
子機で話ができます。

ご注意

10分以上保留にしたまましていると電話は切れます。

子機で保留する



- 1 通話中です。
- 2 を押します。
メロディ音が流れます。
充電器に戻しても電話は切れません。
- 3 もう一度話をするときは を押します。
(または を押します。)
充電器に戻していたときは、充電器からとるだけで話ができます。
- 4 話が終わったら充電器に戻します。
(または を押します。)

親機で話をするとき

- 1 保留中です。
- 2 子機を充電器に戻していないときは を押します。
充電器に戻していたときは次の手順3へ進んでください。
- 3 親機の受話器をとります。
親機で話ができます。

☎ 電子電話帳 (短縮ダイヤル)

親機の電子電話帳の登録

親機の電子電話帳の短縮ダイヤルに相手の電話番号とともに名前を登録しておく、電話をかける時、ディスプレイで相手先名を選んでかけることができます。また、短縮番号を押して電話をかけることもできます。登録した内容は電話番号リストで確認できます。(P.33)

登録内容

- ・登録箇所：20カ所
- ・短縮番号：01～20
- ・電話番号：最大32桁
- ・相手先名：最大12文字

登録



1 機能選択 を押します。

2 4 を押します。

3 セット を押します。

4 電話帳/キャッチ を押します。

5 短縮番号 (01 ~ 20) を入力します。

6 セット を押します。

7 相手先の番号を入力します。

8 セット を押します。

9 相手先の名前を入力します。
入力のしかたは、P.56をご覧ください。名前を入力しないときは、次の手順10へ進んでください。

10 セット を押します。

続けて何か所も登録するときは、手順4へ戻ってください。

11 登録を終わるときは、もう一度 セット を押します。

消去

1 登録の手順1～6を行います。

2 保留/クリア を押します。

3 セット を押します。

こんなときは

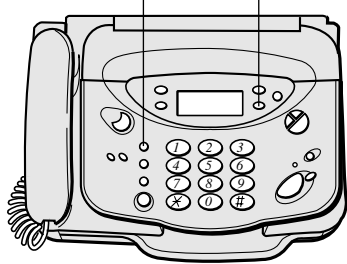
手順7で番号を間違えたときは[音量]ボタンでカーソルを移動するか(小:左移動、大:右移動)[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。登録した電話番号や名前を修正したいときは、同じ手順で登録しなおしてください。途中で登録をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

国際電話を利用するとき

国際電話を利用するときは、手順7で国際電話番号を入力した後、[リダイヤル/ポーズ]ボタンを2回押してから(表示は「- -」)残りの電話番号を入力してください。[リダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと1回約3秒のポーズが入ります。
例：001 - - 1 - - [相手先の番号]

親機で電子電話帳を使って電話をかける

電話帳 / キャッチ セット



ディスプレイで相手先名を選んでかける

1 受話器をとりま
す。



2 電話帳/キャッチ
● を押しま
す。



最も若い短縮番号に登録してある相手先の名前が表示されます。名前を登録していないときは電話番号が表示されます。

3 電話帳/キャッチ
● を押し
相手先を選びま
す。



[電話帳 / キャッチ] ボタンを押すごとに短縮番号順に表示され、[*] ボタンを押すとひとつ前の相手先が表示されます。

4 セット
● を押しま
す。



ダイヤルが始まります。

交互に表示



5 話が終わったら
受話器を戻しま
す。



短縮番号を押してかける

1 受話器をとりま
す。



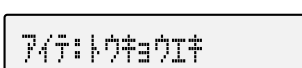
2 電話帳/キャッチ
● を押しま
す。



3 相手先の短縮番
号を押します。
例えば、[0][3]
と押します。



交互に表示



4 話が終わったら
受話器を戻しま
す。



ご注意

親機で子機の短縮ダイヤルは使えません。

子機の短縮ダイヤルの登録

子機の短縮ダイヤルに相手の電話番号を登録しておくと、電話をかけるとき、この登録した短縮番号を押して電話をかけることができます。

登録内容

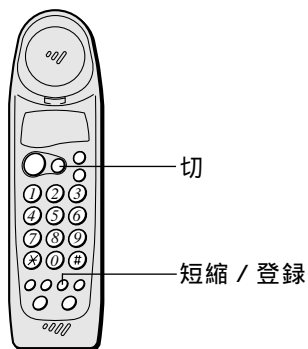
- ・登録箇所：10カ所
- ・短縮番号：0～9
- ・電話番号：最大16桁



操作前のご注意

- ・ [外線]ランプが点灯しているときは、登録できません。[切]ボタンを押してから操作してください。
- ・ 各ボタンは20秒以内に操作してください。20秒以上何もしないと「ピッピッピッ...」という音がして登録が中断されます。

登録



待機中に操作します。



- 1  を押します。
- 2 短縮番号 (0～9) を入力します。
- 3 相手先の番号を入力します。
- 4  を押します。
「ピー」という音がします。

消去

待機中に操作します。

- 1  を押します。
- 2 短縮番号 (0～9) を入力します。
- 3  を押します。
「ピー」という音がします。

こんなときは

番号を間違えたときは、充電器に戻し、もう一度はじめてやりなおしてください。
登録した電話番号を修正したいときは、同じ手順で登録しなおしてください。

途中で登録 / 消去をやめるときは、充電器に戻るか、[切]ボタンを押してください。

電話番号リストのプリント

親機の電子電話帳の登録内容をプリントできます。
子機の短縮ダイヤルの登録内容はプリントできません。



- 1 機能選択 を押し
ます。 キノウバンゴウ シテウダサイ
 - 2 1 を押し
ます。 リスト プリント
 - 3 セット を押し
ます。 デング リスト プリント
- レポート シュツリョクチュウ

こんなときは

電子電話帳に登録されていない場合は、ディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」と表示され、プリントされません。

途中でプリントをやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

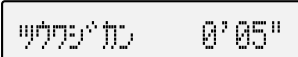

電話番号リストのプリント例

デ ンワバ ンゴ`ウ リスト		
1997.10.17 12:00		
ニチデ ン タロウ		
タンシュク	アイテサキ	デ ンワバ ンゴ`ウ
01	ヤマダ	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
02	サトウ	0 0 0 1 1 1 2 2 2 3
03	タナカ	1 1 1 2 2 2 3 3 3 4
~~~~~		
20	イトウ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2

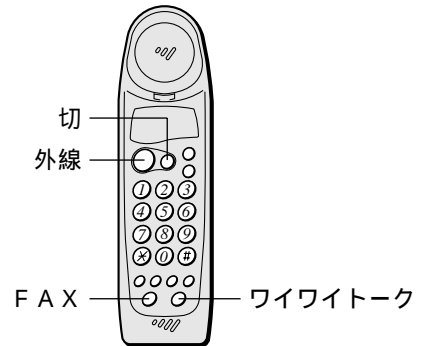
# ☎ 電話を受ける

## 親機で受ける



- 1 ベルが鳴ります。  
[おやすみ] ボタンが点滅します。
- 2 受話器をとりま  
す。  

- 3 話が終わったら  
受話器を戻しま  
す。  


## 子機で受ける



- 1 ベルが鳴ります。  
[着信/充電] ランプ、[外線] ボタンおよび  
[ワイワイトーク] ボタンが点滅します。  
親機より少し遅れて鳴り始めます。
- 2 充電器からとります。  
(充電器に置いていないときは **外線** を  
押します。)  
子機をとると [外線] ボタンが点灯し、親機に  
「ナイセン2 ショウチュウ」と表示されます。
- 3 話が終わったら充電器に戻します。  
(または **切** を押します。)  
[外線] ボタンが消灯します。

### こんなときは

親機の受話器(または子機)を置いたまま電話に出たいときは、[ワイワイトーク] ボタンを押してください。なお、親機の場合、[ワイワイトーク] ボタンを押したあと約2秒間通話できません。

ベルの音を調整したいときは、P.47をご覧ください。

### ポー・ポー・ポー...という音が聞こえるとき/無音のとき

親機の受話器(または子機)をとったら、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえるときは相手がファクス送信しています。[スタート/コピー] ボタンを押して受話器を戻してください。子機では[FAX] ボタンを押してください。

親機の受話器(または子機)をとったら、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえ、『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れたときは、受話器(または子機)を戻してください。(P.76 FAXかんたん受信の設定 参照)

親機の受話器(または子機)をとったら無音のときは、相手がファクスかもしれません。[スタート/コピー] ボタン(子機では[FAX] ボタン)を押してみてください。(旧型のファクスやコンビニエンスストアなどのファクスは、送信時に「ポー・ポー・ポー...」という音を出さない場合があります。)

# 〔C〕 キャッチホンの利用

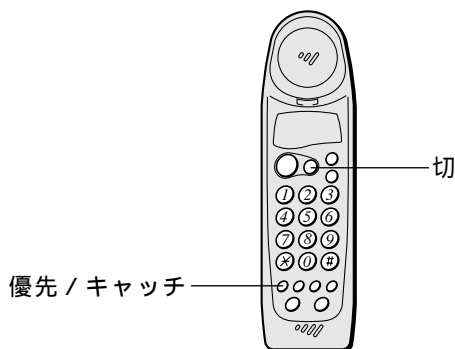
キャッチホンサービス（通話中着信サービス）はN T Tが行っているサービスです。通話中に別の人から電話があると、音で通知され、その電話に出ることができます。

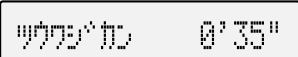

キャッチホンを利用するにはN T Tとの契約が必要です（有料）。


## 親機で利用する





## 子機で利用する





- 1 通話中です。 
- 2 キャッチホンの着信音「プルルー・プップ」が聞こえます。
- 3  を押します。  
あとからかけてきた人と話ができます。はじめに話していた人との電話は保留になります。

- 1 通話中です。
- 2 キャッチホンの着信音「プルルー・プップ」が聞こえます。
- 3  を押します。  
あとからかけてきた人と話ができます。はじめに話していた人との電話は保留になります。

### もう一度はじめの人と話をするとき

- 4  を押します。  
あとからかけてきた人の電話は保留になります。
- 5 両方の話が終わったら受話器を戻します。 

### もう一度はじめの人と話をするとき

- 4  を押します。  
あとからかけてきた人の電話は保留になります。
- 5 両方の話が終わったら充電器に戻します。  
(または  を押します。)

### ご注意

ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。

キャッチホンが入っていないときに [電話帳 / キャッチ] (親機) または [優先 / キャッチ] (子機) ボタンを押すと電話が切れてしまいます。

### こんなときは

通話中にキャッチホンサービスにより割り込まれた相手がファクスの場合は、そのファクスを受けられません。[電話帳 / キャッチ] ボタン (子機では [優先 / キャッチ] ボタン) を押して通話していた方と

お話ください。なお、この場合はファクスを送ってきた相手側は通信エラーとなります。続けてファクスが送られてくると考えられますので、早めに通話を終わられることをおすすめします。

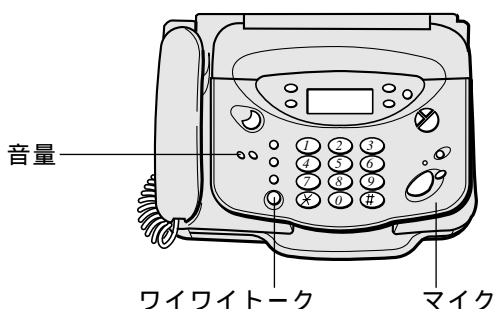
# ワイワイトーク (ハンズフリー通話)

## 親機の受話器を持たずに話をする

受話器を持たずに電話ができます。両手がふさがっているときや、みんなで話したいときに便利です。  
ワイワイトークは周囲の雑音がない静かな場所で行ってください。

### 操作前のご注意

相手の声は左側面にあるモニタスピーカから聞こえます。モニタスピーカをふさがないように壁などから20cm以上離して設置してください。



- 1 ^{ワイワイトーク} を押し  
ます。  
[ワイワイトーク] ボタンが点灯します。
- 2 相手先の番号を  
ダイヤルしま  
す。
- 3 マイクに向かっ  
て話をしま  
す。  
マイクから約50cm以内の範囲でお話ください。
- 4 話が終わった  
ら ^{ワイワイトーク} を押し  
ます。  
[ワイワイトーク] ボタンが消灯します。

### ご注意

話し始めや相手が話している間、または周囲の雑音が大ききときは、相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、マイクに近づいて話をしてください。  
次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなります。ご注意ください。

- ・ ワイワイトーク中のモニタスピーカ音量を大きくしすぎたとき
- ・ モニタスピーカやマイクに手などを近づけたとき
- ・ 反響音大きい所に設置したとき
- ・ 相手から音声以外の信号（保留音やトーン信号等）が入ってきたとき

### こんなときは

ワイワイトーク中に受話器での通話に切り替えたいときは、受話器をとってください。  
受話器での通話中にワイワイトークに切り替えたいときは、[ワイワイトーク] ボタンを押してから受話器を戻してください。

スピーカの音量を調整したいときは、[音量] ボタンを押してください。( P.47)

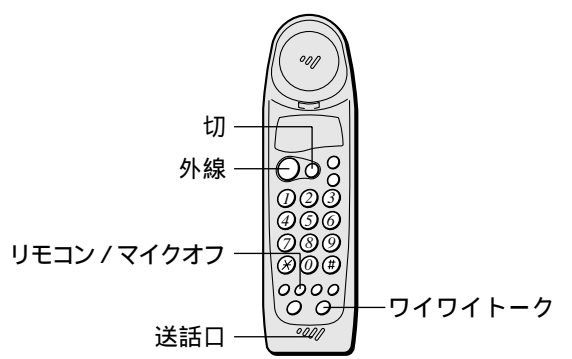
### 異常音が発生したとき



ワイワイトーク中に会話以外の「ピー」、「キー」等の異常音（ハウリング音）が聞こえたときや、スピーカの音量が不安定になったときは次のようにしてください。

- ・ [音量](小) ボタンを押してスピーカの音量を小さくする
- ・ 受話器をとって、受話器での通話に切り替える

# 子機を持たずに話をする

ダイヤルしたあとは、子機を立てて使うこともできます。ワイワイトークは周囲の雑音がない静かな場所で行ってください。



- 1  を押します。  
「ピッ」という音がして、[ワイワイトーク] ボタンと [外線] ボタンが点滅したのち点灯します。
- 2 相手先の番号をダイヤルします。
- 3 送話口に向かって話をします。  
送話口から約 50 cm 以内の範囲でお話してください。
- 4 話が終わったら  を押します。  
(または充電器に戻します。)  
[ワイワイトーク] ボタンと [外線] ボタンが消灯します。

## ご注意

話し始めや相手が話している間、または周囲の雑音が大きいつきは、相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、送話口に近づいて話をしてください。  
次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなりますので、ご注意ください。

- ・ワイワイトーク中のモニタスピーカ音量を大きくしすぎたとき
- ・モニタスピーカやマイクに手などを近づけたとき
- ・反響音の大きい所に設置したとき
- ・相手から音声以外の信号（保留音やトーン信号等）が入ってきたとき

## こんなときは

ワイワイトーク中に子機を持った通常の通話に切り替えたいときは、[外線] ボタンを押してください。充電器に置いてあるときは、充電器からとると切り替わります。  
子機での通話中にワイワイトークに切り替えたいときは、[ワイワイトーク] ボタンを押してください。  
ワイワイトーク中にこちらの会話を相手に聞かれないときは、[リモコン/マイクオフ] ボタンを押してください（[ワイワイトーク] ボタン点滅）。話すときはもう一度 [リモコン/マイクオフ] ボタンを押してください。

スピーカの音量を調整したいときは、[ワイワイトーク] ボタンを押してください。（ P.47）  
通常のワイワイトークでは、モニタスピーカ音量の設定を「標準」または「大」でご使用ください。モニタスピーカ音量を大きくすると、音が割れたり、歪んだりすることがあります。「特大」の設定は、「大」の設定で音が小さい場合にお使いください。

## 異常音が発生したとき

ワイワイトーク中に会話以外の「ピー」、「キー」等の異常音（ハウリング音）が聞こえたときや、スピーカの音量が不安定になったときは次のようにしてください。

- ・ [ワイワイトーク] ボタンを押してスピーカの音量を小さくする

- ・ 相手が話をしているときは、[リモコン/マイクオフ] ボタンを押す（こちらの声は相手に聞こえなくなります）
- ・ [外線] ボタンを押して、子機を持って話す

# 転送 (外線を他の内線へ転送する)

外からの電話(「外線」と呼びます)を親機から子機、または子機から親機へ転送できます。増設子機(別売)使用の場合は、子機から他の子機へ転送できます。内線番号について親機や子機には内線番号が割り当てられてい

ます。転送する時にダイヤルします。

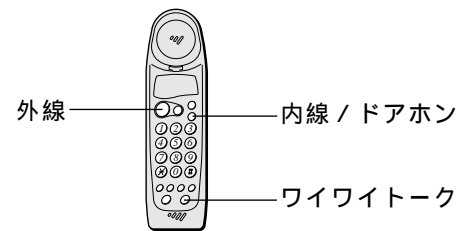
- ・親機： 1
- ・付属の子機(内線2)： 2
- ・増設子機(1台目-内線3)： 3
- ・増設子機(2台目-内線4)： 4
- ・増設子機(3台目-内線5)： 5





## 電話を親機から子機へ転送する


### 転送する側



### 転送される側



- 1 受話器で外線と通話中です。  

- 2  **2** を 押します。  
 [おやすみ]ボタンが点滅します。  
 外線が保留になり、相手にはメロディ音が流れます。
- 3 呼出音が止まったらメッセージを言います。  

- 4 子機が出たら外線を転送することを伝えます。  

- 5 受話器を戻します。

- 1 ベルが2~3回鳴ります。  
 [内線/ドアホン]ボタンと[ワイワイトーク]ボタンが点滅します。  
 ベルが2~3回鳴ると自動的に着信します。  
 「ボイスコールしない」に設定しているときは、ベルが鳴り続けます。
- 2 メッセージがスピーカから聞こえます。
- 3 充電器からとります。  
 (充電器に置いていないときは  を押します。)  
 [内線/ドアホン]ボタンが点灯します。  
 メッセージがスピーカから聞こえたときは、ワイワイトークで親機と話ができますが、外線と話をするには、親機との話が終わる前に充電器からとってください。
- 4 親機と話をしてします。
- 5 外線と話をしてします。  
 転送する側が受話器を戻すと、外線と話ができます。  
 [内線/ドアホン]ボタンが消灯し、[外線]ボタンが点灯します。

### こんなときは

子機側が出ないときは、[内線/ドアホン]ボタンを押すともう一度外線と話ができます。一人で転送したいときは保留してから子機で出てく

ださい。( P.28)

「ボイスコールしない」に設定することもできます。( P.41)

### 増設子機(別売)使用の場合

手順2では次のボタンを押してください。

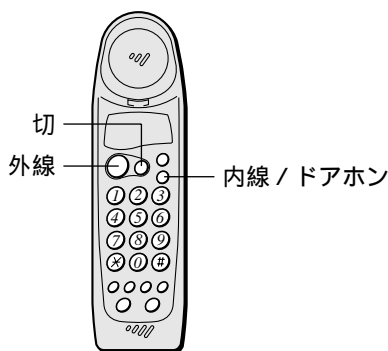
- ・子機(内線2)呼出： [内線/ドアホン][ 2 ]
- ・子機(内線3)呼出： [内線/ドアホン][ 3 ]

- ・子機(内線4)呼出： [内線/ドアホン][ 4 ]
- ・子機(内線5)呼出： [内線/ドアホン][ 5 ]
- ・子機一斉呼出： [内線/ドアホン][ * ]

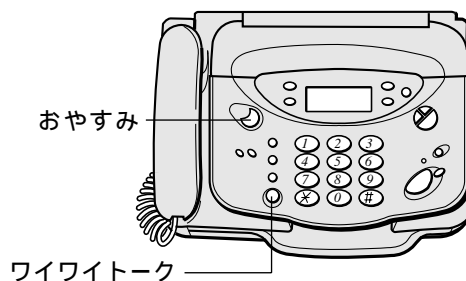


# 電話を子機から親機へ転送する

## 転送する側



## 転送される側



ご使用前の  
注意

設置と  
初期状態

電  
話

ファ  
クス

留  
守  
番

ハン  
ドス  
キャ  
ナ

スー  
パー  
レ  
C  
R

ダイ  
ヤル  
イン

困  
った  
とき  
は

**1** 外線と通話中です。

**2** 内線/ドアホン **①** を押します。  
 [外線] ボタンと [内線/ドアホン] ボタンが点滅します。  
 外線が保留になり、相手にはメロディ音が流れます。

**3** 呼出音が止まったらメッセージを言います。  
 [内線/ドアホン] ボタンが点灯します。

**4** 親機が出たら外線を転送することを伝えます。

**5** 充電器に戻します。  
 (または **②** を押します。)

.....**1** ベルが2~3回鳴ります。  
 [おやすみ] ボタンが点滅します。  
 ベルが2~3回鳴ると自動的に着信します。  
 「ボイスコールしない」に設定しているときは、ベルが鳴り続けます。

.....**2** メッセージがスピーカから聞こえます。  
 [ワイワイトーク] ボタンが点滅します。

**3** 受話器をとりま  
 [ワイワイトーク] ボタンが消灯します。

.....**4** 子機と話をします。

.....**5** 外線と話をしま  
 転送する側が充電器に戻るか、[切] ボタンを押すと、外線と話ができます。

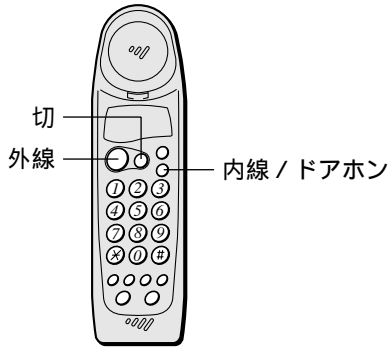
### こんなときは

親機が出ないときは、[外線] ボタンを押すともう一度外線と話ができます。

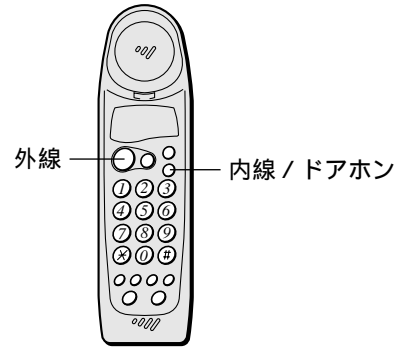
「ボイスコールしない」に設定することもできます。  
 ( P.41 )

# 電話を子機から他の子機へ転送する（増設子機使用の場合）

## 転送する側



## 転送される側



**1** 外線と通話中です。

**2** 次のボタンを押します。

- ・子機（内線 2）：  
- ・子機（内線 3）：  
- ・子機（内線 4）：  
- ・子機（内線 5）：  
- ・子機一斉：  

[外線] ボタンと [内線 / ドアホン] ボタンが点滅します。  
外線が保留になり、相手にはメロディ音が流れます。

**3** 子機が出て呼出音が止まったらメッセージを伝えます。

[内線 / ドアホン] ボタンが点灯します。  
子機と話はできません。こちらから一方的に最大 20 秒間メッセージを伝えることができます。  
(20 秒過ぎると自動的に外線が転送されます。)


**4** 充電器に戻します。

(または  を押します。)

……**1** ベルが鳴ります。

[外線] ボタンと [内線 / ドアホン] ボタンが点滅します。

**2** 充電器からとります。

(充電器に置いていないときは  を押します。)

……**3** メッセージを聞きます。

子機と話はできません。  
[内線 / ドアホン] ボタンが点灯します。

……**4** 外線と話をします。

転送する側が充電器に戻るか、[切] ボタンを押すと、外線と話ができます。  
[内線 / ドアホン] ボタンが消灯し、[外線] ボタンが点灯します。

### こんなときは

子機が出ないときは、[外線] ボタンを押すともう一度外線と話ができます。

子機から他の子機へ転送する場合、子機間で話できません。

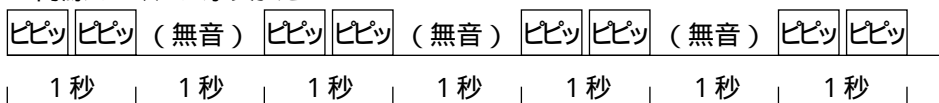
# C 内線通話

親機と子機で話ができます。  
親機や子機を呼び出す時にボイスコールができます(下記)。  
内線を呼び出し中に外線(外からの電話)がかかってくると、内線の呼び出しを中止して外線のベルが鳴ります。  
内線通話時は保留できません。  
子機間では話できません(増設子機<別売>使用の場合)。また、三者通話もできません。

内線番号について  
親機や子機には内線番号が割り当てられています。呼び出す時にダイヤルします。

- ・親機： 1
- ・付属の子機(内線2)： 2
- ・増設子機(1台目-内線3)： 3
- ・増設子機(2台目-内線4)： 4
- ・増設子機(3台目-内線5)： 5

内線のベルの鳴りかた



## ボイスコールの設定

ボイスコール機能について  
親機や子機を呼び出す時に、ベルを2~3回鳴らしたあと自動的に着信させ、スピーカから音声で呼び出す機能をボイスコールといいます。

お買い上げいただいたときは、「ボイスコールする」に設定されています。「ボイスコールしない」に設定すると、電話に出るまでベルが鳴り続けます。



4 機能選択 **○** を6回押しします。  
ディスプレイ: ボイスコール 0x  
カーソル

5 **1** または **3** を押してカーソルを移動します。  
—x: ボイスコールする  
x: ボイスコールしない

1 機能選択 **○** を押しします。  
ディスプレイ: キリウセンタク シテクダサイ

2 **3** を押しします。  
ディスプレイ: セッテイ モード

3 セット **○** を押しします。  
ディスプレイ: コミリ ノクト

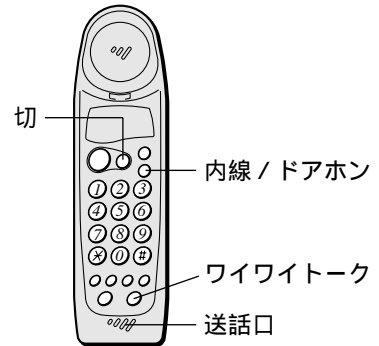
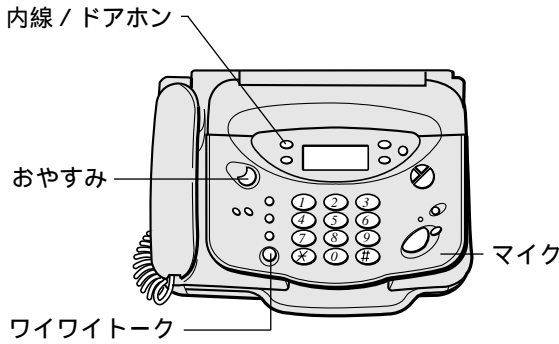
6 セット **○** を押しします。  
ディスプレイ: カリヨウ


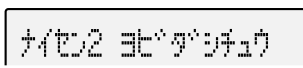
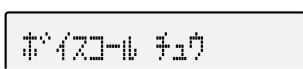




ディスプレイ: 10/17 12:00 0

### こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

## 親機から子機を呼ぶ（ボイスコール設定時）



- 1**  **2** を  …… **1** ベルが2～3回鳴ります。  
 [内線 / ドアホン] ボタンと [ワイワイトーク] ボタンが点滅します。  
 ベルが2～3回鳴ると自動的に着信します。  
 [おやすみ] ボタンが点滅します。
- 2** 呼出音が止まった  …… **2** メッセージがスピーカから聞こえます。  
 からマイクに向かってメッセージを言います。  
 [ワイワイトーク] ボタンが点灯します。  
 受話器をとって言うこともできます。
- 3** 相手が出たら話  …… **3** 送話口に向って話をします。  
 をします。  
 子機を持って話をするときは、[内線 / ドアホン] ボタンを押してください。  
 充電器に置いてあるときは充電器からとってください。
- 4** 話が終わった  …… **4** 子機を持って話をしていたときは、 を押します。  
 から  を押します。  
 (または受話器を戻します。)  
 (または充電器に戻します。)  
 [内線 / ドアホン] ボタンが消灯します。

### ご注意

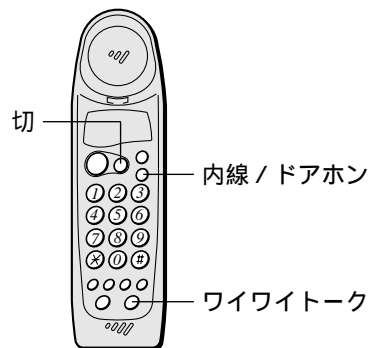
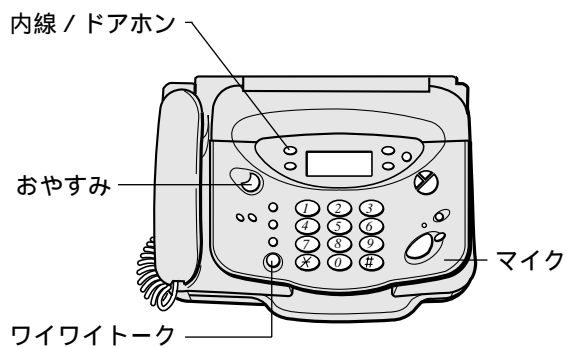
外線で使用中のときは内線通話をすることはできません。  
 子機一斉呼出ではボイスコールはできません。  
 親機（または子機）がワイワイトークで内線通話を

しているときに、親機と子機が近すぎると、「ピー」「キー」等の異常音（ハウリング音）がすることがあります。このようなときは、子機を親機から離してください。

### 増設子機（別売）使用の場合

- 手順1では次のボタンを押してください。
- ・子機（内線2）呼出：[内線 / ドアホン][ 2 ]
  - ・子機（内線3）呼出：[内線 / ドアホン][ 3 ]
  - ・子機（内線4）呼出：[内線 / ドアホン][ 4 ]
  - ・子機（内線5）呼出：[内線 / ドアホン][ 5 ]
  - ・子機一斉呼出：[内線 / ドアホン][ * ]

# 親機から子機を呼ぶ（ボイスコール未設定時）



**1** **2** を を …… **1** ベルが鳴ります。  
 [内線 / ドアホン] ボタンと [ワイワイトーク] ボタンが点滅します。

**1** ベルが鳴ります。  
 [内線 / ドアホン] ボタンと [ワイワイトーク] ボタンが点滅します。

**2** 充電器からとります。  
 (充電器に置いていないときは を押します。)  
 [ワイワイトーク] ボタンを押して出ることもできます。  
 [内線 / ドアホン] ボタンが点灯します。

**2** 相手が出たらマ …… **3** 話をします。  
 イクに向かって話をします。  
 [ワイワイトーク] ボタンが点灯します。  
 受話器をとって話すこともできます。

**3** 話をします。

**3** 話が終わった …… **4** 話が終わったら充電器に戻します。  
 ら を押します。  
 (または受話器を戻します。)

**4** 話が終わったら充電器に戻します。  
 (または を押します。)  
 [内線 / ドアホン] ボタンが消灯します。

## ご注意

外線で使用中のときは内線通話をすることはできません。  
 親機（または子機）がワイワイトークで内線通話をしているときに、親機と子機が近すぎると、「ピー」

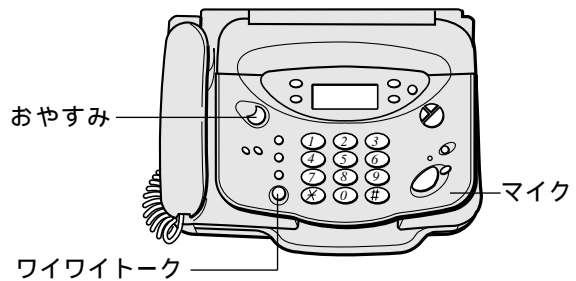
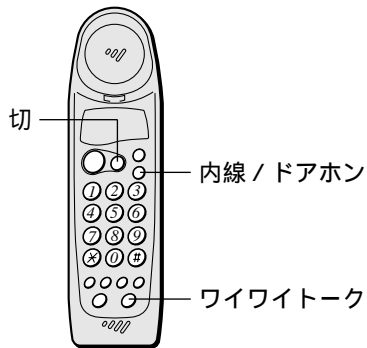
「キー」等の異常音（ハウリング音）がすることがあります。このようなときは、子機を親機から離してください。

## 増設子機（別売）使用の場合

手順1では次のボタンを押してください。  
 ・子機（内線2）呼出：[内線 / ドアホン][2]  
 ・子機（内線3）呼出：[内線 / ドアホン][3]  
 ・子機（内線4）呼出：[内線 / ドアホン][4]

・子機（内線5）呼出：[内線 / ドアホン][5]  
 ・子機一斉呼出：[内線 / ドアホン][*]

## 子機から親機を呼ぶ（ボイスコール設定時）



- 1** 充電器からとり、^{内線/ドアホン} **1** を押しま…… **1** ベルが2～3回鳴ります。

す。  
[内線/ドアホン] ボタンが点滅します。  
充電器に置いたまま [内線/ドアホン] [1] を押すとワイワイトークで話ができます。
- 2** 呼出音が止まったらメッセージを言い…… **2** メッセージがスピーカから聞こえます。

ます。  
[内線/ドアホン] ボタンが点灯します。  
[ワイワイトーク] ボタンが点滅します。
- 3** 相手が出たら話をします。 …… **3** マイクに向かって話をします。

受話器をとって話すこともできます。
- 4** 話が終わったら充電器に戻します。  
(または **切** を押します。)

[内線/ドアホン] ボタンが消灯します。 …… **4** 受話器で話をしていたときは、受話器を戻します。

ナセル2 09 30'00"

ボイスコール ちょう

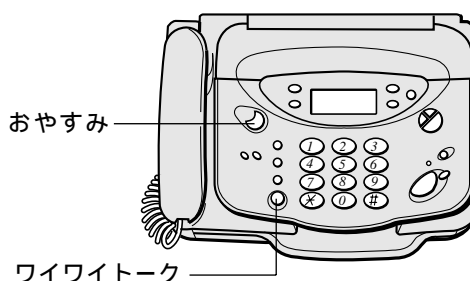
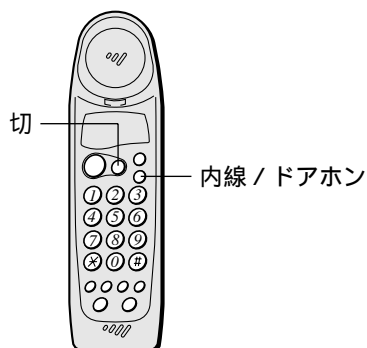
10/17 12:00 0

### ご注意

外線で使用中のときは内線通話をすることはできません。  
親機（または子機）がワイワイトークで内線通話をしているときに、親機と子機が近すぎると、「ピー」

「キー」等の異常音（ハウリング音）がすることがあります。このようなときは、子機を親機から離してください。

## 子機から親機を呼ぶ（ボイスコール未設定時）



**1** 充電器からとり、^{内線 / ドアホン} **1** を押しま……  
す。  
[内線 / ドアホン] ボタンが点滅します。  
充電器に置いたまま [内線 / ドアホン] [ 1 ] を  
押しとワイワイトークで話ができます。

**1** ベルが鳴ります。  
[おやすみ] ボタ  
ンが点滅します。

ナレ2 01 307 000

**2** 相手が出たら話をします。  
[内線 / ドアホン] ボタンが点灯します。

…… **2** 受話器をとって  
話をします。  
[ワイワイトーク] ボタンを押して出ることもで  
きます。

ナレ2 ト ヌウワキウ

**3** 話が終わったら充電器に戻します。  
(または **切** を押します。)  
[内線 / ドアホン] ボタンが消灯します。

…… **3** 受話器を戻しま  
す。

10/17 12:00 0

### ご注意

外線で使用中のときは内線通話をすることはできま  
せん。

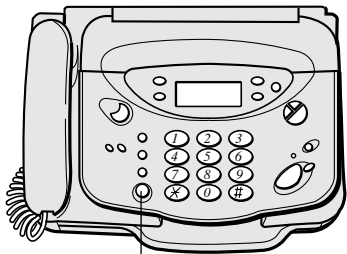
親機（または子機）がワイワイトークで内線通話を  
しているときに、親機と子機が近すぎると、「ピー」

「キー」等の異常音（ハウリング音）がすることがあ  
ります。このようなときは、子機を親機から離して  
ください。

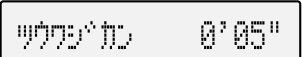

## 内線通話の途中で電話がかかってきたとき

内線通話中に外線がかかってくるとベルが鳴ります。内線通話を終了して外線に出ることができます。

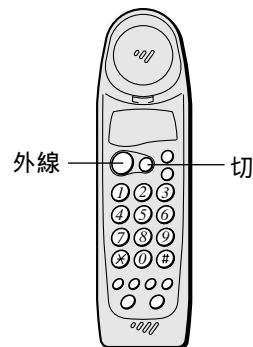
### 親機で外線に出るとき



ワイワイトーク

- 1 内線通話中に外線がかかってくるとベルが鳴ります。
- 2 受話器を戻します。  
ワイワイトーク中のときは、[ワイワイトーク] ボタンを押してください。  
内線通話が切れます。
- 3 受話器をとりま  
す。  
外線とつながります。  

- 4 話が終わったら  
受話器を戻しま  
す。  


### 子機で外線に出るとき



- 1 内線通話中に外線がかかってくるとベルが鳴ります。
- 2 **外線** を押します。  
内線通話が切れ、外線とつながります。
- 3 話が終わったら充電器に戻します。  
(または **切** を押します。)

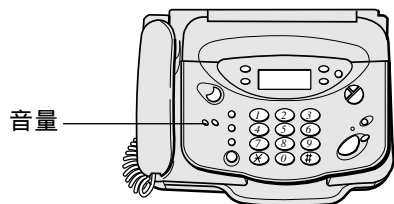
### こんなときは

内線のベルが鳴っている時に外線がかかってくると、内線の呼び出しを中止して外線のベルが鳴ります。

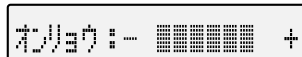


# 音量調整

## 親機の音量調整



音量調整時のディスプレイ



### ベル音量

待機中（電話とファクスのどちらも使用していない状態）に [音量] ボタンを押します。

音量「切」 音量「小」 音量「中」 音量「大」

### 受話音量

受話器で通話中に [音量] ボタンを押します。

音量「小」 音量「中」 音量「大」

### ワイワートーク音量

ワイワートーク中に [音量] ボタンを押します。スピーカの音量を調整できます。

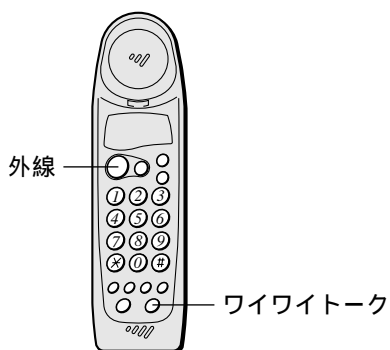
音量 1 音量 2 音量 3 音量 4 音量 5 音量 6

### モニタスピーカ音量

用件再生中などに [音量] ボタンを押します。

音量「切」 音量「小」 音量「中」 音量「大」

## 子機の音量調整



### ベル音量

待機中に調整します。

- ① を 1 秒以上押します。  
設定されている音量でベルが鳴ります。
- 続けて ① を押し続けると、次の順に音量が切り替わります。  
切(ピピッ) → 標準 → 大
- 設定したい音量の時、ボタンから手を離します。

### 受話音量

子機をとって通話中に [外線] ボタンを押します（標準/大/特大）。

### ワイワートーク音量

ワイワートーク中に [ワイワートーク] ボタンを押します（標準/大/特大）。スピーカの音量を調整できます。

### ご注意


- 「切」に設定したときは次のようになります。
- ・ 外線のベル：鳴らない
- ・ 内線のベル：「標準」の音量で鳴る

## ㊦ トーン信号送出

### (ダイヤル回線の場合)

ダイヤル回線を使用している場合でもトーン信号(プッシュ信号「ピッポッパ」)によって、ポケベル呼び出しや、テレホンサービス、ファクス情報サービスの利用などができます。

**1** 電話をかけます。

**2**  を押します。

以後はダイヤルボタンを押すとプッシュ信号が送出されます。

**3** 用件が済んだら電話を切ります。

電話を切ると自動的にダイヤル信号に戻ります。

## ㊦ 子機の増設

別売の子機を増設できます。

増設できる子機の型名

s p e a x 3 1 - Z K

増設できる台数

最大3台まで。(付属の子機と合わせて、合計で4台になります。)

(s p e a x 3 1 5 K C L Wでは最大2台まで)

お買い求めは

本機をお買い上げいただいた販売店でお買い求めください。

識別番号の登録

ご使用前に識別番号(IDコード)の登録が必要です。登録には、増設する子機と親機(本体)が必要です。親機を販売店にお持ちください。詳しくは販売店にお問い合わせください。(増設のしかたは、増設子機に添付されています。)

子機を増設すると

- ・親機から子機を指定して呼び出すことができます。
- ・子機から他の子機へ外線を転送できます。
- ・子機間で内線通話することはできません。

# C 外付け電話機の利用

本機に外付け電話機を接続した場合、外付け電話機で電話をかけたり、受けたりすることができます。また、電話を受けた時、相手がファクスのときでも受信操作することができます。

ご注意

留守番電話機を接続した場合、その電話機の留守番電話機能は使用できません。本機の留守番機能をお使いください。

制限事項

- ・ファクス / 電話自動切替で使用の場合、自動的に回線を接続したあとは、外付け電話機のベルは鳴りません。したがって、無鳴動着信で使用の場合は、一切外付け電話機のベルは鳴りません。
- ・ダイヤルインサービスを利用時は、外付け電話機のベルは鳴りません。
- ・外付け電話機でドアホンと通話することはできません。

## 電話のかけかた / 受けかた

外付け電話機の説明書に従ってください。

## ファクスの受けかた

電話を受けた時、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえる時の受けかたです。

### ダイヤル回線をお使いの場合

- 1 (3) を押します。
- 2 5秒ほど待ってから受話器を戻します。

### プッシュ回線をお使いの場合

- 1 (3) (＊) を押します。
- 2 受話器を戻します。

### こんなときは

「FAXかんたん受信する」( P.76 ) に設定しているときは、電話を受けた時、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたあと無音になります。この場合は受話器を戻してください。

親機でコピー中やレポート出力中、登録・設定中は受信できません。


外付け電話機で電話をかけて話をしたあと、ファクスを送ってもらうときは、親機の [ スタート / コピー ] ボタンを押してください。

プッシュ回線をお使いの場合、[ 3 ] [ ＊ ] を他の番号に変更できます。( P.78 )

## 転送

口頭で電話を転送することを伝えます。外付け電話機と親機間の通話はできません。

### 電話を外付け電話機から親機へ転送する

- 1 外付け電話機で通話中です。
- 2 親機の  を押します。
- 3 外付け電話機を受話器を戻します。
- 4 親機のワイワイトークで話をします。  
受話器をとって話をすることもできます。

### 電話を親機から外付け電話機へ転送する

- 1 親機で通話中です。
- 2 外付け電話機を受話器をとります。
- 3 親機を受話器を戻します。
- 4 外付け電話機で話をします。

### ご注意

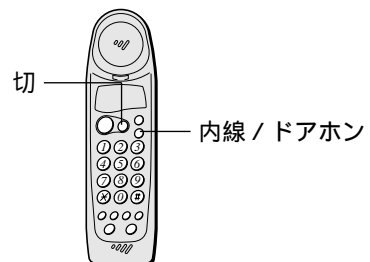
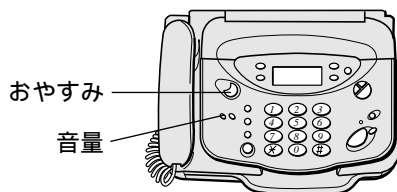
外付け電話機と子機との転送はできません。

# C ドアホンとの通話



本機をドアホンと接続して、ドアホンと通話したり、ドアホンをモニタしたりできます。ドアホンは2台まで接続できますが、2台と同時に通話することはできません。ドアホンの呼出音はドアホン1と2で異なります。親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。

お願い  
ドアホンを接続するには、ドアホン線と電話回線の接続工事が必要です。接続工事には工事担当者資格が必要です。接続できるドアホンの種類と接続工事については、お近くのNECサービスセンターまたはサービスステーションにご相談ください（P.128、P.132）。（ドアホンとドアホンユニットをNTT窓口よりご購入していただく必要があります。）

## ドアホンから呼び出しがあったとき



- 1 ドアホンの呼出音が鳴ります。  
ドアホン1：ピーンポー、ピーンポー  
ドアホン2：ピンポンピンポー、ピンポンピンポー  
[おやすみ] ボタンが約20秒間点滅します。
- 2 受話器をとりま  
す。  
[おやすみ] ボタンが点滅している間にとってください。
- 3 ドアホンと話をします。
- 4 話が終わったら  
受話器を戻しま  
す。

- 1 ドアホンの呼出音が鳴ります。  
ドアホン1：「ピピピ」が3回  
ドアホン2：「ピピピピピピ」が3回  
[内線 / ドアホン] ボタンが約20秒間点滅します。
- 2 充電器からとります。  
(充電器に置いていないときは  を押します。)  
[内線 / ドアホン] ボタンが点滅している間にとってください。
- 3 ドアホンと話をします。
- 4 話が終わったら充電器に戻します。  
(または  を押します。)

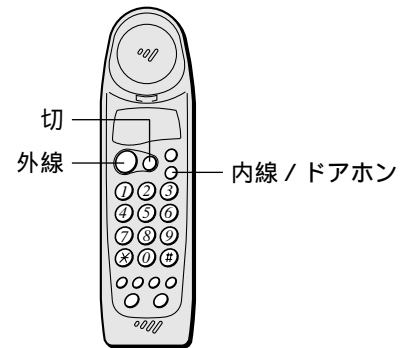
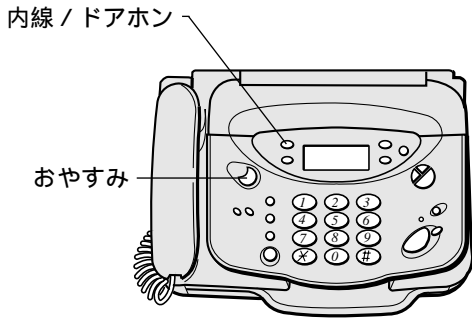
### ご注意

ワイワイトークでドアホンと通話することはできません。  
ドアホン通話を保留することはできません。  
ドアホン通話を転送することはできません。  
ドアホン通話中は内線通話はできません。  
ファクス通信中にはドアホンからの呼び出しに  
応答できません。  
留守設定中やおやすみモード中でもドアホンの呼  
出音が鳴ります。

### こんなときは

ドアホンの呼出音が鳴ってから20秒経つと、呼  
出しに  
応答できません。  
ドアホンと通話中に外線のベルが鳴ったら、ド  
ア  
ホンとの通話を終了してから外線に出てください。  
ただし、ダイヤルインサービスをご利用の場合は、  
ド  
ア  
ホンと通話中には外線を受けられません。  
ドアホンの呼出音の大きさは、ベル音量（P.47）  
の  
設定に従います（ただし、「切」でも呼出音は鳴  
り  
ます）。なお、おやすみモード中では、音量は「  
小  
」で  
鳴ります。  
受話音量を調整したいときは、[音量] ボタン  
を  
押してください。ただし、子機では調整できませ  
ん。

# 通話中にドアホンから呼び出しがあったとき



## 外線と通話中のとき

- 1 ドアホンの呼出音が鳴ります。  
[おやすみ] ボタンが点滅します。  
ディスプレイ: ツウワシカ 0'15"
- 2 **内線 / ドアホン** ボタンを押します。  
ディスプレイ: ドアホン1 ツウワチュウ
- 3 ドアホンと話をします。
- 4 話が終わったら **内線 / ドアホン** ボタンを押します。  
ディスプレイ: ツウワシカ 0'35"  
外線と通話できます。

## 内線と通話中のとき

- 1 ドアホンの呼出音が鳴ります。  
[おやすみ] ボタンが点滅します。  
ディスプレイ: ナイセン2 ト ツウワチュウ
- 2 受話器を戻します。  
内線通話が切れます。
- 3 受話器をとります。  
ディスプレイ: ドアホン1 ツウワチュウ
- 4 話が終わったら受話器を戻します。  
ディスプレイ: 10/17 12:00 0

## 外線と通話中のとき

- 1 ドアホンの呼出音が受話口から聞こえます。  
[内線 / ドアホン] ボタンが点滅します。
- 2 **内線 / ドアホン** ボタンを押します。  
外線が保留になります。
- 3 ドアホンと話をします。
- 4 話が終わったら **外線** ボタンを押します。  
外線と通話できます。

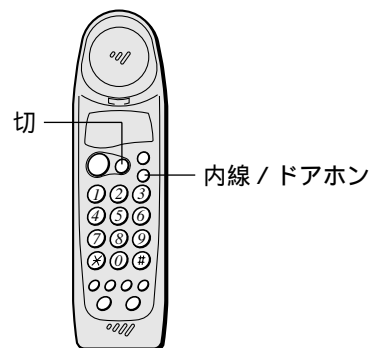
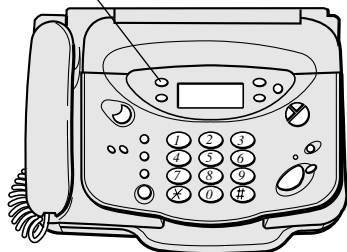
## 内線と通話中のとき

- 1 ドアホンの呼出音が受話口から聞こえます。
- 2 **切** ボタンを押します。  
内線通話が切れます。
- 3 ドアホンの呼出音が鳴ります。  
[内線 / ドアホン] ボタンが点滅します。
- 4 **内線 / ドアホン** ボタンを押します。
- 5 話が終わったら充電器に戻します。  
(または **切** ボタンを押します。)


## ドアホンでモニタする


ドアホン周辺の音を聞いたり、外の人と話をしたりできます。

内線 / ドアホン



### 1 次のボタンを押します。

内線  
ドアホン : 

内線  
ドアホン : 

### 2 受話器をとってドアホン周辺の音を聞きます。


外の人と話をすることもできます。

### 3 受話器を戻します。

### 1 充電器からとります。

### 2 次のボタンを押します。

内線 / ドアホン  
ドアホン 1 : 

内線 / ドアホン  
ドアホン 2 : 

### 3 ドアホン周辺の音を聞きます。

外の人と話をすることもできます。

### 4 充電器に戻します。

(または  を押します。)

# いろいろな使いかた

## 通話録音（通話中の会話を録音する）

受話器または子機で通話中に、会話を録音することができます。通話中にちょっとメモを取りたいときなどにご利用ください。

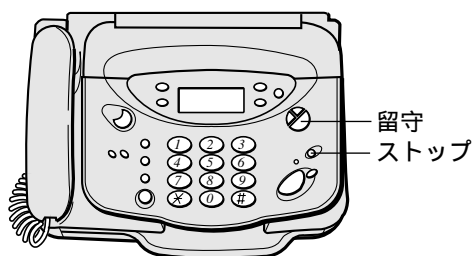
録音できる時間は最大15分です。ただし、通話録音するメモリと、留守番電話の自分で録音した応答メッセージや用件、受信した文書を記憶するメモリは同じものです。

そのためメモリ内に用件や受信文書が残って

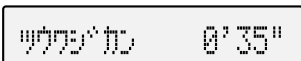
いると録音できる時間が少なくなります。また、留守番電話の用件と合わせて合計が15分を超えない限り最大30件録音できます。


操作前のご注意

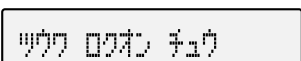
- ・ワイワイトーク中は、通話録音できません。
- ・留守番電話の用件が30件録音されているときや、残りの録音時間が20秒以内のときは通話録音できません。




**1** 受話器で通話中  
です。

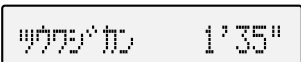


**2**  を押し  
ます。




[ピ-]という音がして、録音を開始します。相手にも[ピー]という音が流れます。


**3** 録音を終了する  
ときは  を  
押し  
ます。



**1** 子機を耳にあてて通話中です。

**2**  を押してから **5** を押します。

[リモコン/マイクオフ]ボタンが点灯します。  
[ピ-]という音がして、録音を開始します。相手にも[ピー]という音が流れます。

**3** 録音を終了するときは  を押し  
ます。

[リモコン/マイクオフ]ボタンが消灯します。

### ご注意

通話録音中は保留できません。保留するときは、通話録音を終了させてください。

### こんなときは

メモリがいっぱいになると、『メモリがいっぱいです』というメッセージが流れ、親機ではディスプレイに

「メモリがいっぱいです」と表示されます。録音は中断されます。

## 通話録音した内容を聞く

録音した内容は、留守番電話の用件の場合と同じ操作で再生したり、消去したりできます。したがって、用件が録音されていれば、録音

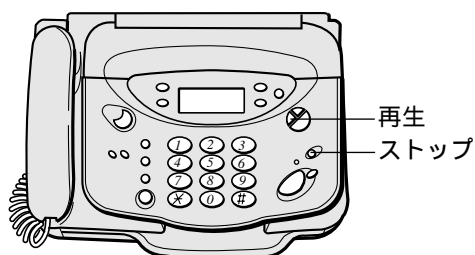
された順に用件や通話録音内容が再生されません。通話録音した内容だけを再生する操作はありません。( P.84、P.88 )

## 留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる


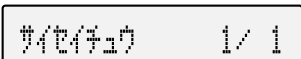
受話器または子機で通話中に、留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を再生して、相手に聞かせることができます。


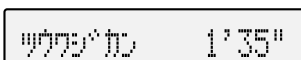
操作前のご注意

- ・ワイワイトーク中は操作できません。







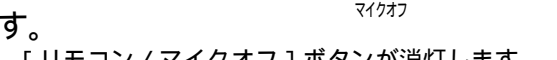
**1** 受話器で通話中  です。

**2** 再生  を押し  ます。  
録音内容が再生されます。

**3** 再生を終了するときは  を押し  ます。

**1** 子機を耳にあてて通話中です。

**2**  を押してから  を押し  ます。  
[リモコン/マイクオフ] ボタンが点灯します。  
録音内容が再生されます。

**3** 再生を終了するとき  を押し  ます。  
[リモコン/マイクオフ] ボタンが消灯します。



## 保留メロディの設定

電話を保留した時に相手に流すメロディ音を選ぶことができます（保留メロディ1と2）。

お買い上げいただいたときは、「保留メロディ1」に設定されています。

保留メロディ1は「ハイ・ホー!」、保留メロディ2は「茶色の小瓶」です。



1 機能選択 を押し  
す。 キリウセンタウ シテウダサイ

2 3 を押し  
す。 セツテイ モード

3 セット を押し  
す。 ヨミトリ ノウト

4 機能選択 を9回押し  
します。 ホリユウ メロディ 1

5 1 または 3 を押し  
て選びます。

6 セット を押し  
す。 カノヨウ

10/17 12:00 0

### こんなときは

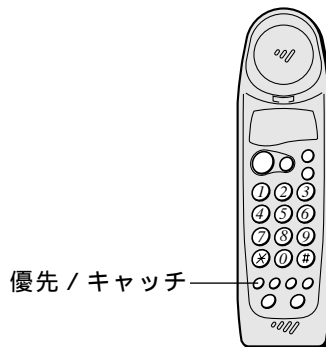
途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

## 優先着信の設定（子機のベルを優先して鳴らす）

電話がかかってきた時に親機より先に子機だけベルを5回鳴らすことができます。ベルが5回鳴ってもだれも電話に出ないときは、あらかじめ設定してある動作をします。

ご注意

優先着信の設定は、1回着信があると解除されます。（ベルが鳴って電話に出なくても解除されます。）



### 設定 / 解除

待機中に操作します。

優先 / キャッチ を押し  
ます。

「ピー」という音がして[優先 / キャッチ] ボタンがしばらく点灯したあと、ゆっくり点滅し、優先着信が設定されます。

解除するときには、もう一度[優先 / キャッチ] ボタンを押してください。[優先 / キャッチ] ボタンが消灯します。

### ご注意

親機のベルを子機より先に鳴らすことはできません。子機のベル音量を「切」に設定していると、優先着信の設定をしてもベルが鳴りません。

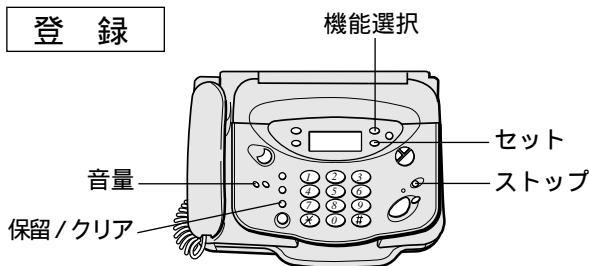
増設子機（別売）使用の場合は、1台の子機だけ設定できます。



# 自分の名前を登録する（発信元登録）

ファクスを送ったときに相手の記録紙の各ページの最上部に、自分の名前を自動的にプリントさせることができます（P.57参照）。相手側では、どこからのファクスなのかを容易に知ることができます。プリントさせるためには、次のことを行います。

- ・ここで自分の名前を登録する
  - ・P.57で「発信元をプリントする」に設定する（お買い上げいただいたときは、「発信元をプリントする」に設定されています。）
- 登録できる文字は下表に示すカタカナ、数字、アルファベット、記号で最大40文字（空白を含む）です。



1 機能選択 を押しま  す。

2 4 を押しま  す。

3 セット を押しま  す。

4 機能選択 を2回押  します。  
3秒待つか、または[セット]を押します

5 登録する名前を入力します。（右参照）

6 セット を押しま  す。

## こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

押すボタン 押す回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1回	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ゝ
2回	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。、
3回	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	-
4回	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	8	レ	.
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	T	口	空白
6回	1	2	3	4	5	6	7	U	ワ	0
7回	ア	A	D	G	J	M	P	V	ヲ	(
8回	イ	B	E	H	K	N	Q	ヤ	ン	)
9回	ウ	C	F	I	L	O	R	ユ	9	.
10回	エ			ッ			S	ヨ	W	'
11回	オ								X	*
12回									Y	#
13回									Z	&
14回										,
15回										。

（注）空白は1文字分空きます

入力例：テスト

[4]を4回押して  [ # ]を押します。

[3]を3回押して  [ # ]を押します。

[8]を4回押して  [ # ]を押します。

入力を間違えたときは、[ # ]を押してから[音量]ボタンでカーソルを移動するか（小：左移動、大：右移動）[保留/クリア]ボタンを押して入力なおしてください。

## 変更

登録と同じ手順を行い、手順5で[保留/クリア]ボタンを押してから新しい名前を入力してください。

## 削除

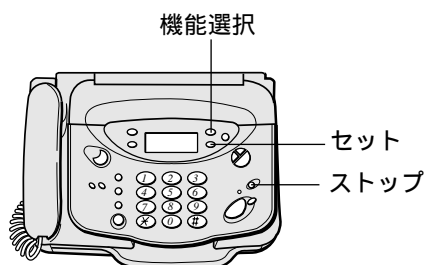
登録と同じ手順を行い、手順5で[保留/クリア]ボタンを押してください。



# 発信元を相手の記録紙にプリントする設定

P.56で登録した名前（発信元）を相手の記録紙にプリントするか、しないかの設定です（発信元記録）。

お買い上げいただいたときは、「発信元をプリントする」に設定されています。



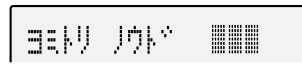
1 機能選択 を押し  
ます。



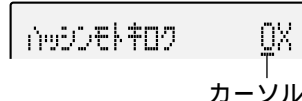
2 3 を押し  
ます。



3 セット を押し  
ます。



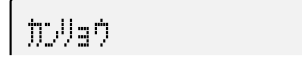
4 機能選択 を2回押  
します。



5 1 または 3 を押してカーソル  
を移動します。

_x : 発信元をプリントする  
x : 発信元をプリントしない

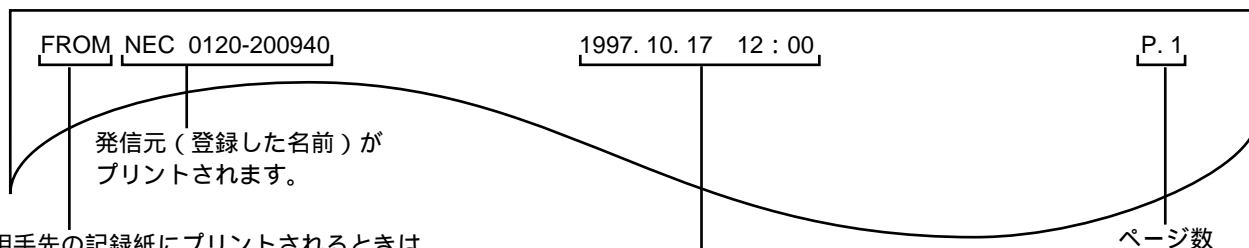
6 セット を押し  
ます。



## こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

## 相手先でのプリント例



相手先の記録紙にプリントされるときは、名前の前に自動的に「FROM」とプリントされます。

時刻の設定をしていないときは、日付・時刻はプリントされません。



# 原稿のセットのしかた

一度に10枚までの原稿をセットできます（同じ紙質、同じ大きさの場合）。11枚以上送りたいときは、何回かに分けて送信してください。途中で原稿を追加しないでください。

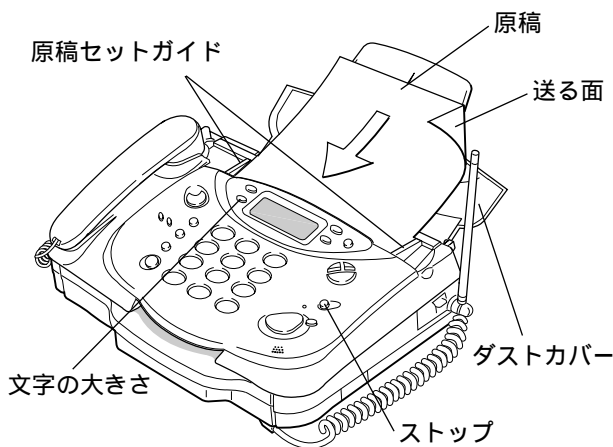
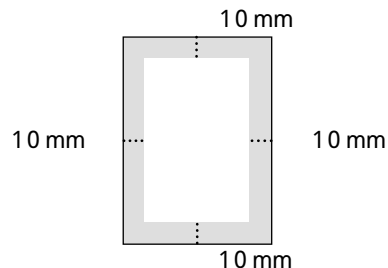
原稿のサイズおよび厚さ

	1枚だけセットする場合 (幅×長さ)	複数枚セットする場合 (幅×長さ)
最大	257×1000mm	257×364mm (B4サイズ)
最小	128×128mm	128×128mm
厚さ	0.05～0.15mm	0.065～0.10mm

*このページの紙の厚さは約0.09mmです。

読み取りできる範囲

原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは読み取れない場合があります（の部分）。



1 ダストカバーを開けます。

2 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。

複数枚のときは先端と幅をそろえてください。

3 送る面を下に向けて、原稿を軽く差し込みます。

自動的に約3cm引き込まれます。

複数枚セットしたときは一番下の原稿が引き込まれます。

画質モードは、[文字の大きさ]ボタンで変更されます。（P.62）



## ご注意

原稿セットガイドは原稿の幅にきちと合わせてください。合わせないと原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因となります。

幅や厚さが異なる原稿をいっしょにセットしないでください。原稿がつまったり、送信もれが出たりする原因となります。

クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。

インクや修正液、ノリなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。

## 原稿を取り除きたいときは

[ストップ]ボタンを押すと、原稿が排出されます。原稿は無理に引き抜かないでください。原稿読み取り部に傷がつく原因となります。

## こんなときは

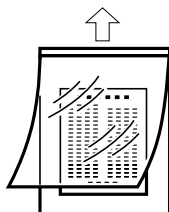
次のような原稿は、普通紙に複写機でコピーするか、  
ハンドスキャナ（ P.100 ）または別売のキャリア  
シート（ P.127 ）を使って送信してください。

送れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ	キャリアシート
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの		*	
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙			
感圧紙、感熱紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙			
小さすぎる紙 （ 128 × 128 mm 未満 ）		*	
薄すぎる紙 （ 0.05 mm 未満 ）		*	
厚すぎる紙 （ 0.15 mm を超える ）			×
ノリやテープで貼り合わせた紙		×	×

* 白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

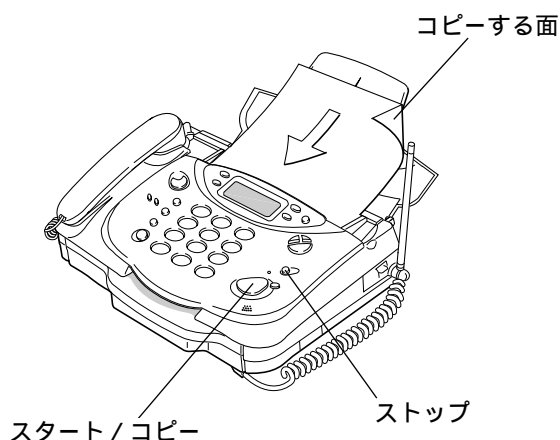
キャリアシート（別売 P.127）を使う場合、2枚以上の  
キャリアシートを同時にセットすることはできません。  
1枚ずつ送信してください。

セットするときはこちら側  
から差し込みます。





# コピーのしかた



## 1 原稿をセットし 777

ます。( P.58 )

写真や小さい文字の原稿、色のついた原稿などの場合は、画質モードや読み取り濃度を設定してください。( P.62、P.63 )

## 2 を押し コピー 777 P01

す。  
コピーが終わると、「ピーッ」という音がします。

### ご注意

原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。

記録紙スタッカに、コピーした記録紙を10枚以上ためないでください。記録紙づまりの原因となります。

### こんなときは

白紙が出たとき

- ・ 原稿はコピーする面を下に向けてセットしましたか？
  - ・ 記録紙のセットの向きは正しいですか ( P.114 )？
- 途中でコピーをやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。「ハイシュツチュウ」と表示され、原稿が排出されます。

拡大/縮小コピーするときは、ハンドスキャナをお使いください。( P.99、P.101 )

**コピーしてはいけないもの**

簡単にコピーがとれるからといって自由に何をコピーしてもよいという訳ではありません。例え個人で使用することが目的であっても、法律でコピーが禁止されているものもあります。

- ・ 貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。これらの中には、コピーしたものを持っているだけで法律に触れるものもあります。絶対にコピーしないでください。

- ・ 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真の著作物は個人的に、または家庭内などの限られた範囲内で使用する場合など、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーすることが禁止されています。
- ・ パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。



# 送信原稿の種類の設定

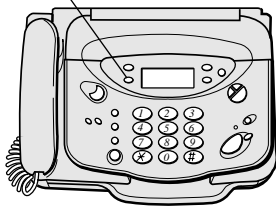
## 写真や小さい文字の原稿を送るとき（画質モード）

文字が小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿でも、鮮明に送ったりコピーをとったりすることができます。送信やコピーの前に

画質モードを設定してください。

お買い上げいただいたときは「フツウ（普通）」に設定されています。

文字の大きさ



### 画質モードの選びかた

文字の大きさ

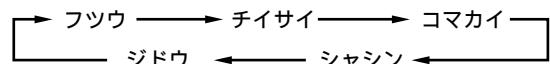
を押して選び

ます。

フツウ

画質モード

ボタンを押すごとにディスプレイの表示が変わります。



原稿をセットしていない状態で [文字の大きさ] ボタンを押したときは、2秒以内にボタンを押して選んでください。2秒を過ぎると時刻表示になり、最後に表示されていた画質モードになります。

### 画質モード

フツウ： **文字がこのくらいの大**  
(普通)

チイサイ： **文字がこのくらいの大きさのとき**  
(小さい)

コマカイ： **文字がこのくらいの大きさのとき**  
(細かい)

シヤシン： **写真のとき（64階調ハーフトーン）**  
(写真)

ジドウ： **文字と写真が混在する原稿のとき**  
(自動)  
・ 原稿の内容を自動で感知して最適な画質モードが選択されます。  
(写真部分は64階調ハーフトーン)



### ご注意

「細かい」、「写真」、「自動」に設定すると、「普通」や「小さい」に比べ送信に時間がかかります。原稿の内容に合わせた設定をしてください。

色地の原稿を「細かい」、「写真」、「自動」で送ると、送信時間が極端に長くなることがあります。色地の原稿を送るときは、「普通」または「小さい」に設定してください。

黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある

原稿では送信に時間がかかります。

「細かい」に設定した場合、相手機種によっては「小さい」で送信することがあります。

「写真」、「自動」に設定した場合、原稿によっては原稿の白い部分にゴマ模様の記録が出る場合があります。その場合には、読み取り濃度を「うすく読み取る」または「よりうすく読み取る」に設定してください。( P.63)

### こんなときは

写真や濃淡のある原稿を送信するときやコピーをするときは、「写真」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

写真と文字がいっしょになっている原稿を送信するときやコピーするときには、「自動」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

コピーのときは、「小さい」、「細かい」、「写真」、「自動」の中から選んでください。「普通」に設定しても「小さい」でコピーされます。

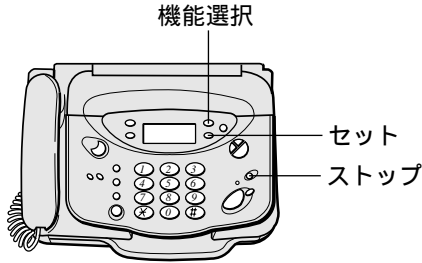
ハンスキャナを使って送信するときやコピーをするときは、「普通」、「細かい」は選ばません。「小さい」、「写真」、「自動」の中から選んでください。



# 色がついた原稿や文字がうすい原稿を送るとき（読み取り濃度）

キャリアシート（別売 P.127）を使うときや用紙に色がついているとき、原稿の文字がうすいときなどは、相手を読みやすいように読み取り濃度を調整することができます。送信

やコピーの前に設定してください。お買い上げいただいたときは、「普通で読み取る」に設定されています。



1 **機能選択** を押しま キリウセンワ シテクダサイ  
す。

2 **3** を押しま セツイセト  
す。

3 **セット** を押しま ヨミリノビ |||||  
す。 読み取り濃度

4 **1** または **3** を押して選びます。

- : よりうすく読み取る  
(濃い原稿)
- : うすく読み取る  
(色地原稿や新聞)
- : 普通で読み取る  
(コピーや黒ペン書き原稿)
- : 濃く読み取る  
(鉛筆書き原稿やキャリアシート使用時)
- : より濃く読み取る  
(うすい原稿)

5 **セット** を押しま カリョウ  
す。

10/17 12:00 0

## ご注意

設定した状態は次に変更するまで変わりません。送信やコピーが終わったら「普通（ ）」に設定を戻してください。

## こんなときは

読み取りの具合を確認したいときは、コピーをとって確認してください。

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

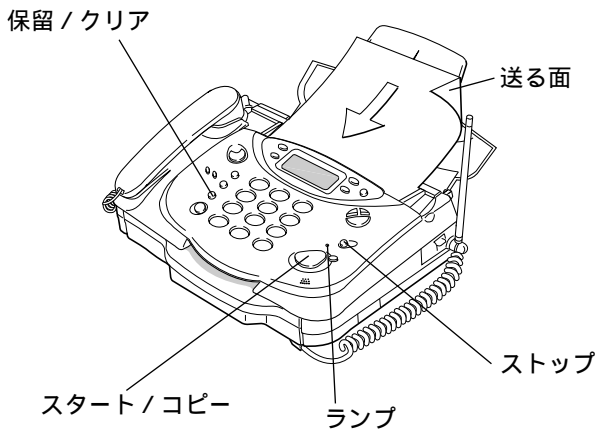


# ファクスを送る

## 自動送信

相手が出る前に送信操作〔スタート/コピー〕ボタンを押す)を行うやりかたです。

相手機が A 4 サイズの記録紙を使用している場合、B 4 サイズの原稿を送ると、自動的に A 4 サイズに縮小して送信されます。



**1** 原稿をセットし

ます。( P.58 )

写真や小さい文字の原稿、色のついた原稿などの場合は、画質モードや読み取り濃度を設定してください。( P.62、P.63 )

**2** 相手先の番号を

ダイヤルします。

受話器を置いたままダイヤルします。  
リダイヤルも使えます。

**3**  を押し

す。

送信中はランプが緑で点滅 / 点灯します。

点滅：相手機と制御信号のやりとり中

点灯：原稿送信中  
送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

交互に表示

枚数

### ご注意

原稿は自動的に排出されます。一時的に止まる場合がありますが、無理に引き抜かないでください。  
相手機種によっては、通信中にディスプレイに相手先の名前(電子電話帳に登録した名前)や電話番号

が表示されます。ディスプレイには12文字まで表示されます(13文字以上あるときは後ろから12文字が表示されます)。

### こんなときは

番号を間違えたときは、〔保留/クリア〕ボタンを押して最初からダイヤルしなおしてください。  
途中で送信をやめるときは、〔ストップ〕ボタンを押してください。もう一度押すと原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。  
青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿は鮮明に読み取れないことがあります(ブルーブラ

ックのインクや紺色に近い青の場合は問題ありません)。うすい鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も鮮明に読み取れません。  
赤は黒と同様に鮮明に読み取ることができます。赤色の紙に黒で書かれた原稿の場合は、真っ黒になってしまいます。

**相手先が話し中のときは**

ディスプレイに「サイハッコ マチ 1カイメ」(再発呼待ち1回目)と表示されたときは、相手先が話し中です。この場合、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします(オートリダイヤル)。そのままお待ち

ください。5回かけなおしても送信できないときは不達レポートがプリントされます(下記)。送信をやめるときは[ストップ]ボタンを押して原稿を排出してください。

**送信できなかったときは**

自動的に不達レポートがプリントされます。

不達レポートのプリント例

フタツ レポ°ート

1997. 10.17 12:25

NEC

ツウシン カイシ ニチジ	ツウシン ジ カン	ア イ テ サ キ	モード	マイスウ	ツウシンケツカ
10.17 12:17		0120200940	G3	0	ハナシチュウ

- ハナシチュウ ..... 次のいずれかの場合です。
  - ・ 相手先が話し中
  - ・ 回線が混み合っている
- ヨビダシ ..... 次のいずれかの場合です。
  - ・ 相手先から通話予約などで呼び出しを受けている
  - ・ 相手先の記録紙がなくなっているか、つまっている
- ムオウトウ ..... 次のいずれかの場合です。
  - ・ 相手先が受信できない状態になっている
  - ・ 相手先が電話に出ない
  - ・ 電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線しているおそれがある
- ××(2桁の英数字)..... 「エラーコード表」( P.126 )をご覧ください。

**海外へ送るときは**

海外へファクスを送る場合、「海外通信の設定」を行うと海外へ送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。( P.69 )

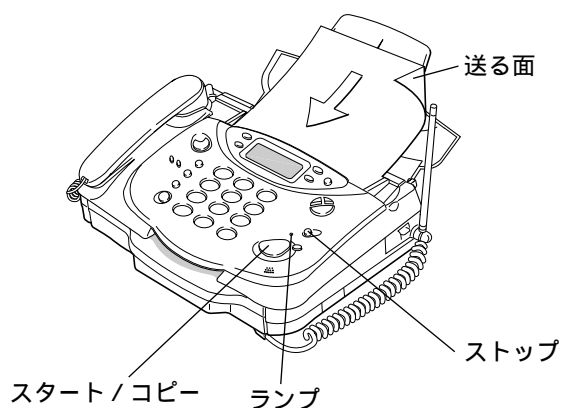
国際ダイヤル通話を利用して海外にファクスを送る場合、国際電話番号(001、0061、0041など)をダイヤルしたあと国番号と相手先電話番号をダイヤルしても、話し中になり通信できないこと


があります。このようなときは、国際電話番号のあとに[リダイヤル/ポーズ]ボタンを2回押し(約6秒のポーズが入ります)それから残りの電話番号をダイヤルしてください。それでも通信できない場合は、受話器をとって回線の接続具合を確認しながらダイヤルしてください。

例：001 - - 1 - - [相手先の番号]

## 手動送信

相手先と話をしてからファクスを送ることができます。



**1** 原稿をセットし  ます。( P.58)

**2** 電話をかけて話をします。  
ワイワイトークでかけることもできます。

**3** 相手に受信の操作をしてもらいます。  
相手が操作すると「ピーヒョロヒョロ」という音が聞こえます。

**4**  を押し、 

受話器を戻しま  
す。 

送信中はランプが  
緑で点滅 / 点灯し  
ます。

点滅：相手機と制  
御信号のや  
りとり中

点灯：原稿送信中  
送信が終わると、  
「ピーッ」という音  
がします。

0120200940 P01

ツウツウ ツウツウ

10/17 12:00 0

### ご注意

原稿は自動的に排出されます。一時的に止まること  
がありますが、無理に引き抜かないでください。

こちらが先に [スタート/コピー] ボタンを押して  
も、相手が受信の操作をすれば送信できます。

### こんなときは

途中で送信をやめるときは、[ストップ] ボタンを押  
してください。原稿が排出されます。排出されない  
ときは、もう一度 [ストップ] ボタンを押してくだ  
さい。

ファクスを送ったあとも相手と話したいときは、受  
話器を戻さないでください (相手も)。

青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿

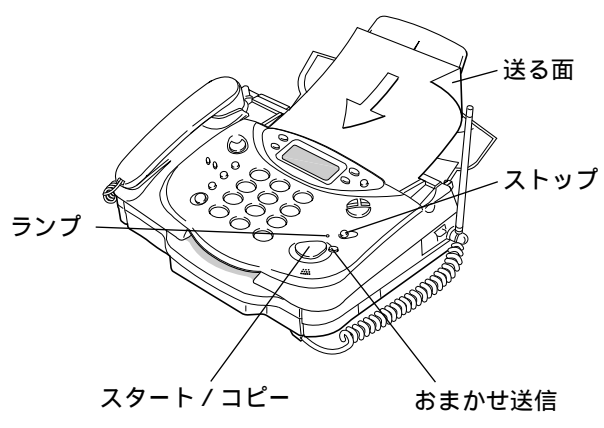
は鮮明に読み取れないことがあります (ブルーブラ  
ックのインクや紺色に近い青の場合は問題ありませ  
ん)。うすい鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も  
鮮明に読み取れません。

赤は黒と同様に鮮明に読み取ることができます。赤  
色の紙に黒で書かれた原稿の場合は、真っ黒になっ  
てしまいます。

# おまかせ送信 (メモリ送信)

セットした原稿を一旦読み取ってメモリに記憶してから送ることができます。  
メモリには、画質モード ( P.62 ) が「普通」のとき A 4 判 ( 7 0 0 字程度 ) 原稿を約 2 0

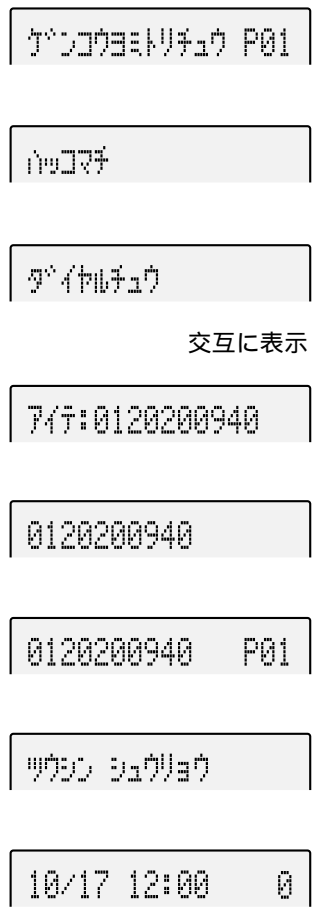
枚記憶できます。  
メモリ送信中に子機で送信結果通知の設定を  
すると、送信終了後にその子機が呼び出され、  
音声で送信結果が通知されます。( P.68 )



**1** 原稿をセットし  
ます。( P.58 )

**2** 相手先の番号を  
ダイヤルしま  
す。  
受話器を置いたままダイヤルします。  
おまかせ送信ではリダイヤルできません。

**3** おまかせ送信  
を押し  
ます。  
自動的に原稿が読  
み取られます。  
読み取りが終了す  
ると自動的に送信  
されます。  
送信が終わると、  
「ピーッ」という音  
がします。



## こんなときは

相手が話し中のときは、1分間隔で5回まで自動的  
にかけなおします(オートリダイヤル)。送信できな  
いときは不達レポートがプリントされます。( P.65 )  
途中で送信をやめるときは、[ストップ] ボタンを押  
してください。  
青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿  
は鮮明に読み取れないことがあります(ブルーブラ

ックのインクや紺色に近い青の場合は問題ありませ  
ん)。うすい鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も  
鮮明に読み取れません。  
赤は黒と同様に鮮明に読み取ることができます。赤  
色の紙に黒で書かれた原稿の場合は、真っ黒になっ  
てしまいます。

## 原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったとき

- ① 「ピーピーピー...」と  
いう音がしてランプが  
赤点灯し、読み取り中  
のページが表示されます。  
メモリ 716 P05
- ② 5秒後(または[スト  
ップ] ボタンを押すと)、  
読み取りが終わった  
ページまでを送信する旨が表示されます。  
04ページ 送信完了

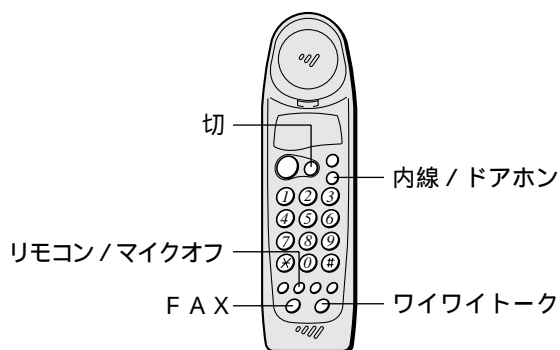
- ③ 読み取りが終わったページまでを送信するときは、  
[スタート/コピー] ボタンを押してください。  
送信をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してく  
ださい。  
何もしないまま60秒経つと自動的に送信します。読  
み取れなかった原稿は、原稿挿入口に残ったまま  
です。原稿を排出するときは、送信が終了してから  
[ストップ] ボタンを押してください。

## 送信結果通知

おまかせ送信（ P.67 ）の場合、送信結果を子機で知ることができます。送信が終了すると、送信結果通知を設定した子機が呼び出され、音声で送信結果が通知されます。

ご注意

設定を、おまかせ送信中または送信後に行くと、その送信結果が通知されません。



### 設定

[ 外線 ] ボタンが点灯しているときは、[ 切 ] ボタンを押してから操作してください。

送信結果通知を受けたい子機の **FAX** を押します。

送信結果通知が設定されると、[ 内線 / ドアホン ] ボタンがゆっくり点滅します。

### 解除

送信結果通知を設定した子機の [ 外線 ] ボタン、または [ ワイワイトーク ] ボタン、[ リモコン / マイクオフ ] ボタンのいずれかを押すと、解除されます。

### 送信結果通知を受けたとき

#### 1 ベルが鳴ります。

[ 内線 / ドアホン ] ボタンと [ ワイワイトーク ] ボタンが点滅します。

#### 2 充電器からとります。

（充電器に置いてないときは **内線 / ドアホン** を押します。）

[ ワイワイトーク ] ボタンを押して出ることもできます。

親機からのメッセージが聞こえます。

- ・ 正常に送信できたとき  
『送信が終了しました』
- ・ 送信に失敗したとき  
『送信できませんでした。もう一度送りなおしてください』

#### 3 充電器に戻します。

（または **切** を押します。）

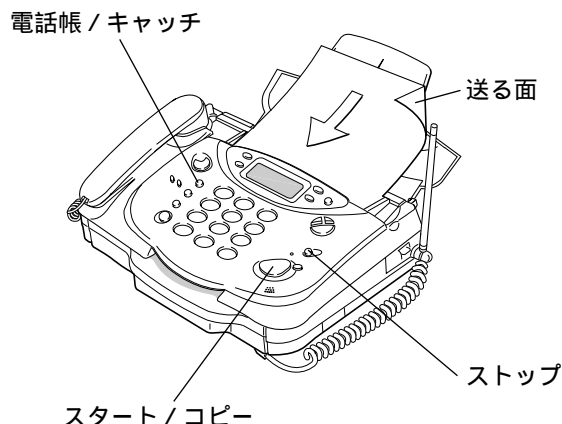
### ご注意

送信結果通知を設定できる子機は、1 台に限ります。すでに設定した子機があるときは、他の子機での設定操作はできません。

ファクス送信が終了したときに、子機が親機からの電波が届かない場所にあるときは、送信結果は通知されません。[ 内線 / ドアホン ] ボタンは点滅したままです。

## 電子電話帳で送信

あらかじめ登録が必要です。( P.29 )



**1** 原稿をセットし  
ます。( P.58 )

**2** 電話帳 / キャッチ  
を押しま  
す。

最も若い短縮番号に登録してある相手先の名前が表示されます。名前を登録していないときは電話番号が表示されます。

**3** 電話帳 / キャッチ  
を押して相  
手先を選びます。

ここで直接相手先の短縮番号を押すこともできます(例:[0][5])。このときは、7秒後(または[スタート/コピー]ボタンを押すと)、自動的にダイヤルが始まります。

**4** スタート / コピー  
を押しま  
す。

交互に表示

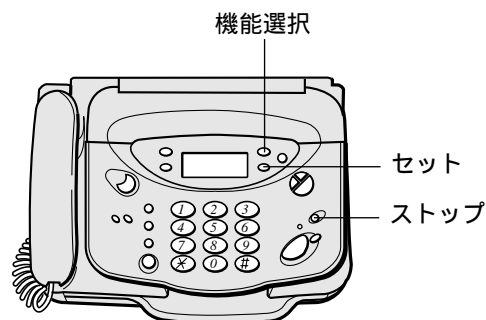
アイ:トウキョウIキ

### こんなときは

途中で送信をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

## 海外通信の設定

海外にファクスを送るときは、「海外通信する」に設定すると、海外へ送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。お買い上げいただいたときは、「海外通信しない」に設定されています。



**1** 機能選択  
を押します。

**2** 3  
を押します。

**3** セット  
を押します。

**4** 機能選択  
を3回押  
します。

**5** 1 または 3  
を押してカーソル

を移動します。  
— x : 海外通信する  
x : 海外通信しない

**6** セット  
を押しま  
す。

### ご注意

海外通信の設定は、ファクスを受信するときは関係ありません。海外へ送信完了後は、「海外通信しない」に設定してください。

### こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

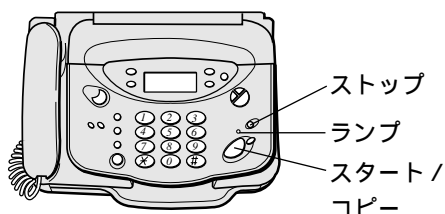


# ファクスを受ける

電話で話をしたあとに、そのまま電話を切らずにファクスを受信することができます。

## 親機で受ける

### 話をしたあと受ける



1 通話中です。 

2 相手に送信の操作をしてもらいます。  
「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえます。  
FAXかんたん受信の設定をしているときは、「ポー・ポー・ポー...」のあとメッセージが流れます。この場合は受話器を戻してください。  
相手機種によっては何も音が聞こえないことがあります。

3  を押し、

受話器を戻します。  
受信中はランプが緑で点滅/点灯します。  
点滅：相手機と制御信号のやりとり中  
点灯：原稿受信中  
受信が終わると、「ピーッ」という音がします。

電話に出たら「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえるとき

相手がファクス送信しています。[スタート/コピー] ボタンを押して受話器を戻してください。FAXかんたん受信の設定をしているときは、「ポー・ポー・ポー...」のあと『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。この場合は受話器を戻してください。

### ご注意

[ストップ] ボタンを押しても、途中で受信をやめることはできません。

### こんなときは

こちらが先に[スタート/コピー] ボタン(または[FAX] ボタン)を押しても、相手が送信の操作をすれば受信できます。  
ファクスを受信したあとも相手と話をしたときは、受話器を戻さないでください(相手も)。ただし、子機ではもう一度話をすることはできません。


## 子機で受ける

### 話をしたあと受ける



1 通話中です。

2 相手に送信の操作をしてもらいます。  
「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえます。  
FAXかんたん受信の設定をしているときは、「ポー・ポー・ポー...」のあとメッセージが流れます。この場合は子機を戻してください。  
相手機種によっては何も音が聞こえないことがあります。

3  を押します。  
親機が受信します。  
子機は充電器に戻しても、そのままでもかまいません。

電話に出たら「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえるとき

相手がファクス送信しています。[FAX] ボタンを押してください。FAXかんたん受信の設定をしているときは、「ポー・ポー・ポー...」のあと『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。この場合は子機を戻してください。

受信した文書は記録紙スタックに10枚以上ためないでください。記録紙づまりの原因になります。

FAXかんたん受信の設定については、P.76をご覧ください。  
ファクスを受信中に記録紙がなくなったり、つまったりした時は、受信は中断され、次のファクスからメモリ代行受信になります。( P.71)





# ファクス / 電話自動切替の設定

ご使用前の  
注意

設置と  
初期状態

電  
話

ファクス

留守番

ハンズキャナ

スーパーLCR

ダイヤルイン

困ったときは

## ファクス / 電話自動切替の仕組み

ファクスの場合は自動的に受信します。電話の場合はあらかじめ設定した回数だけベルが鳴ります。その間に電話に出ないと自動的に回線が切れます。

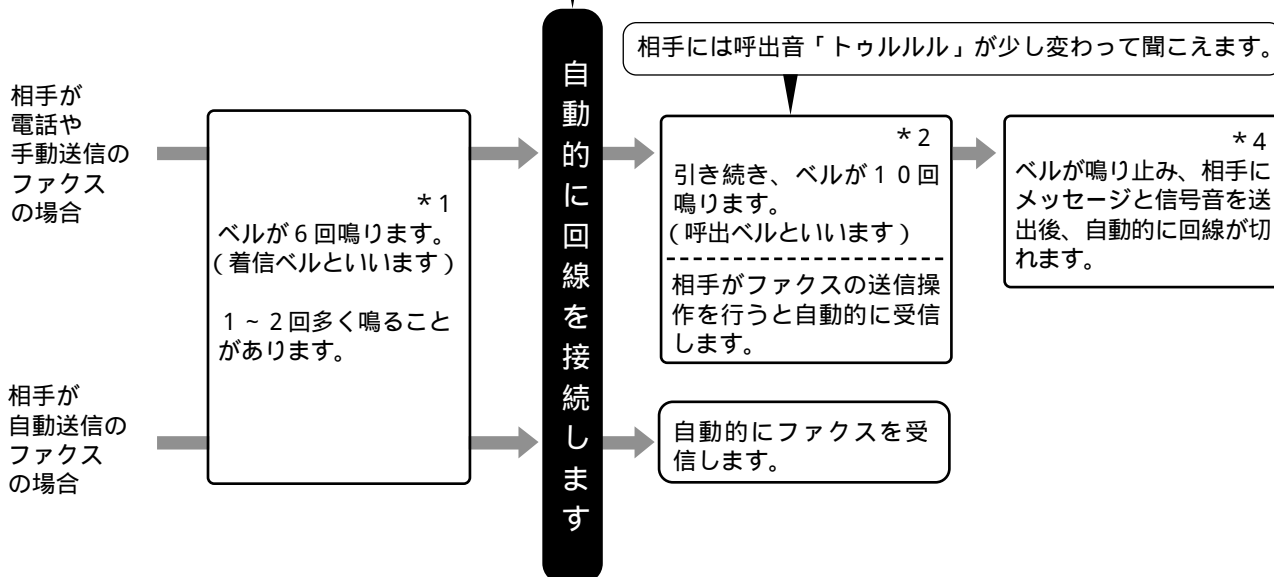
ご注意

相手が電話の場合、回線を接続したあとは、こちらが出なくても相手には通話料金がかかります。ご承知ください。

外付け電話機は回線が接続されたあとのベル（図の呼出ベル）は鳴りません。

お買い上げいただいたときは、ファクス / 電話自動切替をするに設定されています。自動切替にしたくないときは、電話モードに設定してください。（ P.74 ）

ここで自動的に回線を接続して電話かファクスかの判別をします。相手にはここから通話料金がかかります。*3



- *1 着信ベルの回数は変更できます（1～19回）。（ P.72 ）  
また、着信ベルの回数を0回、つまり、ベルを鳴らさずに回線を接続させることもできます（無鳴動着信の設定）。（ P.73 ）
- *2 呼出ベルの回数は変更できます（1～19回）。（ P.72 ）
- *3 ファクス / 電話自動切替したことを知らせるために、相手に音声メッセージを流すことができます。（ P.73 ）
- *4 相手には『ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話のかたは恐れ入りますが、のちほどおかけなおしください』というメッセージが流れます。メッセージのあと「ピーヒョロヒョロ」という信号音を約30～40秒送出後、回線が切れます。この信号音の間に相手が送信操作を行うと自動的に受信します。また、メッセージの途中に受話器をとると電話に出ることができます。

### 記録紙がなくなったときは

記録紙がなくなっているときや紙づまりのときにファクスを受信すると、メモリに蓄積され（メモリ代行受信）[スタート/コピー]ボタンの上のランプが赤く点滅します。最大10文書メモリできます（ただし、原稿の内容によっては少なくなります）。メモリの文書は、記録紙をセットしたり、紙づまりをなおすと自動的にプリントされます。

ファクスを受信中に記録紙がなくなったりした時は、受信は中断され、メモリ代行受信はできません。次のファクスからメモリ代行受信ができます。記録紙がなく、かつ、メモリがいっぱいのときは、着信ベルが鳴り続けます。

## 着信ベル回数の設定

ファクス/電話自動切替 ( P.71 ) で、自動的に回線を接続するまでに鳴らすベルの回数を設定できます ( 1 ~ 19 回 )。電話モードにする設定もできます。お買い上げいただいたときは、「6回」に設定されています。

操作前のご注意

- ・ 10回以上の設定にすると、相手のファクスが自動送信の場合、自動的に受信できません。
- ・ 無鳴動着信で使用していた場合は、まず「無鳴動着信しない」に設定してください ( P.73 )。それから着信ベル回数を設定してください。
- ・ スーパーLCR ( P.102 ) を利用する場合は、オンライン通信するために10回以下に設定してください。



1 **機能選択** を押しま キリウセンダウ シテクダサイ  
す。

2 **2** を押しま ジユウノ ベル 6カ  
す。

3 **セット** を押しま 4ノイトウノ チカズシ 0%  
す。

4 **機能選択** を 2 回 押しま チカズシ ノベル 06カ  
します。

5 着信ベルの回数を入力します。  
1 ~ 9 は頭に「0」を付けてください。  
[ * ] を入力すると電話モードになります。

6 **セット** を押しま カンリョウ  
す。

10/17 12:00 0

## 呼出ベル回数の設定

ファクス/電話自動切替 ( P.71 ) で、自動的に回線を接続したあとに鳴らすベルの回数を設定できます ( 1 ~ 19 回 )。お買い上げいただいたときは「10回」に設定されています。

1 **機能選択** を押しま キリウセンダウ シテクダサイ  
す。

2 **2** を押しま ジユウノ ベル 10カ  
す。

3 **セット** を押しま 4ノイトウノ チカズシ 0%  
す。

4 **機能選択** を 3 回 押しま ヨチダシ ノベル 10カ  
します。

5 呼出ベルの回数を入力します。  
1 ~ 9 は頭に「0」を付けてください。

6 **セット** を押しま カンリョウ  
す。

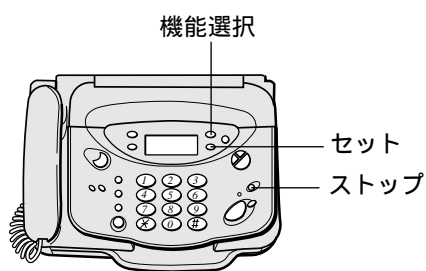
10/17 12:00 0

### こんなときは

回数を間違えたときは、[ 保留 / クリア ] ボタンを押して入力しなおしてください。  
途中で設定をやめるときは、[ ストップ ] ボタンを押してください。

## 無鳴動着信の設定 (ファクス優先の設定)

ファクス/電話自動切替 ( P.71 ) で、着信ベルの回数を 0 回にできます。電話がかかってくると、すぐに回線が接続されます。0 回にするときは、ここで「無鳴動着信する」に設定します。なお、相手が電話の場合は、回線が接続されてから約 5 秒後に呼出ベルが鳴り始めます。お買い上げいただいたときは、「無鳴動着信しない」に設定されています。



1 **機能選択** を押しま キリウセンタク シテクダサイ  
す。

2 **2** を押しま ジユウ セツタイ  
す。

3 **セット** を押しま 4xイトウ チヤクソ 0x  
す。 カーソル

4 **1** または **3** を押してカーソルを移動します。  
_ x : 無鳴動着信する  
x : 無鳴動着信しない

5 **セット** を押しま カンリョウ  
す。

10/17 12:00 0

## 音声メッセージの設定

ファクス/電話自動切替 ( P.71 ) で、自動的に回線を接続した時、相手に音声メッセージを流すことができます (相手が電話の場合)。  
『お呼び出したしますのでしばらくお待ちください』(これは変更できません)  
お買い上げいただいたときは、「音声メッセージを流さない」に設定されています。

1 **機能選択** を押しま キリウセンタク シテクダサイ  
す。

2 **2** を押しま ジユウ セツタイ  
す。

3 **セット** を押しま 4xイトウ チヤクソ 0x  
す。

4 **機能選択** を押しま オンセイ メッセーヅ 0x  
す。 カーソル

5 **1** または **3** を押してカーソルを移動します。

_ x : 音声メッセージを流す  
x : 音声メッセージを流さない

6 **セット** を押しま カンリョウ  
す。

10/17 12:00 0

### こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

ご使用前の  
注意

設置と  
初期状態

電  
話

ファ  
クス

留  
守  
番

ハン  
ドス  
キャ  
ナ

スー  
パー  
レ  
C  
R

ダイ  
ヤル  
イン

困  
った  
とき  
は



## 電話モード

### (主に電話を使う)

ファクス/電話自動切替 ( P.71 ) をしたくない場合 ( ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なくても相手に通話料金がかかるのを防ぎたい場合 ) は、電話モードをご利用ください。電話モードにすると、普通の電話機と同じようになり、ファクスは手動で ( [ スタート / コピー ] ボタンを押して ) 受信できます。

お買い上げいただいたときは、ファクス / 電話自動切替に設定されています。

#### 設定のしかた

P.72の「着信ベル回数の設定」で、着信ベル回数を [ * ] と入力します。

#### ご注意

電話モードでも、留守設定時は自動的にファクスを受信しませんが ( ただし、「トールセイバしない」に設定しているときは自動受信できません ) ( P.79 )



## Fネットについて

### (ファクシミリ通信網)

Fネットは、NTT ( 日本電信電話株式会社 ) が行っているファクシミリ専用の通信回線のことです。遠くの相手とひんぱんに通信を行う場合に経済的です。

Fネットには次のようなサービスがあります。詳しくは、お近くのNTT支店、営業所にお問い合わせください。

- ・ 一斉同報通信
- ・ 自動再送信
- ・ 無鳴動自動受信
- ・ 発信者電話番号などの自動記載
- ・ 再コール
- ・ 送達通知
- ・ 不達通知
- ・ ファクシミリ案内サービス
- ・ ファクシミリボックス
- ・ 短縮ダイヤル
- ・ 親展通信
- ・ 閉域接続
- ・ 着信課金

Fネットを利用する場合は、NTTとの契約が必要です。契約の際は、「G3サービス」、「1300Hz」、「無鳴動受信」と指定してください。

Fネットに加入してファクス送信すると、相手機にIDが表示されます。ID表示は自分の電話番号の前に「81」が付いたものになります。

例：電話番号が 03・1234・5678 のとき  
表示「81 3 1234 5678」



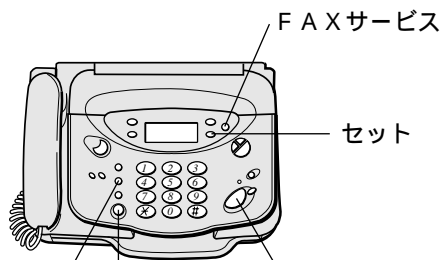
# ファクス情報サービスの利用

## FAXサービスボタンの使いかた

ポーリング方式のファクス情報サービスを利用するときは、[FAXサービス] ボタンを使用します。  
ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

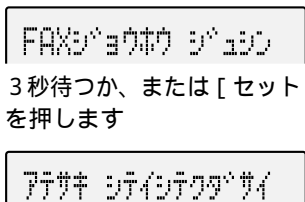
ポーリング受信について  
あらかじめ相手先に用意されている原稿を、こちら（受信側）から操作して受信する機能をポーリング受信といいます。

### ポーリング方式のとき



リダイヤル/ポーズ    ワイワイトーク    スタート/コピー

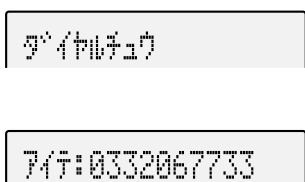
1 ^{FAXサービス} を押し  
ます。  
3秒待つか、または[セット]  
を押します



2 相手先の番号を  
ダイヤルします。



3 <sup>スタート  
コピー</sup> を押し  
ます。



### こんなときは

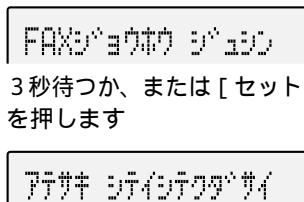
[リダイヤル/ポーズ] ボタンを押すと、前回ファクス情報サービスを利用した相手先へダイヤルできます。ただし、受話器をとってダイヤルしたときは、最後にダイヤルした相手先へダイヤルされます。ご注意ください。  
受話器をとってダイヤルしても受信できます。この場合、受話器から「ピー」という音が聞こえたら [スタート/コピー] ボタンを押してください。

### ポーリング方式かどうかわからないとき / 電話のガイダンスに従って情報を取り出すとき

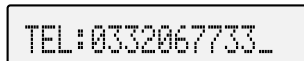
1 受話器をとりま  
す。



2 ^{FAXサービス} を押し  
ます。  
3秒待つか、または[セット]  
を押します



3 相手先の番号を  
ダイヤルしま  
す。



4 ガイダンスに従って操作します。  
ガイダンス後の「ピー」という音のあとでコード  
を入力してください。  
ガイダンスがない場合は次の手順5へ進んでくだ  
さい。

5 <sup>スタート  
コピー</sup> を押し  
ます。



6 受話器を戻します。

### こんなときは

ダイヤル回線をご使用の場合、コードをトーン（ブッシュ）信号で入力する必要があるときは、ダイヤルしたあとに [＊]（トーン）ボタンを押してください。以後のダイヤルはブッシュ信号が送出されます。受話器を置いたまま操作したいときは、手順1で [ワイワイトーク] ボタンを押してください。  
ガイダンス方式のときは上記の手順2を省くことができます。



# いろいろな使いかた

## FAXかんたん受信の設定

電話に出た時、相手がファクスの場合、受話器（または子機）を戻すだけで受信できるように設定できます。「FAXかんたん受信をする」に設定すると、次のようになります。

受話器（または子機）をとって電話に出る  
「ポー・ポー・ポー...」という音が数秒間聞こえる

『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れる

受話器（または子機）を戻す（メッセージの途中で戻してもかまいません）

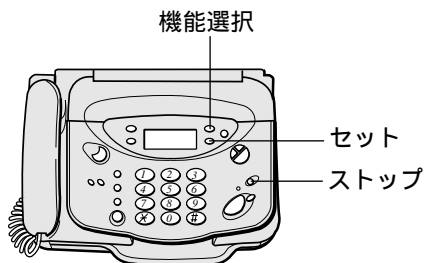
自動的に受信する

お買い上げいただいたときは、「かんたん受信をする」に設定されています。

ご注意

- ・コピー中や登録/設定中にファクスが入った時は、FAXかんたん受信はできません。このときは、コピーや登録/設定を中断すると受信できます。

- ・電話に出た時、周囲の騒音などによってはFAXかんたん受信ができず、メッセージが流れないことがあります。この場合は、[スタート/コピー]ボタンまたは[FAX]ボタンを押して受信してください。
- ・子機の場合、[ワイワイトーク]ボタンを押して電話に出た時は、メッセージは流れず「ポー・ポー・ポー...」という音のあと無音となって自動的に受信します。
- ・相手の電話の声質や音によって、ファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合は、「FAXかんたん受信をしない」に設定してください。
- ・いたずらファクスでお困りのときは、「FAXかんたん受信をしない」に設定してください。
- ・外付け電話機ではメッセージは流れません。「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたあと無音になります。それから受話器を戻してください。



1 機能選択 を押し  
す。 キリウセツタク シテクダサイ

2 3 を押し  
す。 セツテイモト

3 セット を押し  
す。 ヨミトリ ノウト

4 機能選択 を4回押し  
します。 かんたん 受信 OK  
カーソル

5 1 または 3 を押してカーソル  
を移動します。  
_x : FAXかんたん受信をする  
x : FAXかんたん受信をしない

6 セット を押し  
す。 かんたん

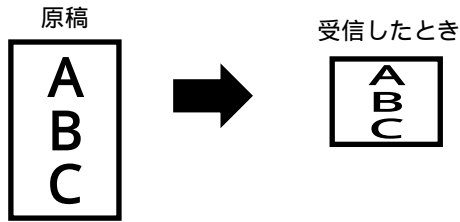
10/17 12:00 0

### こんなときは

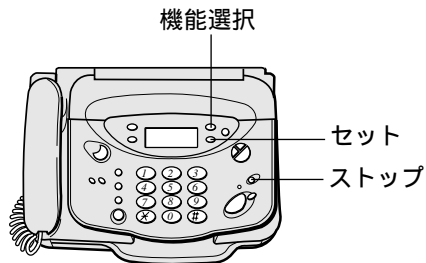
途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

## ペーパーセーブ(記録紙を節約して受ける)

ファクスを受取るときに縦方向を半分に縮小してプリントできます。



相手先が「普通」の画質モードで送ってきたときだけペーパーセーブが働きます。「自動」、「小さい」、「細かい」、「写真」で送られてきたときはペーパーセーブできません。コピーのときはペーパーセーブできません。お買い上げいただいたときは、「ペーパーセーブしない」に設定されています。



- 1 機能選択 を押しま キノウセタク シテクダサイ  
す。
- 2 3 を押しま セツタイモード  
す。
- 3 セット を押しま ヨミリ ノク ■■■■  
す。
- 4 機能選択 を押しま ペーパーセーブ 0%  
す。 カーソル
- 5 1 または 3 を押してカーソルを移動します。  
_x : ペーパーセーブする  
x : ペーパーセーブしない
- 6 セット を押しま カンヨウ  
す。  
10/17 12:00 0

## 手動カットモードの設定

受信したファクスのページ間を自動的にカットする(自動カットモード)か、カットしない(手動カットモード)かを設定できます。「手動カットモード」では、ページ間と最後のページの終わりに破線がプリントされます。

お買い上げいただいたときは、「自動カットモード」に設定されています。

- 1 機能選択 を押しま キノウセタク シテクダサイ  
す。
- 2 3 を押しま セツタイモード  
す。
- 3 セット を押しま ヨミリ ノク ■■■■  
す。
- 4 機能選択 を5回押しま シュツクカット モード 0%  
す。 カーソル
- 5 1 または 3 を押してカーソルを移動します。  
_x : 手動カットモード  
x : 自動カットモード
- 6 セット を押しま カンヨウ  
す。  
10/17 12:00 0

### こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

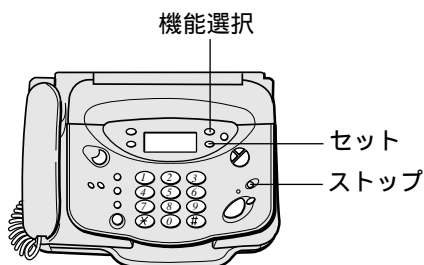
### 手動カットのしかた

受信した文書がプリントされているときは、待機中(電話やファクスを使っていない状態)に[ストップ]ボタンを押すと記録紙がカットされます。

## 転送受信の設定（外付け電話機の場合）

外付け電話機で電話を受けた時、相手がファクスのときに、受信するための番号を変更することができます。なお、ここでの設定は

プッシュ回線の場合に有効です。  
お買い上げいただいたときは、「3*」に設定されています。



1 機能選択 を押しま キリウセタク シテクダサイ  
す。

2 3 を押しま セツイ モード  
す。

3 セット を押しま ヨミリ ノド ■■■■  
す。

4 機能選択 を 7 回押 テンノウ ジュウ 3*  
します。 転送番号

5 1 または 3 を押して選びます。  
選べる番号：2*、3*、5*、7*  
転送受信をしないときは、「シナイ」を選んでください。

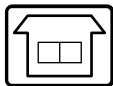
6 セット を押しま カンヨウ  
す。

10/17 12:00 0

### こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。





# 留守設定での動作

ご使用前の  
注意

設置と  
初期状態

電  
話

ファ  
クス

留  
守  
番

ハン  
ドス  
キャ  
ナ

スー  
パー  
レ  
ー  
C  
R

ダ  
イ  
ヤ  
ル  
イ  
ン

困  
っ  
た  
と  
き  
は

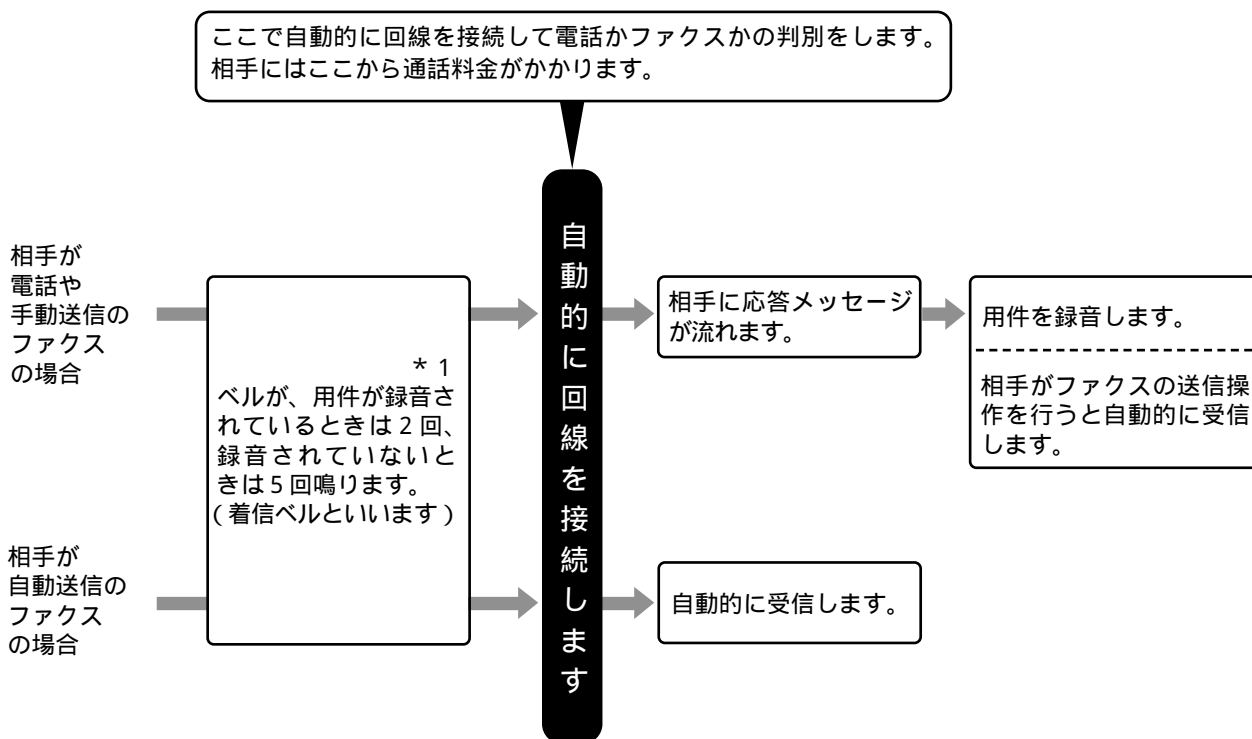
留守セット ( P.82 ) すると、電話のときは用件を録音し、ファクスのときは自動的に受信します。

ご注意

- ・無鳴動着信を設定している場合でも、留守設

定時はベルが鳴ります。

- ・電話モードでお使いの場合、「トールセイバする」( P.87 ) に設定してください。「トールセイバしない」に設定すると、留守番機能が働きません (留守番電話が応答しません)。



*1 お買い上げいただいたときの設定です (「トールセイバする」)。( P.87 )

なお、「トールセイバしない」に設定したときは、着信ベルの回数は、ファクス / 電話自動切替の着信ベル回数です。( P.71、P.72 )

## 記録紙がなくなったときは

記録紙がなくなっているときや紙づまりのときにファクスを受信すると、メモリに蓄積され (メモリ代行受信) [スタート / コピー] ボタンの上のランプが赤く点滅します。最大 10 文書メモリできます (ただし、原稿の内容によっては少なくなります)。

メモリの文書は、記録紙をセットしたり、紙づまりをなおすと自動的にプリントされます。ファクスを受信中に記録紙がなくなったりした時は、受信は中断され、メモリ代行受信はできません。次のファクスからメモリ代行受信ができます。

# ☎ 応答メッセージを録音する

留守設定時（ P.79 ）に相手に流す応答メッセージを自分で録音できます。2種類録音できます。録音時間は、それぞれ最大20秒までです。

例 『はい 』です。ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。ファクシミリ

の方は送信してください。』

自分で録音しない場合、本機の固定メッセージが流れます。（ P.83 ）

操作前のご注意

マイクは人間の声の音域に合わせた設定になっています。メッセージといっしょに音楽を録音することはおすすめできません。



1 機能選択 を押しま キリウセリタク シテクダサイ  
す。

2 5 を押しま ルズテンキリウ  
す。

3 セット を押しま ヨウケン ショウキョ  
す。

4 機能選択 を押しま オウトウメッセージ ロウカ  
す。

5 セット を押しま オウトウメッセージ 1  
す。  
応答メッセージ  
(1と2があります)

6 ① または ③ を押して応答メッセージを選びます。

7 セット を押しま スタートヲオヒテクダサイ  
す。  
メッセージが流れます。

8 スタート/コピー を押して ロウカシキリウ 20"  
からメッセージをマイクに向かって吹き込みます。  
残り時間

ほかの音を入れないようにして、マイクから20cm程度に近づいてお話しください。

録音の残り時間が“0”になると自動的に録音が止まります。この場合は、短いメッセージで録音しなおしてください。

9 終わったら オウトウ サイバシキリウ  
ストップ を押しま 10/17 12:00 0  
す。  
「ピー」という音が生じて録音が止まり、録音したメッセージが再生されます。再生が終わると、もう一度「ピー」という音がします。

## こんなときは

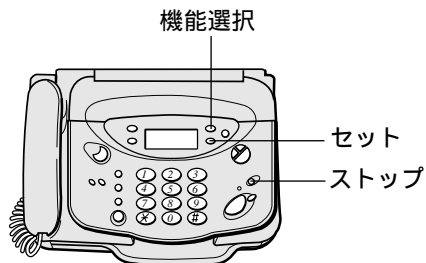
録音中に電話がかかってきたときは録音が中断されません。もう一度はじめてからやりなおしてください。留守設定時でも応答メッセージを録音できます。

録音しなおすときはもう一度はじめてからやりなおしてください。録音しなおすと、前に録音された応答メッセージは消去されます。

# 🏠 応答メッセージを消去する

自分で録音した応答メッセージを消去できます。2種類とも消去すると、留守設定時は本機の固定メッセージが流れます。

本機の固定メッセージを消去することはできません。



- 1 機能選択 を押します。  
キリウセントク シテクダサイ
- 2 5 を押します。  
ルスタンキリウ
- 3 セット を押します。  
ヨウケン ヨウキキ
- 4 機能選択 を2回押します。  
オウトウメッセージ ヨウキキ
- 5 セット を押します。  
オウトウメッセージ 1
- 6 1 または 3 を押して応答メッセージを選びます。
- 7 セット を押します。  
『消去しました』というメッセージが流れます。

## こんなときは

途中で消去をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

# 留守セット

お出かけのときなどに留守設定すると、用件を録音したりファクスを受信したりできます。( P.79 )

録音できる時間は、1件につき最大3分、合計で約15分まで録音できます(自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます)。用件を録音中に3分になると、相手に「ピー」という音流れ、電話が切れます。なお、1件の録音時間が少ないときは、合計が15

分を超えない限り最大30件録音できます。通話録音( P.53 )の時間と件数も含まれます。留守設定時でも、電話をかけたたり、受けたりすることができます。

留守設定時に電話がかかってくると相手の声はモニタスピーカから聞こえます。相手を確認してから電話に出ることもできます。(居留守モニタ)



## 留守設定のしかた

1  を押し  
ます。

お留守メッセージ 1

留守セット 0

応答メッセージが流れ、[留守]ボタンが点灯します。用件が残っているときは点滅します。

2種類の応答メッセージを録音している場合、[1]または[3]を押して応答メッセージを選びます。

## 留守解除のしかた

用件が録音されているときは、[留守]ボタンが点滅しています。用件がないときは点灯してい 用件件数  
ます。

1  を押し  
ます。

お留守メッセージ 1/5  
再生中の用件

[留守]ボタンが  
消灯します。

『用件は 件で  
す』というメッ  
セージが流れ、用  
件が再生されます。  
用件がないときは  
『用件はありませ  
ん』というメッ  
セージが流れます。  
1件再生されるこ

お留守メッセージ 5/5

お留守メッセージ***...

10/17 12:00 5

とに、用件が録音された月日と時間が流れます(この機能をタイムスタンプといいます)。

用件が全部再生されると、『用件は以上です』というメッセージが流れ、1秒ごとに「*」が増えていきます。

用件が全部再生されると、自動的に止まります。再生を途中で止めたいときは、「ストップ」ボタンを押してください。

## ご注意

モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。ご注意ください。[音量]ボタンを押してみてください。( P.47 )

## こんなときは

応答メッセージを本機の固定メッセージにしたいときは、自分で録音した応答メッセージを2種類とも消去してください。( P.81 )

**こんなときは**

次の場合、留守設定をしようとした時、『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れ、留守設定ができません。用件を消去してから留守設定をしてください。( P.85)

- ・すでに用件が30件入っているとき
- ・残りの録音時間が20秒以内のとき

次の場合、留守設定をしようとした時、『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れます。すぐに用件がいっぱいになってしまうので、用件を消去してから留守設定をしてください。( P.85)

- ・すでに用件が27件~29件入っているとき
- ・録音できる時間が21秒~2分のとき

**応答メッセージは状態によって変わります**

状 態	応答メッセージ(本機の固定メッセージ)
通常	ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方はそのまま送信してください。  注：自分で応答メッセージを録音した場合は、そのメッセージが流れます。
用件は録音できないが、ファクスは受信できる とき(用件がいっぱいのとき)*1	ただいま留守にしております。ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください。
用件は録音できるが、ファクスは受信できない とき*1	ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください。
用件の録音も、ファクスの受信もできないとき (メモリがいっぱいのとき)*1	ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください。

*1 . 自分で応答メッセージを録音していても、これらの場合は本機の固定メッセージが流れます。

# 用件の再生と消去

## 用件の再生

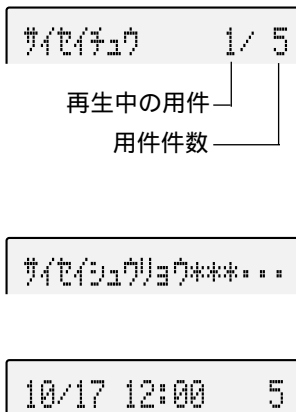
録音された用件は何回でも聞くことができます。通話録音した内容があると、それも再生されます。

留守設定をしている場合でも再生できます。



1  を押し  
ます。

『用件は 件で  
す』というメッ  
セージが流れ、用  
件が再生されます。  
用件が全部再生さ  
れると、『用件は以  
上です』というメッ  
セージが流れます。  
用件が全部再生さ  
れると自動的に止まります。



### ご注意






モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえ  
ません。ご注意ください。[音量]ボタンを押してみ  
てください。( P.47)

### こんなときは

新しい用件から順に再生するように設定することも  
できます。( P.86)

録音された用件を、通話中の相手に聞かせることが  
できます。( P.54)

### 再生中のボタン操作について

ボタン	本機の動き
	高速で再生します。高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。 続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
	1回押すと、次の用件を再生します。 続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
	再生を止めます。([ストップ]ボタンを押してから、もう一度[再生]ボタンを押すと1件目から再生します。)
	再生中の用件を消去します。 その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。

# 用件の消去

録音された用件は消去しない限り残っています。用件を残したままだと録音できる時間が

短くなるので、用済みになった用件は消去してください。



## 用件を聞いてから一度に消去する

- 1 用件を再生します。  
『用件は以上です』というメッセージが流れ、1秒ごとにディスプレイに「*」が増えていきます(6秒間)。

- 2 「*」が表示されている6秒以内に「消去」を押します。  
『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れます。

## 特定の用件だけを消去する

- 1 消去したい用件を再生します。
- 2 「消去」を押します。  
その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。続いて次の用件が再生されます。
- 3 「ストップ」を押します。

## すべての用件を消去する(全用件消去)

- 1 「機能選択」を押します。
- 2 「5」を押します。
- 3 「セット」を押します。
- 4 もう一度「セット」を押します。  
『消去しました』というメッセージが流れます。

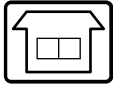
### ご注意

用件を聞いてから一度に消去する場合、早送りして一度も再生しなかった用件は消去されません。最後まで聞き終わらなくても、少しでも再生した用件は消去されます。

全用件消去の場合、一度も再生していない用件もすべて消去されます。

### こんなときは

途中で消去をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

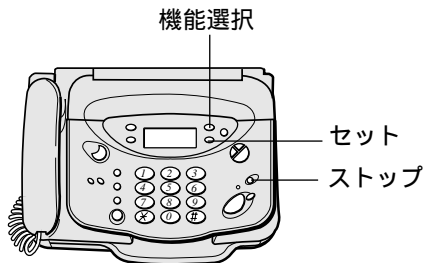


# 用件の再生順序の設定

録音された用件の再生順序を変えることができます。

- ・ 録音された順
- ・ 新しい順

お買い上げいただいたときは「録音された順」に設定されています。



1 機能選択 を押しま キリウセシタウ シテウタガサイ  
す。

2 5 を押しま ルズテンキナウ  
す。

3 セット を押しま ヨウカン ショウキキ  
す。

4 機能選択 を 3 回押 サイテイ OLD + NEW  
します。

5 1 または 3 を押して選びます。  
OLD NEW : 録音された順  
NEW OLD : 新しい順

6 セット を押しま カシヨウ  
す。

10/17 12:00 0

## こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。



# トールセイバの設定

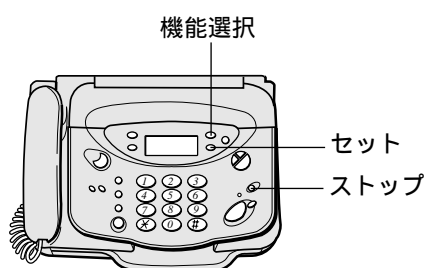
留守設定時（ P.79 ）に外出先で用件の有無を簡単に確かめることができます。トールセイバとは留守番電話が応答するまでのベル回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。したがって、用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終わってから電話を切れれば通話料金はかかりません。

トールセイバはリモート取り出し（ P.89 ）の文書がメモリされている場合も働きます。

お買い上げいただいたときは、「トールセイバする」に設定されています。

ご注意

- 一度聞いた用件でも残っていると（消去しない限り）、トールセイバが働きます。
- 電話モード（ P.74 ）でお使いの場合で、留守番機能を使用するときは、「トールセイバする」に設定してください。「トールセイバしない」に設定すると、留守設定しても留守番機能が動きません（留守番電話が応答しません）。



1 機能選択 を押し  
ます。

キリウセンタク シテクダサイ

2 5 を押し  
ます。

ルスタンキリ

3 セット を押し  
ます。

ヨクン ショウキョ

4 機能選択 を4回押  
します。

トールセイバ OK  
カーソル

5 1 または 3 を押してカーソルを  
移動します。

- _x : トールセイバする
- x : トールセイバしない

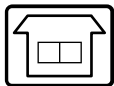
6 セット を押し  
ます。

カンリョウ

10/17 12:00 0

## こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。



# 留守番リモート (子機で留守番電話を操作する)




## 留守セット

リモコン/  
マイクオフ



### 留守設定のしかた

待機中に操作します。

- 1  を押します。  
[リモコン/マイクオフ] ボタンが点灯します。
- 2  を押します。  
受話口から、『留守設定をしました』というメッセージが流れます。応答メッセージは再生されません (応答メッセージの選択はできません)。
- 3  を押します。  
(または充電器に戻します。)  
[リモコン/マイクオフ] ボタンが消灯します。




### こんなときは

『用件がいっぱいです』というメッセージが流れたときは、留守設定ができません。用件を消去してから留守設定をしてください。( P.83)

『メモリ残量が少なくなっています』というメッセージが流れたときは、すぐに用件がいっぱいになってしまいます。用件を消去してから留守設定をしてください。( P.83)

### 留守解除のしかた




待機中に操作します。

- 1  を押します。  
[リモコン/マイクオフ] ボタンが点灯します。
- 2  を押します。  
受話口から、『留守設定を解除しました』というメッセージが流れます。
- 3  を押します。  
(または充電器に戻します。)  
[リモコン/マイクオフ] ボタンが消灯します。

## 用件の再生と消去

### 用件の再生

待機中に操作します。

- 1  を押します。  
[リモコン/マイクオフ] ボタンが点灯します。
- 2  を押します。  
受話口から用件が再生されます。親機のモニタースピーカからは聞こえません。
- 3  を押します。  
(または充電器に戻します。)  
[リモコン/マイクオフ] ボタンが消灯します。






### 特定の用件だけを消去する

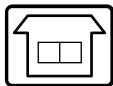
消去したい用件を再生中に [ 8 ] を押します。その用件の再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れ、その用件だけが消去されます。

### 用件を聞いてから一度に消去する

用件を再生し、『用件は以上です』というメッセージが流れたあと、「ピッピッピッ」という音が6秒間聞こえます。この間に [ 8 ] を押すと、『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れ、再生済みの用件がすべて消去されます。

### 再生中のボタン操作について

ボタン	本機の動き
	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。 続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
	高速で再生します。高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
	1回押すと、次の用件を再生します。 続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。
	再生を止めます。([ # ] を押してから、もう一度 [ 2 ] を押すと1件目から再生します。)



# 外線リモート (外出先で留守番電話 / ファクスを操作する)

ご使用前の  
注意

設置と  
初期状態

電  
話

ファ  
クス

留  
守  
番

ハン  
ドス  
キャ  
ナ

スー  
パー  
レ  
C  
R

ダイ  
ヤル  
イン

困  
った  
とき  
は

## リモート操作の設定とリモートパスワードの登録

留守設定中に録音された用件や受信した文書を、外出先で聞いたり、取り出したりできます。そのためには、あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。ファクスを取り出す (リモート取り出しする) に設定すると、留守設定中に入ったファクスはプリントされずにメモリに記憶されます。外出先で受信文書を取り出す操作を行うとメモリ内の文書が送信されます。送信されるとメモリ内の文書は消去されます。なお、外出先で取り出す操作をしなかった場合は、留守解除したときにプリントされます。

### リモート操作の設定

- ・用件を聞くだけ：「リモート操作する」  
「リモート取り出しをしない」
  - ・用件を聞き、ファクスも取り出す：  
「リモート操作する」  
「リモート取り出しをする」
  - ・ファクスを取り出すだけ：設定できません
- リモートパスワードの登録
- ・4桁の数字
- お買い上げいただいたときは、「リモート操作しない」に設定されています。



1 機能選択 を押しま す。  
キリクセンタク シテクダサイ

2 4 を押しま す。  
トウゴク モート

3 セット を押しま す。  
アテサキ トウゴク

4 機能選択 を4回押しま す。  
リモート ソウサ 0%  
カーソル

5 1 または 3 を押してカーソルを移動します。

- x：リモート操作する
  - x：リモート操作しない
- 「リモート操作しない」にしたときは手順10へ進んでください。

6 セット を押しま す。  
リモート ソウサ 0%  
カーソル

7 1 または 3 を押してカーソルを移動します。  
—x：リモート取り出しをする  
x：リモート取り出しをしない

8 セット を押しま す。  
リモート PW = _

9 リモートパスワード (4桁) を入力します。  
リモート PW = 6234

10 セット を押しま す。  
加リヨウ  
10/17 12:00 0

### こんなときは

パスワードを間違えたときは、[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。  
すでにパスワードが登録されているときは、新しいパスワードを入力すると前のパスワードは消去されます。  
途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

## 外出先で留守番電話の用件を聞く / 受信文書を取り出す

あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。( P.89)

プッシュ信号(ピッポッパ)が出せる電話機で操作してください。リモート取り出しのときはファクスで操作してください。

### 1 外出先から電話をかけます。

電話がつながると応答メッセージが流れます。

### 2 **#**を押します。

応答メッセージが流れている間か、メッセージのあと7秒以内に押してください。

応答メッセージが止まります。止まらないときは、もう一度[ # ]を押してください。

### 3 リモートパスワード(4桁)を入れ、最後に**#**を押します。

<用件があるとき>

『パスワードが一致しました。用件は 件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

#### 4-1 用件を聞きます。

#### 4-2 受話器を戻します。

<受信文書があるとき>

(「リモート取り出しをする」に設定しているとき)

『パスワードが一致しました。受信文書は 件です』というメッセージが流れます。

#### 4-1 **#0#**を押します。

『送信します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。

#### 4-2 通信スタートボタンを押します。

#### 4-3 受話器を戻します。

<用件と受信文書があるとき>

(「リモート取り出しをする」に設定しているとき)

『パスワードが一致しました。用件は 件です。受信文書は 件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

#### 4-1 用件を聞きます。

用件の再生終了後、『用件は以上です』というメッセージが流れます。

#### 4-2 用件を聞き終わったら、**#0#**を押します。

『送信します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。

#### 4-3 通信スタートボタンを押します。

#### 4-4 受話器を戻します。

### こんなときは

手順3で『パスワードを入れなおしてください』というメッセージが流れたときは、[ # ]を押してパスワードを入れなおし、最後に[ # ]を押してください。3回間違えると電話が切れます。

([ # ] <パスワード> [ # ])

用件再生終了後何もしないで20秒経つと電話が自動的に切れます。

リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。

再生中に早送りや巻き戻しを行いたいときは、リモート操作コードを押してください。( P.91)

再生以外の操作をしたいときは、手順3でリモートパスワードと[ # ]を押したあと、2秒以内にリ

モート操作コードを押してください。( P.91)

( <パスワード> [ # ] <操作コード> )

留守設定をしないで外出したときは、電話をかけて呼出音の音色が高くなったら(ファクス/電話自動切替が働いて回線が接続されたら)、[ # ]を押してパスワードを入れ、最後に[ # ]を押してください。留守設定になり、『留守設定をしました』というメッセージが流れます。電話モードに設定されているときは、外出先の電話機で留守設定にすることはできません。ダイヤルインをご利用の場合は、ファクス用の番号に電話をかけて[ # ][パスワード][ # ]を押してください。

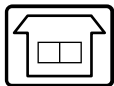
### トールセイバについて

留守番電話が応答するまでのベル回数で用件の有無を確認できます。詳しくは、P.87をご覧ください。

## リモート操作コード表

外出先で留守番電話やファクスを操作する時の操作コードです。( P.90、P.93 )

項目	リモート操作コード	本機の動き
巻き戻し	# 1 #	再生中に押すと、ひとつ前の用件を再生します。
用件再生	# 2 #	用件を再生します。 再生中に押すと高速で再生します。 高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
早送り	# 3 #	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	# 6 1 #	用件転送を設定します。『用件転送を設定しました。転送先は×××です』というメッセージが流れます。転送先が登録されていないときは、『用件転送は使用できません』というメッセージが流れます。
用件転送解除	# 6 2 #	用件転送を解除します。『用件転送を解除しました』というメッセージが流れます。
留守設定	# 7 #	留守設定をします。『留守設定をしました』というメッセージが流れます。
用件消去	# 8 #	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。 用件を再生し、『用件は以上です』というメッセージが流れたあと、「ピッピッピッ」という音がしている間(約6秒間)に押すと、『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れ、再生済みの用件がすべて消去されます。
留守設定解除	# 9 #	留守設定を解除します。『留守設定を解除しました』というメッセージが流れます。
リモート取り出し	# 0 #	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「リモート取り出しをする」に設定しているとき 『送信します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。通信スタートボタンを押すと送信されます。</li> <li>・「リモート取り出しをしない」に設定しているとき 「リモート取り出しをする」に設定されます。『リモート取り出しを設定しました』というメッセージが流れます。</li> </ul>



# 用件転送 (留守番電話やファクスが入ったら外出先へ通知する)

留守設定中に用件を録音したりファクスを受信したら、あらかじめ登録した外出先の電話機やファクスなどへ通知することができます。

用件転送する場合、リモート操作の設定とリモートパスワードの登録を行ってください。( P.89 )

## 用件転送先の登録

用件転送先は1カ所だけ登録できます。

プッシュ信号(ピッポッパ)が出せる電話機やファクスを用件転送先としてください。



1 機能選択 を押しま  す。

2 4 を押しま  す。

3 セット を押しま  す。

4 機能選択 を5回押し  ます。 ↑  
カーソル

5 ① または ③ を押してカーソルを移動します。

- x : 用件転送する
  - x : 用件転送しない
- 「用件転送しない」にしたときは手順8へ進みます。

6 セット を押しま  す。

7 用件転送先の電話番号を入力します。  最大40桁までです。

8 セット を押しま  す。

### ご注意

用件転送先にメッセージ付ポケベルの番号を登録するときは、P.94を参照してください。

用件転送先がPHSの場合、用件転送できないことがあります。

### こんなときは


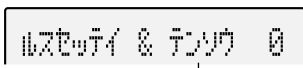
番号を間違えたときは、[音量]ボタンでカーソルを移動するか(小:左移動、大:右移動)、[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。登録した電話番号を修正したいときは、同じ手順で

登録しなおしてください。途中で登録をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。



# 用件転送されたときの受けかた

**ご注意**  
・録音した用件が6秒未満のときは、用件転送されません。  
・おやすみモードになっているときは、用件転送されません。

## 用件転送のセット

1  を押し  
す。    
用件転送

## 用件転送の解除

1  を押し  
す。 

## 用件転送先での受けかた

- ベルが鳴ったら受話器をとります。  
『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが繰り返し流れます。(メッセージが途中から聞こえることがあります。)
- #** を押します。  
『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが流れている間か、メッセージのあと3秒以内に押してください。メッセージが止まります。止まらないときは、もう一度**#**を押してください。
- リモートパスワード(4桁)を入れ、最後に**#**を押します。

### こんなときは

手順3で『パスワードを入れなおしてください』というメッセージが流れたときは、**#**を押してパスワードを入れなおし、最後に**#**を押してください。3回間違えると電話が切れます。  
(**#** <パスワード> **#**)  
『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが5回流れてもパスワードが入らないと、自動的に電話が切れます。  
再生中に早送りや巻き戻しを行いたいときは、リモート操作コードを押してください。( P.91)  
再生以外の操作をしたいときは、手順3でリモートパスワードと**#**を押したあと、2秒以内にリモート操作コードを押してください。( P.91)  
( <パスワード> **#** <操作コード> )

<用件を録音したとき>  
『パスワードが一致しました。用件は 件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

- 4-1 用件を聞きます。
- 4-2 受話器を戻します。

<ファクスを受信したとき>  
(「リモート取り出しをする」に設定しているとき)  
『パスワードが一致しました。受信文書は 件です』というメッセージが流れます。

- 4-1 **# 0 #** を押します。  
『送信します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。
- 4-2 通信スタートボタンを押します。
- 4-3 受話器を戻します。

用件転送先が話し中のときやだれも電話にでなかったときは、1分間隔で5回、それでもつながらないときは、更に30分間隔で5回まで自動的にかけなおします。10回かけなおしてもつながらなかったときは、用件転送されません。  
また、用件転送先が話し中で、自動的にかけなおそうとして待機している間に別の用件を録音したときは、最初に録音した用件の残りの回数分だけかけなおします。  
用件が録音されてから用件転送するまでの間に、停電等で本機の電源が切れた場合は、用件転送されません。  
回線によっては、用件転送を受けたあとにも繰り返し(最大10回まで)用件転送されることがあります。このような場合は、外線リモートの操作をしてください。( P.90)

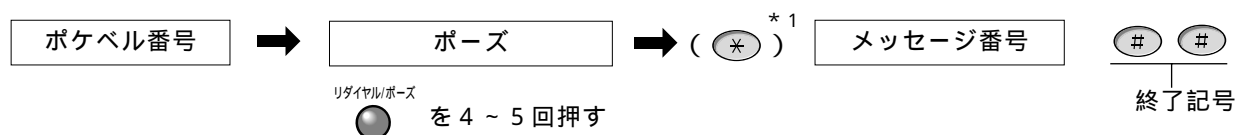
## ポケベル呼び出し

用件転送先（ P.92 ）としてメッセージ付ポケベルを登録することができます。ポケベルを呼び出すとき、ディスプレイにメッセージ

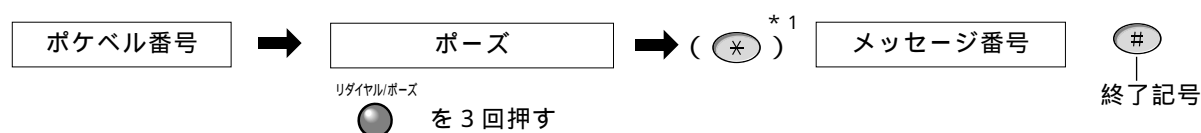
を表示させたいときは、以下のように入力してください。

P.92の手順7で次のように入力します。

例1： NTT DoCoMoの場合



例2： テレメッセージの場合



*1. ダイヤル回線をご使用の場合は [ ※ ] を押してください。以後がプッシュ信号に切り替わります。プッシュ回線をご使用の場合は [ ※ ] を押す必要はありません。

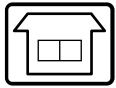
### ご注意

ポーズ（待ち時間）は、ポケベルのサービス会社につながった時に流れる音声メッセージが終わるまでの待ち時間を作るために必要です。音声メッセージの長さは、お使いのポケベルのサービス会社へお問い合わせください。なお、[リダイヤル/ポーズ] ボタンを1回押すと約3秒間のポーズが入力できます。

メッセージ番号については、ポケベルの説明書をご覧ください。

登録できる番号は、ポケベル番号、ポーズ、メッセージ番号の合計が40桁までです。なお、ポーズは[リダイヤル/ポーズ] ボタンを1回で1桁に数えます。





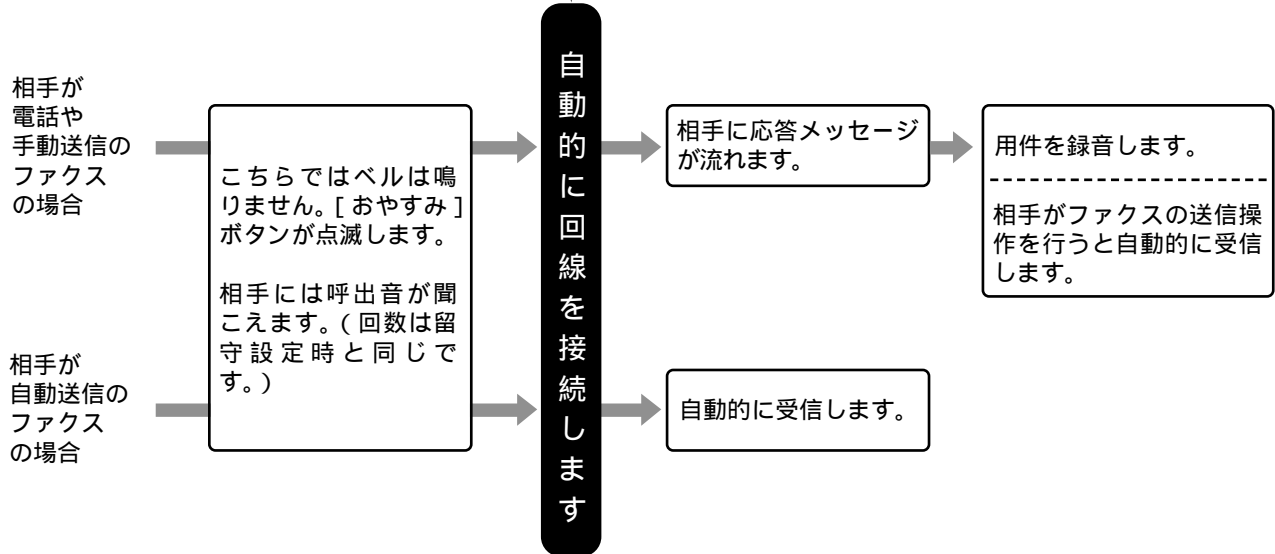
# おやすみモード

電話やファクスが入った時のベルを鳴らしたくないときや、ファクスの動作音が気になるときは、おやすみモードをご利用ください。おやすみモードにすると、留守設定時の動作になります。なお、ベルは鳴りません。ファクスを受信するとプリントされずにメモリに記憶されます(ただし、メモリがいっぱいになるとプリントされます)。

おやすみモードのときは、ベル音、留守電着信時のモニタ音、ファクス受信終了時の「ピー」という音は出ません。ただし、ファクス受信時(メモリいっぱいプリント中)に記録紙がつまったときのアラーム音などは出ます。

おやすみモードにする時間帯をあらかじめ設定しておく、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます。( P.97 )

ここで自動的に回線を接続して電話かファクスかの判別をします。相手にはここから通話料金がかかります。

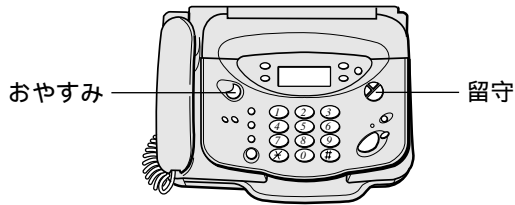


## ご注意

メモリがいっぱいのときは、ファクスの受信文書はプリントされます。

メモリが残り少ないときに、メモリ残量を超える量の文書が送られてくると、受信できないことがあります。

# おやすみモードセット



## おやすみモードの設定のしかた

1  を押しま 

ルズセツテイ	0
--------	---

す。  
[おやすみ] ボタンと [留守] ボタンが点灯します。

## おやすみモードの解除のしかた

用件が録音されているときやファクスの受信文書があるときは、[留守] ボタンが点滅しています。

ルズセツテイ	5
--------	---

1  を押しま

サイセツユウ	1 / 5
--------	-------

す。  
[おやすみ] ボタンと [留守] ボタンが消灯します。用件が録音されているときは用件が再生されます。ファクスを受信しているときはプリントされます。

## こんなときは

留守設定をしたあとに、おやすみモードにしたときは、おやすみモードを解除しても、留守設定は解除されません。[留守] ボタンを押すと、おやすみモードと留守設定の両方が解除されます。

次の場合、おやすみモードにしようとした時、『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れ、おやすみモードにできません。用件を消去してからおやすみモードにしてください。( P.85)

- ・すでに用件が30件入っているとき
- ・残りの録音時間が20秒以内のとき

次の場合、おやすみモードにしようとした時、『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れます。すぐに用件がいっぱいになってしまうので、用件を消去してからおやすみモードにしてください。( P.85)

- ・すでに用件が27件~29件入っているとき
- ・録音できる時間が21秒~2分のとき

# おやすみモードのタイマ切替

おやすみモードにする時間帯を設定しておく  
と、毎日自動的におやすみモードに切り替  
えることができます。

おやすみモード開始時刻と終了時刻は別々に  
設定できます。

- ・おやすみモードの開始時刻と終了時刻を設定  
すると、自動的におやすみモードを設定 / 解  
除します。
- ・おやすみモードの開始時刻だけ設定すると、  
自動的におやすみモードを設定します。解除  
は手動で行います。

- ・終了時刻だけを設定すると、自動的におやすみ  
モードを解除します。設定は手動で行います。  
お買い上げいただいたときは、おやすみモー  
ドのタイマ切替は設定されていません。

ご注意

次の場合は、おやすみモードを自動的に解除  
した時、留守設定になります。

- ・留守設定してからおやすみモードにしたとき
- ・おやすみモード中に用件を録音したとき
- ・リモート取り出し ( P.89 ) の文書をメモリに  
受信したとき



1 機能選択 を押しま キリウセンタク シテクダサイ  
す。

2 4 を押しま トウゴク モード  
す。

3 セット を押しま 7テサキ トウゴク  
す。

4 機能選択 を3回押 オヤスミモード タイマ切替  
します。  
3秒待つか、または[セット]  
を押します  
オヤスミ モード OK  
カーソル

5 1 または 3 を押してカーソル  
を移動します。  
— x : 開始時刻を登録する  
x : 開始時刻を登録しない  
「開始時刻を登録しない」にしたときは手順 8  
へ進みます。

6 セット を押しま オヤスミ モード = 00:00  
す。

7 開始時刻を入力 オヤスミ モード = 22:00  
します。  
24時間制。0~9は頭に「0」を付けてくだ  
さい。

8 セット を押しま オヤスミ モード OK  
す。 カーソル

9 1 または 3 を押してカーソル  
を移動します。  
— x : 終了時刻を登録する  
x : 終了時刻を登録しない  
「終了時刻を登録しない」にしたときは手順  
12へ進みます。

10 セット を押しま オヤスミ モード = 00:00  
す。

11 終了時刻を入力 オヤスミ モード = 06:00  
します。  
24時間制。0~9は頭に「0」を付けてくだ  
さい。

12 セット を押しま オヤスミ モード  
す。  
10/17 12:00 0

**こんなときは**  
時刻を間違えたときは、[保留/クリア] ボタンを押  
して入力しなおしてください。  
途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押  
してください。



# HANDSCYANAでの原稿の読み取りについて

本などの綴じられた原稿や、厚すぎて原稿挿入口にセットできない原稿でも、HANDSCYANAを使ってコピーしたり送信したりすることができます。また、拡大や縮小もできます。HANDSCYANAを使って原稿を読み取る時、メロディ音が流れます（流さないようにすることもできます）。（ P.101）

ご注意

- ・ HANDSCYANAを落としたり、固いものにぶつけたりしないようにご注意ください。

- ・ 原稿読み取り部は汚さないでください。汚れたら清掃してください。（ P.117）
- ・ HANDSCYANAは、原稿読み取り部としても働きます。使用しないときはHANDSCYANAを必ず戻してください。戻すときは、HANDSCYANAのコードをはさまないように注意してください。断線の原因となります。
- ・ コピーしてはいけないものがあります。P.61をご覧ください。

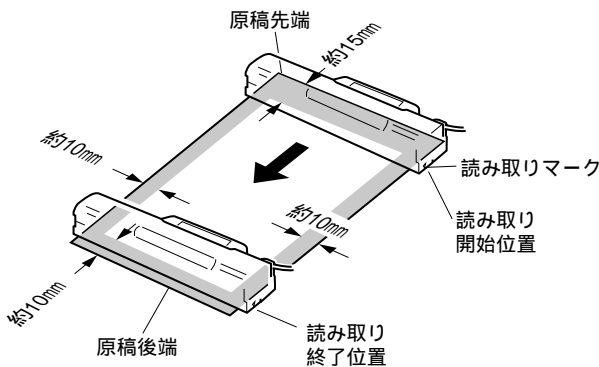
## 読み取り幅と読み取り長さ

	コピーするとき	ファクスを送信するとき
最大読み取り幅	250 mm( B4 サイズ)	250 mm( B4 サイズ)
最大読み取り長さ	無制限( 記録紙がなくなるまで)	370 mm*

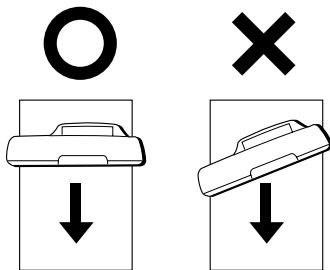
* 原稿の色や文字の量、画質モードの設定によって変わります。

## 原稿の読み取り

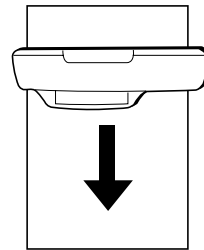
原稿の先端に合わせて読み取りをすると図の 部分 は読み取れないことがあります。



HANDSCYANAは読み取り方向にまっすぐ動かしてください。斜めに動かすとうまく読み取れません。



HANDSCYANAを通常の読み取り方向と逆に動かすと、鏡に映したようになります。



## ご注意

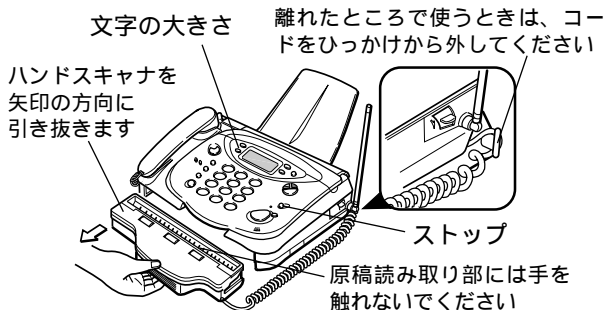
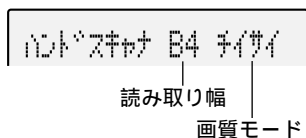
色のついた原稿や文字がうすい原稿などの場合は、HANDSCYANAを外す前に読み取り濃度を設定してください。（ P.63）

次のような原稿には使わないでください。読み取り結果や装置に不具合が発生することがあります。

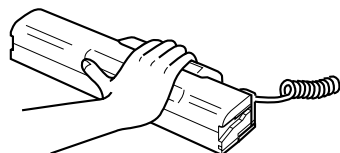
- ・ 表面に凹凸のある原稿
  - ・ コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
  - ・ 表面が汚れている原稿
  - ・ インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
- フィルムやトレーシングペーパーのように透明な原稿は、原稿を白い紙の上に置くか、別売のキャリアシート（ P.59、P.127）に入れてから読み取るようにしてください。

# ハンズキャナでコピーする

1 ハンズキャナを外して裏返します。



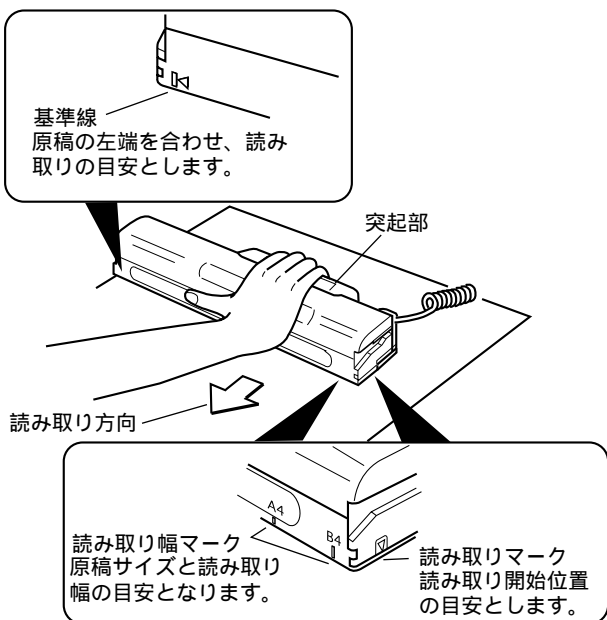
裏返して原稿読み取り部を下にします




拡大 / 縮小するときは、P.101をご覧ください。  
[文字の大きさ] ボタンを押して画質モードの設定ができます (ジドウ / ナイサイ / シヤシン)。

2 ハンズキャナを原稿の上に置きます。

原稿の左端にハンズキャナの基準線を合わせ、上端に読み取りマークを合わせます。端から約 10 ~ 15 mm は読み取れないことがあります。その分外側に合わせてください。



3  を押します。




ハンズキャナの原稿読み取り部が点灯します。

4 ハンズキャナを矢印の方向に動かします。

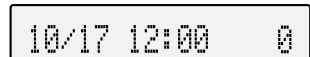
ハンズキャナの上側に表示されている矢印の方向に動かしてください。動かすと、メロディが流れます。

- ・ ふうふうの速さのメロディの時...正常に読みとれます。もっと速くハンズキャナを動かせます。
- ・ 速いメロディの時...正常に読み取れます。これ以上速くハンズキャナを動かすと、正常に読み取れなくなります。
- ・ 「ピッピッピッ...」という音の時...正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ることがあります。

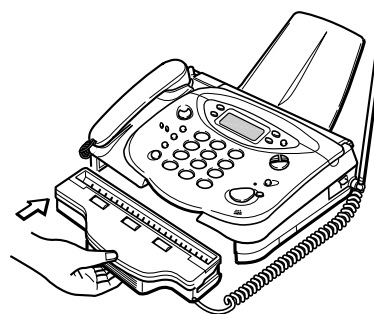
5 読み取りが終わったら  を押します。

プリントが終わるまでしばらくお待ちください。プリントが終わると、原稿読み取り部のランプが消灯します。

6 ハンズキャナを戻します。



原稿読み取り部を上に向けて本体に押し込みます。



## ご注意

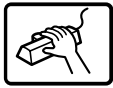
ブザーが鳴り、「メモリ フル」と表示された時は読み取りができません。しばらくするとコピーが可能となります。

ハンズキャナを30秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。

[ストップ] ボタンを押さずにハンズキャナを戻すと、ハンズキャナのローラーが回り、記録紙の後端に原稿と異なるものをプリントする場合があります。ハンズキャナ使用後は必ず戻してください。他の機能が使えない場合があります。

## こんなときは

メロディを流したくないときは、P.101をご覧ください。

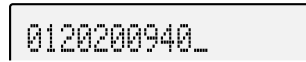


# ハンドスキャナで送信する


- 1** ハンドスキャナを外して裏返します。( P.99 )

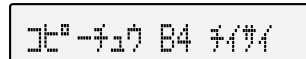


- 2** 相手先の番号をダイヤルします。



- 3** ハンドスキャナを原稿の上に置きます。( P.99 )

- 4**  を押します。



ハンドスキャナの原稿読み取り部が点灯します。


- 5** ハンドスキャナを矢印の方向に動かします。

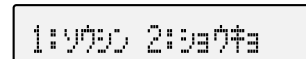
ハンドスキャナの上側に表示されている矢印の方向に動かしてください。動かすと、メロディが流れます。

- ・ふつうの速さのメロディの時...正常に読みとれます。もっと速くハンドスキャナを動かせます。
- ・速いメロディの時...正常に読み取れます。これ以上速くハンドスキャナを動かすと、正常に読み取れなくなります。
- ・「ピピピピッ...」という音の時...正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ることがあります。

読み取った原稿は、メモリに記憶しながら同時にプリントされます。

「ピー、ピー、ピー...」という音がした時はメモリがいっぱいです。読み取ったところまでプリントされます。

- 6** 読み取りが終わったら  を押します。



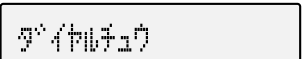
プリントが終わるまでしばらくお待ちください。プリントが終わると、原稿読み取り部のランプが消灯します。

- 7** プリント内容を確認します。

もう一度読み取りなおしたいときは、[ 2 ] を押し、「データ ラ ショウキョシマシタ」「ヨミトリマチ B4 チイサイ」と表示されたら、手順3からやりなおしてください。

送信をやめたいときは、[ 2 ] を押してから、[ ストップ ] ボタンを押してください。

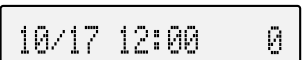
- 8** **1** を押し



す。交互に表示送信を開始します。



- 9** ハンドスキャナを戻します。( P.99 )



原稿読み取り部を上に向けて本体に押し込みます。ハンドスキャナを戻しても送信は中断されません。

## ご注意

ハンドスキャナを30秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。

送信が終わるとメモリの内容は消去されます。

ハンドスキャナで読み取った原稿を送るときは、原稿を読み取るごとに送信してください。続けて複数枚読み取って一度に送信することはできません。

ハンドスキャナを使う場合、電話で話をしたあと、続けて送ることはできません。

送信中に通信異常のアラームが表示された場合、メモリの内容は消去されます。

相手機がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送るとA4サイズには縮小されません。左寄せでA4分を切り出して送信されます。ハンドスキャナ使用後は必ず戻してください。他の機能が使えない場合があります。

## こんなときは

メロディを流したくないときは、P.101をご覧ください。


相手先が話し中のときは、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします(オートリダイヤル)。5回かけなおしても送信できなかったときは、読み取った原稿が消去され、不達レポートがプリントされます。( P.65 )

途中で送信をやめるときは、[ ストップ ] ボタンを押してください。

# 拡大 / 縮小の設定

ハンズキャナを使って送信やコピーをするときに、読み取り幅とプリント（記録）幅を設定すると、原稿を拡大や縮小して送信やコピーができます。

1 ハンズキャナを外します。  
( P.99 )

2  を押し  
ます。  
読み取り幅  
記録幅

3 **1** または **3** を押して倍率を選  
びます。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| B4 B4 : 等倍     | B5 B5 : 等倍     |
| B4 A4 : 82%縮小  | B5 A4 : 115%拡大 |
| A4 A4 : 等倍     | B5 B4 : 141%拡大 |
| A4 B4 : 122%拡大 |                |

4  を押し  
ます。

5 ハンズキャナを戻します。( P.99 )  
戻さずに送信やコピーを行うこともできます。

## こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

## 記録幅と記録紙サイズによるプリントのしかた

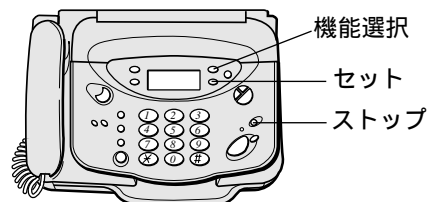
記録幅	本機の記録紙(コピー時)		相手先の記録紙(送信時)	
	A4	B4	A4	B4
A4	A4幅	A4幅	A4幅	A4幅
B4	A4幅*1	B4幅	A4幅*1	A4/B4幅*2
B5	B5幅	B5幅	B5幅	B5幅

* 1 記録幅を B 4 に設定したとき、A 4 サイズの記録紙がセットされていると、はみ出す部分（原稿の右側）はプリントできません。

* 2 本機の記録紙が A 4 のときは A 4 幅、B 4 のときは B 4 幅でプリントされます。記録幅を B 4 に設定したとき、相手先でのプリントは本機の記録紙サイズと同じです。本機でコピーとしてプリントされた内容が相手先にプリントされます。

# メロディハンズキャナの設定


ハンズキャナを使って原稿を読み取る時、メロディ音を流すことができます。  
お買い上げいただいたときは、「メロディ音を流す」に設定されています。



1 ハンズキャナを外します。  
( P.99 )

2  を 2 回押  
します。  
カーソル

3 **1** または **3** を押してカーソルを移動します。  
—x : メロディ音を流す  
—x : メロディ音を流さない

4  を押し  
ます。

5 ハンズキャナを戻します。  
( P.99 )

## こんなときは

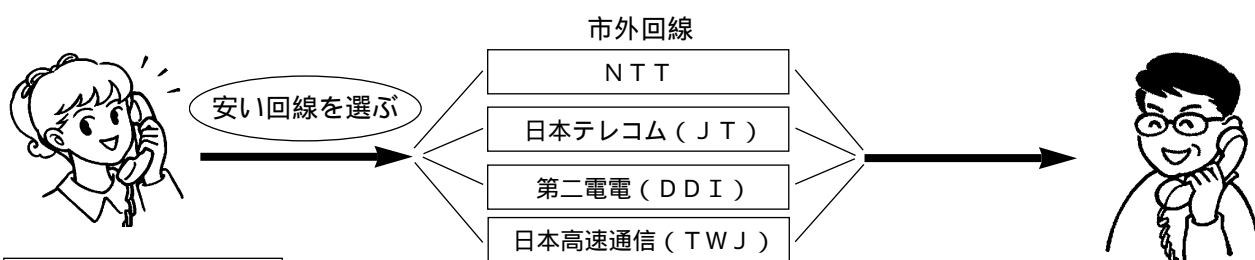
途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

# LCR スーパー L C R の利用

## スーパー L C R について

スーパー L C R とは、相手先の場所、曜日、時間帯を自動判定して、N T T の市外回線のほかに日本テレコム ( J T ) などの新電電の中から通話料金のおトクな市外回線を自動的に選ぶ機能です。  
電話をかけるとき、電話番号以外に 0 0 8 8 などの新電電につなぐ番号を押す必要がなく、

N T T の電話回線を使って電話をかけるときと同じ操作でご利用できます。  
スーパー L C R を利用するには、必ず日本テレコム ( J T ) への申し込みが必要です。すでに日本テレコムに加入済みの方も申し込みの手続きが必要です。



### お問い合わせ先

日本テレコム株式会社 ( J T ) お問い合わせ先 : 0 0 8 8 - 8 2 ( 無料 )  
( 日本テレコムお客様センター ) 0 1 2 0 - 0 0 8 8 - 8 2 ( 無料 )  
第二電電株式会社 ( D D I ) お問い合わせ先 : 0 0 7 7 - 7 7 9 ( 無料 )  
0 1 2 0 - 2 2 - 0 0 7 7 ( 無料 )  
日本高速通信株式会社 ( T W J ) お問い合わせ先 : 0 1 2 0 - 0 3 - 0 0 7 0 東京 ( 無料 )  
0 1 2 0 - 0 6 - 0 0 7 0 大阪 ( 無料 )

### スーパー L C R 利用申し込みをした場合の料金について

ご利用にあたっての申し込み費用および月々の基本料金はかかりません。

また、ご自宅にうかがっての工事はありません。

日本テレコム ( J T ) を利用した通話については、日本テレコムから通話料金が請求されます。

他の新電電を利用した場合も同様にそれぞれの会社から通話料金が請求されます。

N T T からは、基本料金と N T T を利用した通話料金が請求されます。

### ご注意

本機を構内交換機 ( P B X ) に接続してお使いになるときは、スーパー L C R は利用できません。必ず L C R 機能を解除してお使いください。P.104で「スーパー L C R を利用しない」に設定してください。

本機と他の電話機を並列に接続すると、日本テレコムからのデータが受けられない場合があります。また、本機と他の L C R 機能付き電話機を並列に接続すると、双方でデータが受けられなくなり、L C R 機能が働かなくなります。このような使いかたをされるときは、日本テレコムお客様センターにご連絡ください。

I S D N 回線をご利用されている場合、ターミナルアダプタの種類によっては日本テレコムからのデータが受けられない場合があります。

スーパー L C R 以外の L C R 機能付き電話機を本機と取り替えられたとき、または新電電のアダプタをご利用の場合、以前の電話機で利用されていた新電電に L C R データのメンテナンスを停止していただくよう依頼してください。また、本機のデータも書き換える必要がありますので、日本テレコム以外の新電電にも加入していることを日本テレコムお客様センターにお知らせください。

現在、アダプタ「ルート 8 8」をご利用の場合は、日本テレコムお客様センターにお知らせください。

スーパー L C R は本機で電話をかける場合だけ利用できます。本機に接続した外付け電話機で電話をかけてもスーパー L C R は利用できません。外付け電話機では「0 0 8 8」などの新電電につなぐ番号を押してから相手の番号をダイヤルしてください。



# スーパーLCRの申し込みかた

**1** 付属の「スーパーLCRファクシミリ申込書」に必要事項を記入し、ファクスします（通話料無料）。

すでに日本テレコムをご利用中の方も必ず、ファクスしてください。

**2** 「ご利用の準備」の操作をします。  
( P.104 )



1～2週間後、日本テレコム（JT）から電話回線を通じてLCRデータが送られてきます。（オンライン通信）



データが送られてくると

ファクスの受信と同じように自動的に受けます。電話に出たときは「ピポピポ...」という音が聞こえたあと、無音が続きます。このときは、受話器を戻してください（本機が自動的にデータを受け始めます）。

<データ受信中のディスプレイ表示>

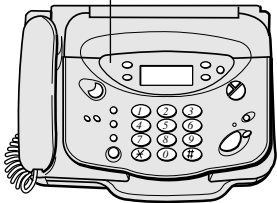
オンライン ワイワイネットワーク

注意：[ワイワイネットワーク]で出たときは自動的に受けられない場合があります。「ピポピポ...」という音が聞こえたら、受話器をとってください。子機のワイワイネットワークで出たときは、充電器に置いてある場合は充電器からとってください。置いていない場合は[外線]ボタンを押してください。そして、無音になったら受話器（または子機）を戻してください。



LCRランプが緑点灯に変わり、スーパーLCRが利用できるようになります。

LCRランプ



LCRデータが記憶され、LCRランプが赤点灯から緑点灯に変わります。電話をかけたりファクスを送ったりする時、新電電が選ばれると、LCRランプが約10秒間点滅します。

郵送で申し込みもできます  
付属の「スーパーLCRご利用申込書」を使って、スーパーLCRを郵送で申し込むこともできます。お申し込みの際は、よくお読みの上、郵送してください。なお、「スーパーLCRご利用申込書」で申し込まれたあとも、手順2の「ご利用の準備」の操作を必ず行ってください。

**ご注意**

NTTのダイヤルインサービス（P.107）をご利用の場合は、「スーパーLCRファクシミリ申込書」（または「スーパーLCRご利用申込書」）の電話番号欄には主契約番号を記入してください。ダイヤルイン追加番号を記入された場合、スーパーLCRをご利用できません。主契約番号とダイヤルイン追加番号については、NTTにお問い合わせください。オンライン通信するためには、ファクス/電話自動切替で着信ベルの回数を10回以下に設定してください。（P.71、P.72）

**日本テレコムと他の新電電を含めて利用したいとき**

日本テレコムにスーパーLCRの利用申し込みをした上、他の新電電とご契約ください。

新たに他の新電電に加入される方は  
各新電電に申し込みをする  
各新電電から開通通知が送られてくる  
開通通知がきたことを日本テレコムお客様センターに連絡する

すでに他の新電電に加入されている方は  
スーパーLCRを利用するための手続きをする際に、あらかじめ日本テレコムお客様センターへ他の新電電を利用することをご連絡ください。



日本テレコムから、日本テレコムとNTTおよび他の新電電と比較するために必要なデータが送信可能となります。ただし、日本テレコムと他の新電電の料金体系が同一の場合は、日本テレコムを選択するデータとなります。

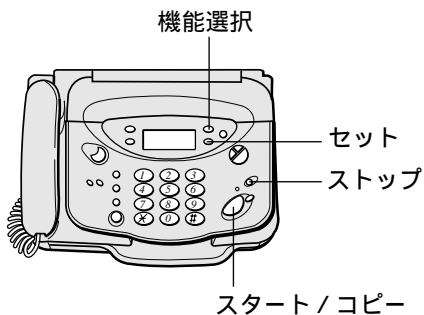
# スーパーLCRの設定とご利用の準備操作

スーパーLCRを利用するには、LCRの設定と、日本テレコム(JT)へのご利用の準備操作を行います。なお、P.22でご利用の準備操作を行った場合は、ここで行う必要はありません。

自動発信(申し込み)の通話料は無料です。

ご注意

LCRランプが緑点灯の時にご利用の準備操作を行った場合、ランプが赤点灯になり、LCRが働かなくなります。



1 機能選択 を押し  
す。 キノウセンタク シテウダサイ

2 6 を押し  
す。 LCR キノウ

3 セット を押し  
ます。

4 機能選択 を押し  
す。 LCRセウゴ: ハッシン

5 セット を押し  
ます。 スタートヲオシテウダサイ

6 スタート/コピー を押し  
す。 LCRジドウハッシンチュウ  
30秒後

このお申し込み準備操作をされた場合も必ず申込書をファクスまたは郵送してください。この操作のみではお申し込みにはなりません。

オセウゴ: ショ FAXシテ  
30秒後

10/17 12:00 0

## こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。「LCRジドウハッシンチュウ」の表

示中は、[ストップ]ボタンを押してもやめることはできません。

## スーパーLCRの利用を一時中止/再開したいとき

LCRランプが緑点灯の時(スーパーLCRが利用できる時)に、スーパーLCRの利用を一時中止したいときは、次の手順を行ってください。LCRランプが赤点灯になります。

1 機能選択 を押し  
す。 キノウセンタク シテウダサイ

2 6 を押し  
す。 LCR キノウ

3 セット を押し  
ます。 LCR OK  
カーソル

4 1 または 3 を押してカーソルを移動します。

×: 一時中止するとき(利用しない)

—×: 再開するとき

×にした場合、料金表示はできなくなります。

5 セット を押し  
ます。 キノウ

10/17 12:00 0

# スーパーLCRを利用する



- 1 受話器をとりま  
す。  
10/17 12:00 0
  
- 2 相手先の番号を  
ダイヤルしま  
す。  
新電電が選ばれると  
LCRランプが約  
10秒間点滅します。  
JT：日本テレコム  
DDI：第二電電  
TWJ：日本高速通信  
NTT：日本電信電話  
TEL：フリーダイヤルなどの場合  
TEL:0123456789_  
JT :0123456789_
  
- 3 話をします。  
料金表示をする設  
定にしておく、料金が表示されます。  
03'16" 160円
  
- 4 話が終わったら  
受話器を戻しま  
す。  
10/17 12:00 0

## ご注意

新電電各社の料金が同額の場合、スーパーLCRは日本テレコムを選択します。  
緑点灯していたLCRランプが赤点灯に変わったときは、日本テレコムお客様センターにご連絡ください（オンライン通信中は除く）  
本機に間違った日付・時刻を登録したときや、登録した日付・時刻に誤差が生じた場合は、スーパーLCRが正しく働かないことがあります（時間帯によ

りおトクな市外回線が異なります）。正しい時刻を登録してください。また、月に一回程度は時刻を確認してください。  
子機で電話をかけたときは、親機のディスプレイには選択された電話会社は表示されません。  
外付け電話機では、スーパーLCRは利用できません。本機と並列に接続している電話機では、本機のスーパーLCRは利用できません。

## こんなときは

市外の天気予報に電話をかけるときや、スーパーLCRの機能を働かせないで、その通話（またはファクス送信）に限りNTTの回線を選ぶときは、相手先の番号の前に[0][0]を押してください。なお、市内に電話をかけるときは押す必要がありません。  
NTTや新電電各社の料金引きサービス等をご

利用の場合は、最もおトクな市外回線を選ばないことがあります。詳しくは日本テレコムお客様センターへお問い合わせください。  
日本テレコム以外の新電電を使用したいときは、0077（第二電電）、0070（日本高速通信）を相手先の電話番号の前に押してください。

## LCRランプの見かた

赤点灯 .....スーパー LCR は利用できません。  

- ・ LCR を利用しないに設定しているとき
- ・ データが書き込まれていないとき
- ・ データが壊れているとき
- ・ 停電によって時計が初期化されたとき

緑点灯 .....スーパー LCR を利用できます。  
 緑点滅 .....新電電を選択しました（約10秒間点滅します）。

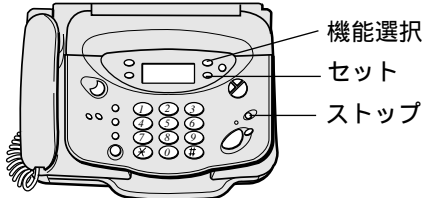
## 料金表示の設定

スーパー LCRを利用して電話をかけたり、ファクスを送ったときに通話料金を親機のディスプレイに表示させることができます。料金表示は、親機で通話したときだけ表示するか、子機で通話したときも表示するかを設定できます。

お買い上げいただいたときは、「親機のみ料金表示をする」に設定されています。

操作前のご注意

料金表示の設定は、日本テレコムにスーパー LCRの申し込みを行い、LCRランプが緑点灯してから行ってください。データが送られてこないと料金表示はできません。



- 1 機能選択 を押します。 キルクセントウ シテクダサイ
- 2 6 を押します。 LCR キルク
- 3 セット を押します。 LCR OK
- 4 機能選択 を 2 回 押 します。 キルクセントウ シテクダサイ OK  
カーソル

- 5 ① または ③ を押してカーソルを移動します。

— x : 料金表示をする

x : 料金表示をしない

「料金表示をしない」にしたときは手順 8 へ進んでください。

- 6 セット を押します。 オヤキ

- 7 ① または ③ を押して子機も料金表示するかを選びます。

オヤキ : 親機のみ料金表示をする

オヤキ + コキ : 親機のみ子機のみ料金表示をする

- 8 セット を押します。 オヤキ

### ご注意

通話料金は右のように表示されます。

49,990円まで表示できます。50,000円以上になると、「*** **円」と表示されます。

ファクス送信のときは送信終了後に料金が表示されます。外付け電話機で通話したときは、通話料金は表示されません。

通話料金の表示は目安です。各電話会社からの請求金額との差異等、表示内容に係わる異議が生じた場合、当社ではその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。次のような電話にかけたときは、通話料金は表示さ

れません。

- ・フリーダイヤル、携帯電話、PHS、国際電話、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、ナビダイヤル
- ・117、177、104、110などの1から始まる3桁番号など

ISDN回線をご利用されている場合、本機が接続されているターミナルアダプタが回線接続信号(極性反転)を通知する機能を持たない場合、料金表示はできません。

通話中に本機の時刻登録を行った場合は、通話時間は「0'00"」、通話料金は「*****円」となります。

## スーパー LCR のデータメンテナンスについて

こんなときは日本テレコム(JT)へご連絡ください  
転居などによって、住所、電話番号が変わったとき...日本テレコムからお客様の電話機に新しいデータを送る必要があります。ご利用の準備操作(P.104)を行った後、日本テレコムお客様センターへご連絡ください。

利用する新電電を変更したとき...データの書き換えが必要です。

停電が36時間以上続いた場合...停電復旧後LCRランプは赤点灯となり、スーパーLCRはご利用できなくなります。その場合は日本テレコムお客様センターへご連絡ください。

LCRデータの書き込みについて

データは日本テレコムのオンライン通信によって書き込まれます。オンライン通信は自動的に行われ、スーパーLCR申し込み後および料金改訂時など、必要に応じて最新のLCRデータが本機に送られてきます。

オンライン通信中(LCRランプが緑点灯から赤点灯に変わる)は、電話をかけたり受けたりすることやファクスの送受信はできません。約3~4分お待ちください。LCRランプが緑に点灯し、ディスプレイから「オンラインツウシンチュウ」の表示が消えると、使用できます。

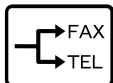
スーパーLCR機能に異常が生じたとき、本機が自動的に日本テレコムへ電話をかけることがあります。このときの電話料金はかかりません。

日本テレコムお客様センター

0088-82(無料)

0120-0088-82(無料)

受付時間 9:00~23:00(年中無休)



# ダイヤルインサービスの利用

ご使用前の  
注意

設置と  
初期状態

電  
話

フ  
ァ  
ク  
ス

留  
守  
番

ハ  
ン  
ド  
ス  
キ  
ャ  
ナ

ス  
ー  
パ  
ー  
レ  
ー  
C  
R

ダ  
イ  
ヤ  
ル  
イ  
ン

困  
っ  
た  
と  
き  
は

## ダイヤルインサービスについて

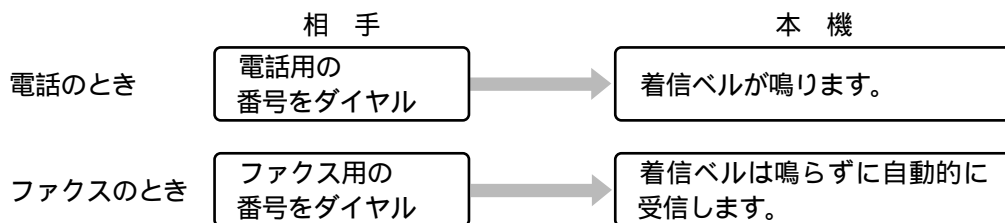
ダイヤルインサービスはNTTが行っているサービスです。1本の電話回線で2つ以上の電話番号を持たせることができます。したがって、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号を別々にすることができます。相手に、ファクスのときはファクス用の番号に、電話のときは電話用の番号にかけてもらうことにより、ファクスのときはベルを鳴らさずに自動的に受信し、電話のときは普通の電話機と同じようにベルが鳴ります。

電話用の電話番号は、親機と子機で共用にしたり、別々にしたり（個別呼出）することができます。したがって、ファクス用の電話番号1つと、電話用の電話番号2つの最大3つの電話番号を使い分けることができます（増設子機使用時は最大6つになります）。

ダイヤルインを利用する場合、共通鳴動や代理応答の機能を設定することができます。

- ・「共通鳴動する」に設定すると、親機の電話番号に電話がかかってきた時だけ、その番号が登録されていない他の電話機（子機）もすべてベルを鳴らすことができます。
- ・「代理応答する」に設定すると、電話がかかってきた時、ベルが鳴らない電話機（その電話番号を登録していない電話機）でも電話に出ることができます。（親機は「おやすみ」ボタンが点滅します。子機の「外線」ボタンは点滅しません。）

外付け電話機に番号を持たせることはできません。ダイヤルインサービスを利用する場合、電話がかかってきても外付け電話機のベルは鳴りません。ダイヤルインサービスを利用するにはNTTとの契約が必要です（有料）。



### ダイヤルインサービスを利用するには

利用契約を行います。

「電話番号（送出番号）は4桁」とご指定ください。また、サービスの開始日時をご確認ください。

サービスが開始されます。

ダイヤルインの登録を行います。（P.109）

登録はサービス開始後に行ってください。開始前に行くと電話が使えなくなります。

### ご注意

ダイヤルインサービスをご契約によって今までお使いの電話番号が変わることがあります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスを利用できない場合があります。詳しくは、NTT窓口等へお問い合わせください。ダイヤルインサービスを契約した場合、次のNTTサービスは利用できません。

- ・ キャッチホン、トリオホン、転送電話、電話会議、トーカー案内  
ランチ接続はしないでください。ダイヤルインが正しく動作しません。  
ファクスと電話を同時に使用することはできません。  
電話用の番号にファクスが送られた時（「ポー・

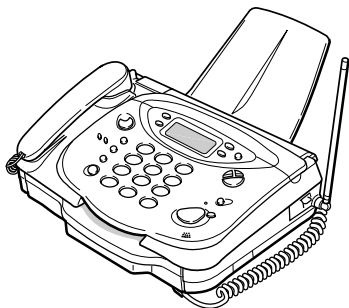
ポー・ポー...」という音が聞こえた時）は、「スタート/コピー」ボタン（子機では「FAX」ボタン）を押してください。

ファクス用の番号に電話がかかってきた場合は、着信ベルが鳴らず、自動的に受信動作を開始しますので通話できません。

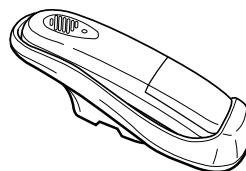
留守設定時は、電話用の電話番号に電話がかかってきたときは留守番動作をします（用件録音、ファクス受信とも可）。ファクス用の電話番号に電話がかかってきたときは、留守設定時でもベルを鳴らさずに自動的に受信します（用件録音は不可）。

停電が起きたときは、電話もファクスも使用できません。

例 1 : ファクス用の電話番号 1つ  
電話用の電話番号 1つ



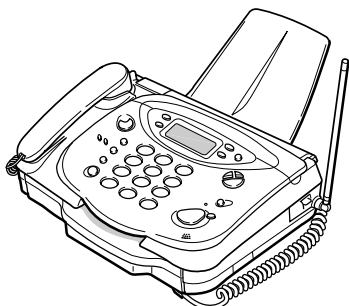
ファクス: 1111  
親機(内線1): 2222



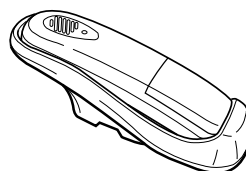
子機(内線2): 2222

ファクス用の電話番号に電話がかかってくると、ベルは鳴らずに自動的に受信します。  
電話用の電話番号に電話がかかってくると、親機と子機のベルが鳴ります。

例 2 : ファクス用の電話番号 1つ  
電話用の電話番号 2つ  
(個別呼出)



ファクス: 1111  
親機(内線1): 2222



子機(内線2): 3333

2222に電話がかかってくると、親機だけベルが鳴ります。  
3333に電話がかかってくると、子機だけベルが鳴ります。

#### 共通鳴動について

例 2 の場合、「共通鳴動する」に設定すると、  
2222に電話がかかってきた時は、親機の他に  
子機のベルも鳴ります。  
また、3333に電話がかかってきた時は、子機  
のベルだけ鳴ります。

#### 代理応答について

例 2 の場合、「代理応答する」に設定すると、  
2222に電話がかかってきた時、子機で電話に  
出ることができます。(子機の[外線]ボタンは点  
滅しません。)  
また、3333に電話がかかってきた時、親機で  
電話に出ることができます。(親機は[おやすみ]  
ボタンが点滅します。)

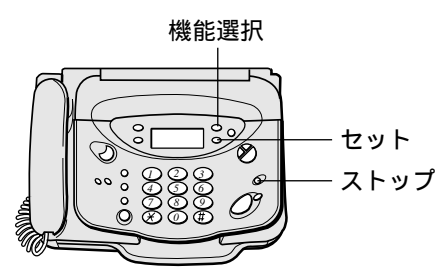
# ダイヤルインの登録

ダイヤルインサービスを利用する場合、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号の登録をサービス開始後に行ってください。サービス開始前に登録を行うと(「ダイヤルインを利用する」に設定すると)、電話が繋がらなくなります。

ご注意

- 電話機(親機と子機)はすべて電話番号を登録してください。登録しない電話機は使用できなくなります。

- スーパーLCRをご利用の場合は、ファクス用の電話番号は契約番号を登録されることをおすすめします。オンライン通信ができます(P.103、P.106)。契約番号(他の番号はダイヤルイン追加番号といいます)については、NTTにお問い合わせください。



- 機能選択 を押します。
- 4 を押します。
- セット を押します。
- 機能選択 を6回押しします。
- 1 または 3 を押してカーソルを移動します。  
 _x: ダイヤルインを利用する  
 x: ダイヤルインを利用しない  
 「利用しない」にしたときは手順18へ進んでください。
- セット を押します。
- 1 または 3 を押してカーソルを移動します。  
 _x: FAX専用番号を登録する  
 x: FAX専用番号を登録しない  
 「登録しない」にしたときは手順10へ進んでください。
- セット を押します。

- 9 ファクス用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。
- 10 セット を押します。
- 11 親機に対して電話用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。  
 「ナイセン1」は親機です。
- 12 セット を押します。
- 13 1 または 3 を押してカーソルを移動します。  
 _x: 共通鳴動する  
 x: 共通鳴動しない
- 14 セット を押します。
- 15 子機に対して電話用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。  
 「ナイセン2」は子機です。  
 増設子機使用時は次の手順16で[セット]ボタンを押すと、次の子機の電話番号登録になります。
- 16 セット を押します。
- 17 1 または 3 を押してカーソルを移動します。  
 _x: 代理応答する  
 x: 代理応答しない
- 18 セット を押します。

## こんなときは

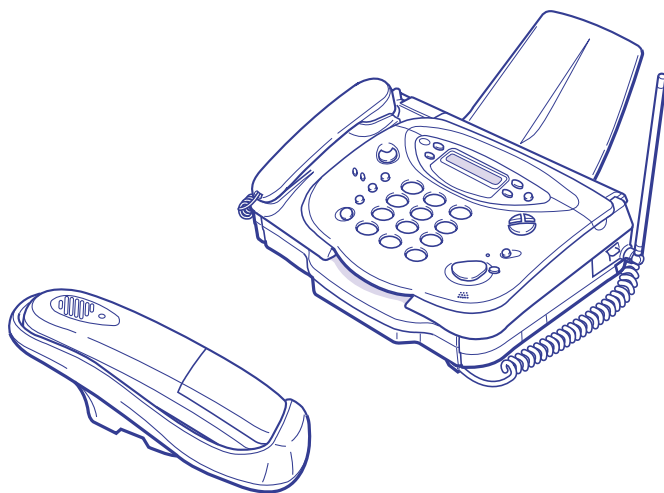
電話番号を変更したいときは、同じ手順で登録しなおしてください。

途中で登録をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。





本製品を操作中に何か困ったときは、以降のページをご覧ください。



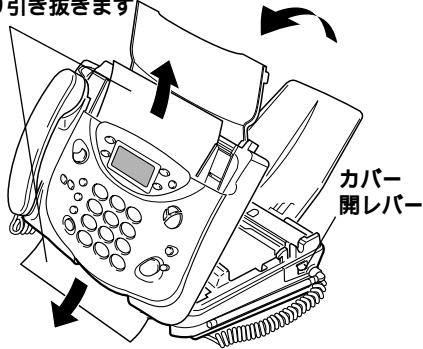
# ? 原稿が詰まったとき

ゲンゴウ 加コ

の表示が出ます。

- 1 カバー開レバーを下に押し、カバーを開けます。

取りやすい方から  
ゆっくり引き抜きます

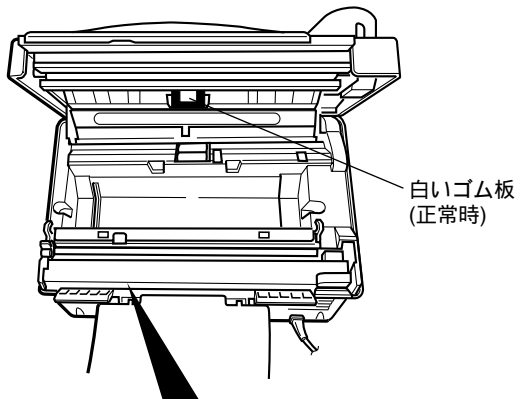


カバー  
開レバー

- 2 原稿を取り除きます。

- 3 原稿を、セットする側から取り除いたときは、内部の白いゴム板の状態を確認します。

原稿を排出する側から抜いたときは手順4へ進んでください。



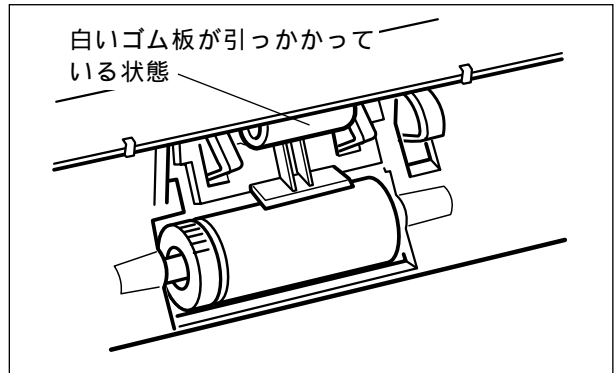
白いゴム板  
(正常時)

## ⚠注意

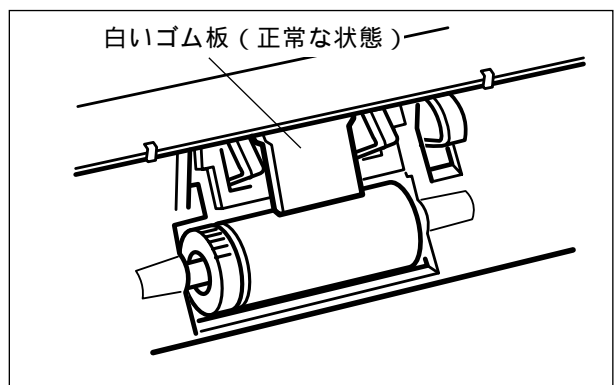
手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。  
サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。



図のように引っかかっていたら、戻してください。



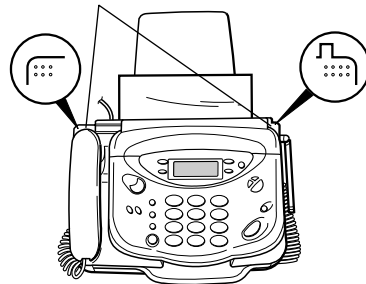
白いゴム板が引っかかっている状態



白いゴム板 (正常な状態)

- 4 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。

ここを押します



- 5 セット を押します。

約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

紙のサイズ B4 237mm

5秒後

紙のサイズ A4 297mm

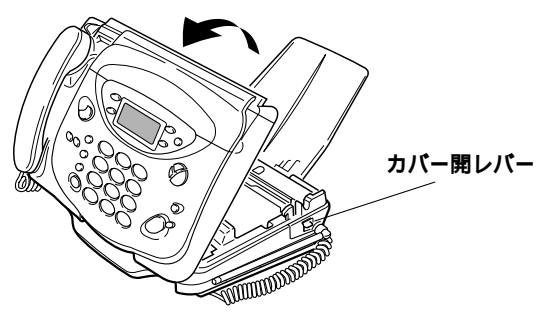
10/17 12:00

0

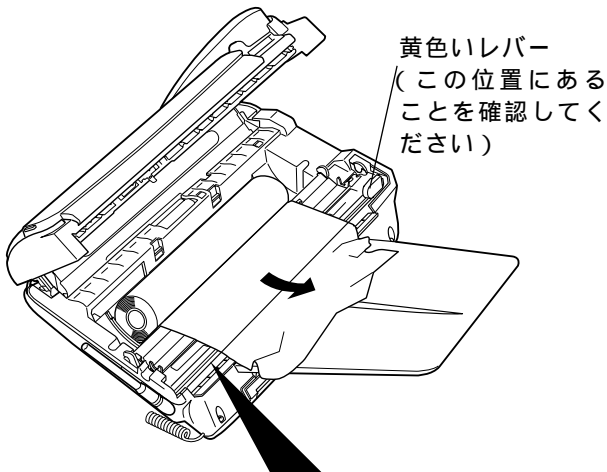
# ? 記録紙が詰まったとき

カバー開レバーの表示が出ます。

1 カバー開レバーを下に押し、カバーを開けます。

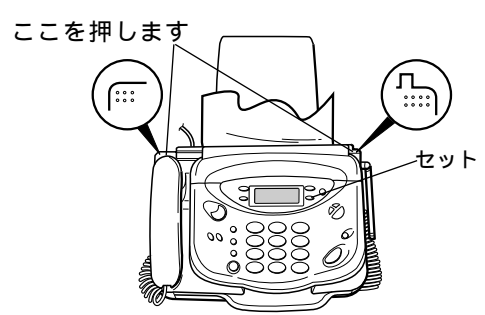


2 記録紙を引き出します。  
記録紙のしわになった部分から、10cmくらい長く引き出します。

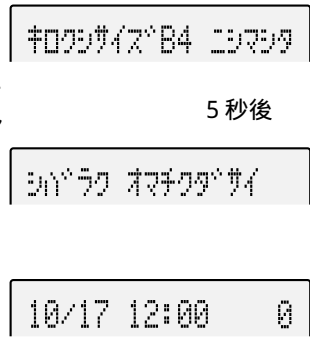


**注意**  
手を触れないようにご注意ください。けがをすることがあります。  
サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをすることがあります。

3 記録紙をはさむようにしてカバーを閉めます。



4 セットを押します。  
約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。



**ご注意**  
黄色いレバーが図の位置にないときは、手で押して図の位置に戻してください。レバーが正しい位置に

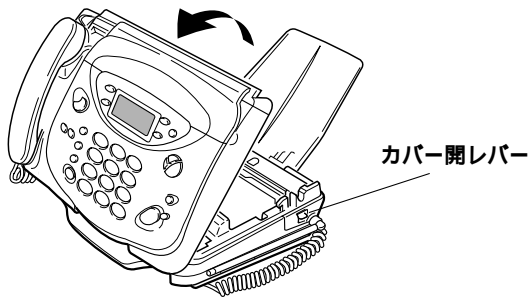
ない状態でカバーを閉めると、記録紙づまりの原因となります。

# ? 記録紙の交換

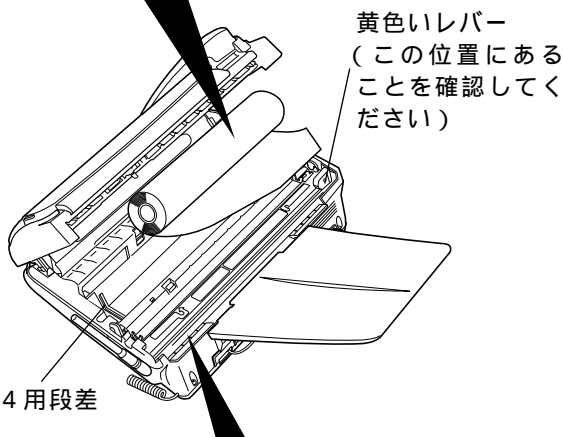
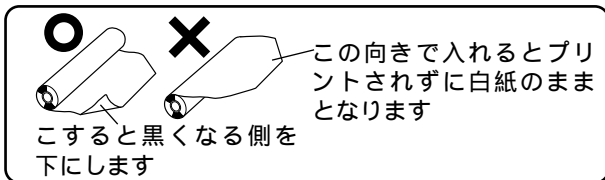
記録紙は巻き芯内径が1インチ(25.4mm)のものを使用してください。

「**カバー開レバー**」の表示が出ます。

- 1 カバー開レバーを下に押してカバーを開けます。



- 2 古い記録紙の芯を取り出してから、新しい記録紙を入れます。  
A4サイズのときは段差の中に入れてください。



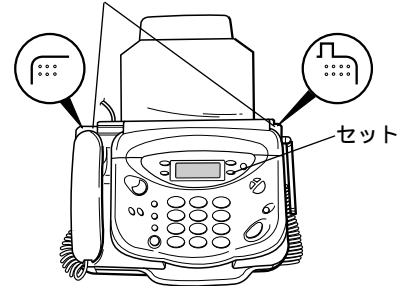
## 注意

手を触れないようにご注意ください。けがをすることがあります。  
サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをすることがあります。

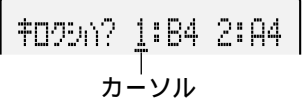


- 3 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。

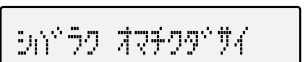
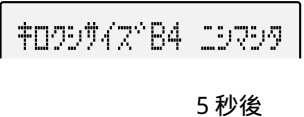
ここを押します



- 4 ① または ② を押して記録紙のサイズを選びます。



- 5 セット を押します。  
約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。



## ご注意

セットした記録紙サイズと設定値によって、受信した原稿は次のようにプリントされます。

記録紙サイズ	設定値	受信した原稿	
		A4	B4
A4	A4	A4幅	A4に縮小
	B4	A4幅*	A4幅原寸*
B4	A4	A4幅	A4に縮小
	B4	A4幅	B4幅原寸

* はみ出した部分はプリントされません。

記録紙の購入については、P.127をご覧ください。

# ? メモリ内の受信文書がプリント出力されないとき

メモリ内にB4サイズの受信文書が入っていて、B4サイズの記録紙からA4サイズの記録紙に交換した場合、記録紙を交換してもメモリ内の受信文書がプリントされません。このようなときは、B4の記録紙を入れてください。

B4の記録紙がないときは、次の手順でプリントできます。ただし、この場合、記録紙からはみ出した部分はプリントされません。

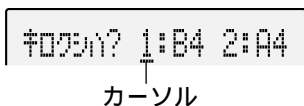
B4の記録紙が不足している状態の表示が出ます。

## 1 カバーを一旦開けて、閉めます。

カバーを開けて記録紙を引き出してからカバーを閉めます。

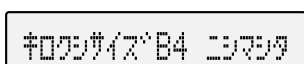
## 2 ① を押して

記録紙のサイズ  
B4を選びます。

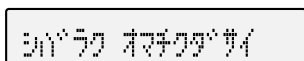


## 3 セット を押し

ます。  
約5秒後、自動的に記録紙がカットされたあと、メモリ内の文書がプリントされます。



5秒後

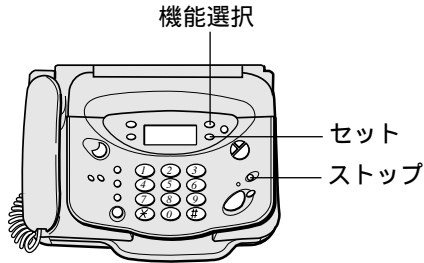


### ご注意

メモリ内の受信文書をプリントしたら、もう一度カバーを開け、記録紙を引き出してからカバーを閉め、記録紙サイズを「A4」に設定しなおしてください。

# ？ 設定内容を確認するとき（システムリスト）

各種の設定状態をプリントして確認することができます。



1 機能選択 を押します。 キリクセンタク シテクダサイ

2 ① を押します。 リスト プリント

3 セット を押します。 テンク リスト プリント

4 機能選択 を押します。 システム リスト プリント

手順3で[セット] ボタンを押したあと3秒待つか、または[セット] を押します

リモート シュツリョクチュウ

10/17 12:00 0

## こんなときは

手順3のあと何もしないで3秒経つと、電子電話帳に登録した電話番号リストがプリントされます。

途中でプリントをやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

## システムリストのプリント例

システム リスト	
1997.10.17 12:00	
NEC	
コウモク	ナイヨウ
キロクシ サイズ	B4
ムメイド ウ チャクシン	シナイ
オンセイ メッセージ	ナカ サナイ
チャクシンベル カイスウ	6 カイ
ヨビ タシベル カイスウ	10 カイ
ヨミトリ ノウド	フツウ
ヘーバ ーセーフ	シナイ
ハッシンモト キロク	スル
カイカ イツウシン モード	シナイ
カンタン シ ユシン	スル
シュド ウ カット	シナイ
ホ イスコール	スル
テンソウ シ ユシン	スル ダイヤル セツテイ = 3(*)
ト アホン1	ナシ
ト アホン2	ナシ
ホリユウメロテ ィ	メロテ ィ 1
カイセン シュベ ツ	DP20
テ ソウバ ンゴ ウ	0120200940
ハッシンモト	NEC
オヤスミ オン シ ヨク	23:00
オヤスミ オフ シ ヨク	7:00
リモート ソウサ	シナイ
リモート トリダ シ	シナイ リモート ハ スワート = 0000
ヨウケン テンソウ	シナイ
テンソウサキ	03 1234 5678
ダイヤルイン	スル ナイセン シテイ ハ ンゴ ウ (FAX ) = 1234 ナイセン シテイ ハ ンゴ ウ (ナイセン1) = 5678 キョウツウメイト ウ = スル ナイセン シテイ ハ ンゴ ウ (ナイセン2) = 9012 ダイヤリオウトウ = シナイ
サイセイ シ ユンシ ヨ	OLD -- NEW
トールセイバ	スル
LCR セツテイ	アリ
リョウキン ヒョウシ	スル オヤキ
ナイセン2	アリ
ナイセン3	ナシ
ナイセン4	ナシ
ナイセン5	ナシ
ハンド スキャナ	
ヨミトリキロクハバ	B4 -- B4
メロテ ィハンド スキャナ	スル

# ? 日頃のお手入れ

## 本体の清掃

装置表面のホコリや汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤にひたした布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。

### ご注意

ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは、絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

## ハンズキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り部は、定期的に（月に1回程度）清掃し、いつもきれいにしておいてください。

### 1 ハンズキャナを外します。

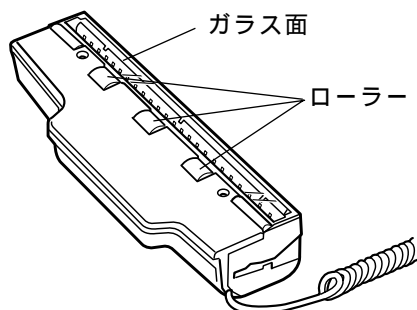
矢印の方向に引き抜きます。



### 2 ガラス面を柔らかい布で拭きます。

### 3 ローラーを拭きます。

水にひたした布を固く絞って拭いてください。



### 4 ハンズキャナを戻します。

原稿読み取り部を上に向けて本体に押し込みます。

## ローラーの清掃

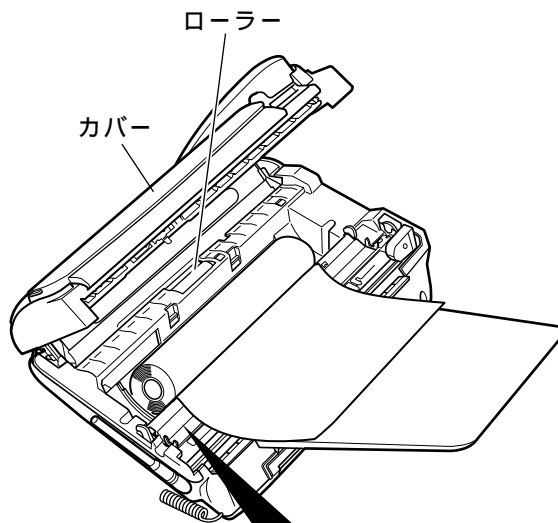
ローラーが汚れると原稿づまりの原因となります。ハンズキャナの清掃といっしょにローラーも清掃してください。

### 1 電源プラグを抜きます。

### 2 カバー開レバーを下に押しカバーを開けます。（ P.114 ）

### 3 ローラーを拭きます。

水にひたした布を固く絞り、ローラーを手で回しながら、ローラーの表面全体を拭いてください。



### ⚠注意

手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。



### 4 電源プラグを差し込みます。

### 5 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。（ P.114 ）

### 6 セットを押します。

約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

# ? 電池パックの交換（子機）

充電しても通話中にすぐに電池がなくなり、通話できないようになったら、新しい電池パックと交換してください。

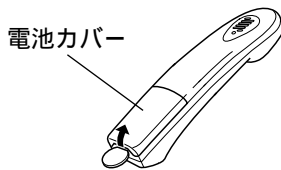
電池パックの寿命は通常の使用で約2年です。電池パックを交換しても短縮ダイヤルに登録した電話番号は消去されません。

ご注意

電池パックを入れていない状態で、子機を充電器に置かないでください。

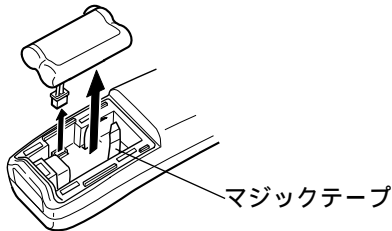
## 1 電池カバーを外します。

電池カバーの溝に硬貨などを差し込み、ひねるようにすると外れます。



## 2 古い電池パックを外します。

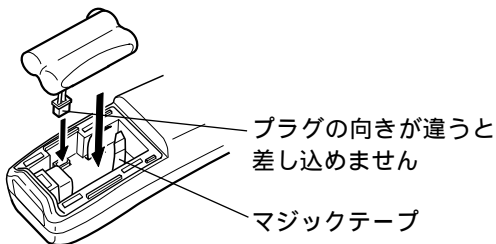
電池パック接続用のコードを強く引っ張らないでください。故障の原因となります。



## 3 新しい電池パックを取り付けます。

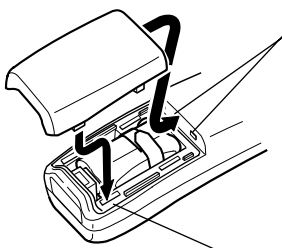
新しい電池パックのプラグを差し込んでから入れます。コードをはさまないように注意してください。

電池パックを入れたあと、マジックテープで固定してください。



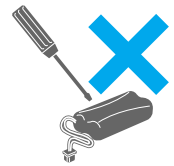
## 4 電池カバーを取り付けます。

の穴に入れてから、の穴にツメを入れるようにして、カバーを取り付けてください。



## 警告

電池パックは、水や火の中に入れてたり、加熱や分解をしたりしないでください。電池パックのコードはショートさせないように注意してください。



指定以外の電池パックを使用しないでください。

電池パックから液もれしたり異臭がしたりするときは、ただちに火気より遠ざけてください。

万一、電池パックが液もれして、液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水でよく洗ったのち、ただちに医師の治療を受けてください。目に障害を与える恐れがあります。また、もれた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。

電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発生したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し使用中を中止してください。

## 電池パックについて

電池パックは、必ず本機専用のもの（NB-R24M）をお使いください。（P.127）

新しい電池パックは充電されていません。電池パックを交換したら、子機を充電器に置いて、9時間以上充電してください。

電池パックにはニカド電池を使用しています。ニカド電池は貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本機を廃棄する際には電池パックを取り出し、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。



Ni-Cd

電池仕様：NB-R24M、2.4V、600mAh、NEC



# ? こんなときは ( Q & A )

	こんなときは	内 容	参照 ページ
待機中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？	P.18
	「カバー/キロクシ カクニン」と表示が出た	・カバーが開いています。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	P.113 P.114
電話 (親機/子機)	受話器から何も聞こえない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線が接続されていますか？ ・受話器のコードは接続されていますか？	P.18 P.20 P.17
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？	P.21
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ ・おやすみモードになっていませんか？	P.47 P.96
	ベルの音が小さい(大きい)	・ベルの音量を調整してください。	P.47
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手がファクスかもしれません。[スタート/コピー]ボタン(子機では[FAX]ボタン)を押してみてください。	P.34
	相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。	P.47
	ワイワイトークで相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。 ・装置の左側面のスピーカがふさがっていませんか？	P.47
	ワイワイトーク中に「ピー」、「キー」等の異常音(ハウリング音)が聞こえた	・P.36、P.37をご覧ください。	-
	[おやすみ]ボタンが点滅する	・電話がかかってくると、[おやすみ]ボタンは点滅します。故障ではありません。	P.34
	トーン(ブッシュ)信号の送出しのしかたは？	・P.48をご覧ください。	-
	着信ベル/呼出ベルの意味がわからない	・P.71をご覧ください。	-
	公衆電話で電話をかけた相手から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・P.71をご覧ください。	-
	電話をかけた時、相手に自分の電話番号が表示されるのか？	・表示されません。ファクス送信のときは、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手機に表示されます。	P.22
	海外に電話をかけるとき、ダイヤルボタンを押してダイヤルした時はつながるが、短縮ダイヤルではつながらない	・P.29をご覧ください。	-
	スーパーLCR付き電話機を、外付け電話機として使用しているが、本機のスーパーLCRはどうすればよいのか？	・本機を「スーパーLCRを利用する」に設定してご利用ください。 外付け電話機ではスーパーLCRは使用できません。	P.103
	親機から子機を呼び出せない 親機に「デンパ ショウチュウ」と表示が出た 親機に「コキ オウトウ アリマセン」と表示が出た	・子機を親機に近づけてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 ・近くで別のコードレス電話機を使用していませんか？ ・子機の電池残量を確認してください。	P.5

	こんなときは	内 容	参照 ページ
電話 (子機)	電話がかけれない(「ツー」という音が聞こえない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>親機の電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？</li> <li>子機は充電されていますか？</li> <li>電話回線が接続されていますか？</li> </ul>	P.18 P.20
	電話をかけようとしたら「ピー・ピー…」という音がした	<ul style="list-style-type: none"> <li>親機から離れすぎています。親機に近づいてください。</li> </ul>	P.5
	ベル(呼出音)が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベルの音量調整が「切」になっていませんか？</li> <li>親機に近づいてみてください。</li> <li>親機のアンテナの向きを変えてみてください。</li> <li>子機は充電されていますか？</li> <li>おやすみモードになっていませんか？</li> </ul>	P.47 P.5 P.96
	相手の声が聞き取りにくい	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量調整をしてください。</li> </ul>	P.47
	通話中に声かとぎれたり雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>親機に近づいてみてください。</li> <li>親機のアンテナの向きを変えてみてください。</li> <li>テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。</li> </ul>	P.5
	通話中に「ピッピッピッ…」という音が鳴り出した	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池の充電残量が1分以内になっています。</li> </ul>	P.5
	通話中にすぐに電池がなくなる	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池パックを交換してください。</li> </ul>	P.118
	通話中にファクスに切り替わった(受話器から何も聞こえなくなった)	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤って[ FAX ]ボタンに触った可能性があります。もう一度かけなおしてください。</li> </ul>	-
	[ 着信 / 充電 ]ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>充電器に正しく置いてください。</li> </ul>	P.18
speax23の子機をspeax315の子機として使えるのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>使えません。使用している電波の周波数、内線番号の登録方法、充電方法が違うので、子機の流用はできません。</li> </ul>	-	
増設子機が使えない	<ul style="list-style-type: none"> <li>増設子機に対する識別番号( IDコード )の登録が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。</li> </ul>	P.48	

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス (コピー)	コピーが白紙になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピーする面を下に向けて原稿をセットしましたか？</li> <li>記録紙の向き(表裏)は正しくセットされていますか？</li> </ul>	P.58 P.114
	コピー中に「ピー」という音が鳴り続けた	<ul style="list-style-type: none"> <li>[ ストップ ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。</li> <li>原稿がつまっています。</li> <li>記録紙がつまったか、なくなっています。</li> </ul>	P.112 P.113
	コピーがかすれた コピーがうすい	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。</li> </ul>	P.63
	コピーが鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿読み取り部を清掃してください。</li> <li>当社推奨の記録紙を使用してください。</li> </ul>	P.117 P.127

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス (送信)	原稿をセットしたのに「ゲンコウ ガアリマセン」の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。</li> <li>原稿が厚すぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。)</li> <li>原稿が薄すぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。)</li> <li>原稿が小さすぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。)</li> <li>装置カバーの内側にある白いゴム板が原稿セット台に引っかかっているか確認してください。引っかかっていたら戻してください。</li> <li>ローラーを清掃してください。</li> </ul>	P.58 P.59 P.112 P.117
	原稿が斜めに入った	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿を取り除き、もう一度やりなおしてください。</li> <li>原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。</li> <li>ローラーを清掃してください。</li> </ul>	P.112 P.58 P.117
	原稿の読み取り中に「ピー」という音がして止まってしまい、「ゲンコウ カクニン」と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿を取り除き、もう一度やりなおしてください。</li> </ul>	P.112
	原稿が送られず、「アイテサキ ムオウトウ」と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手先の電話番号を確認してください。</li> <li>相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。</li> <li>相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。</li> </ul>	-
	原稿が送られず、「アイテサキ ハナシチュウ」と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手先が話中です。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。</li> <li>回線が混み合っています。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。</li> </ul>	-

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス(送信)	何回送信しても「サイハッコ マチ」になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手が話中です。</li> <li>電話がかかけられるかを確認してください。</li> <li>手動で送信してみてください。</li> </ul> (手動とは、電話をかけて話をして、その後に双方がファクスを送る/受ける操作をする方法です。)	P.65 P.26 P.66
	通話ができるが、ファクスの送信/受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話回線を背面の「電話機」端子に接続していませんか？このときは、装置の内部よりカチカチと異常音が発生します。</li> </ul>	P.20
	送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手のファクスに記録紙切れ等が起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。</li> </ul>	-
	「ツウシン イジョウ x x」と表示が出た(XXは2桁の英数字)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーコード表を参照して対処してください。</li> </ul>	P.126
	送信に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>画質モードの設定が「コマカイ」,「シャシン」,「ジドウ」のときは、「フツウ」や「チイサイ」のときに比べ、送信に時間がかかります。</li> <li>「ジドウ」にしたときは、原稿の内容により送信時間が長くなることがあります。</li> <li>原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。</li> <li>回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。</li> </ul>	P.62
	海外への送信ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外へ送信する時は、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です。(手動とは、受信信号「ピーヒョロヒョロ」と聞こえてから送る方法です。)</li> <li>短縮ダイヤルを使う場合、例えば001の後にポーズを入れて交換機の待ち時間を作ってください。</li> <li>海外通信の設定をすると、エコキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。</li> </ul>	P.65 P.66 P.29 P.69
	送ったファクスが縮小された	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手機(受信側)がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると自動的にA4サイズに縮小して送信されます。</li> <li>A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると縮小して送信されます。</li> </ul>	P.64 P.58
	送受信でサイズが違う	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファクスの場合は、送受信で若干の差がでます。原稿/記録紙の送り誤差(原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み)があります。</li> <li>1つ上の項目も参照してください。</li> </ul>	-
	送信した原稿が相手先で白紙になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？送る面を下に向けてセットして、もう一度送りなおしてください。</li> <li>相手先の記録紙の向き(表裏)が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送りなおしてください。</li> </ul>	P.58
	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送りなおしてください。</li> </ul>	P.63
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部を清掃してください。コピーが鮮明なときは、回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。</li> <li>通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてください。</li> <li>画質モードを変えて送ってみてください。</li> </ul>	P.60 P.117 P.62
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り部を清掃してください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。</li> </ul>	P.60 P.117

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファ ク ス ( 受 信)	「シバラク オマチクダサイ」と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	-
	「ツウシン イジョウ x x」と表示が出た(x xは2桁の英数字)	・エラーコード表を参照して対処してください。	P.126
	「カバー/キロクシ カクニン」と表示が出た	・カバーが開いています。 ・記録紙がつまったり、なくなっています。	P.113 P.114
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・コピー中や登録中のときは、[ストップ]ボタンを押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。 ・電話モードに設定しているときは自動受信できません。 ・着信ベル回数が10回以上に設定されている場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できません。	P.71 P.72
	受信中に「ピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手のファクスに原稿づまり等が起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてもらってください。	-
	受信中に「ピー」という音が鳴り続けた	・[ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・記録紙がつまったり、なくなっています。	P.113
	通話はできるが、ファクスの送信/受信ができない	・電話回線を背面の「電話機」端子に接続していませんか？このときは、装置の内部よりカチカチと異常音が発生します。	P.20
	受信した原稿が白紙になる	・記録紙の向き(表裏)が正しくセットされていますか？ ・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	P.114
	受信した画像が鮮明でない	・通話中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてもらってください。 ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送りなおしてもらってください。	P.60
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本機でコピーをとってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送りなおしてもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。	P.60 P.128
	記録紙がひんぱんにつまる	・当社推奨の記録紙を使用してください。	P.127
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	・おやすみモードになっていて、メモリに受信していませんか？ ・同じ回線にモデムが接続されていませんか？モデムの電源をOFFにしてテストしてください。	P.96
	相手先から正常にファクスを送ったと言われたが、受信していない	・おやすみモードでメモリに受信していませんか？	P.96
	海外からの受信ができない	・国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用の時は、送受信の手順等が違う場合があります。サービス提供会社等にお問い合わせください。	-
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	・海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	-
	コンビニエンスストアからのファクス受信ができない	・P.34をご覧ください。	-
	FAXかんたん受信ができない	・「FAXかんたん受信をする」に設定されていますか？ ・受話器から『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・相手がファクス信号を出さない機種の場合は、FAXかんたん受信はできません。[スタート/コピー]ボタンを押してください。	P.76
	A4の原稿を受信しているが、半分に縮小されてしまう	・「ペーパーセーブする」に設定していませんか？ ・相手先(送信側)で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。	P.77

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス (受信)	ペーパーセーブに設定してもペーパーセーブにならない	・ P.77をご覧ください。	-
	記録紙がなくなったときはどうなるのか？	・ 次の受信からメモリ代行受信します。	P.71 P.79
	受信でもコピーでも左端が欠ける	・ 記録紙は、正しくA4サイズの位置に合わせてセットしてください。 ・ A4の記録紙を使用していて、記録紙サイズをB4に設定していませんか？ ・ A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のまま、原稿をガイドの右側に合わせて送信/コピーをすると左側約2～3cmが欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。	P.114  P.58
	時々、10cm位白紙が切られることがある	・ 本機の近くに1300Hzに近いノイズを出す製品(環境による)があることが考えられます。ファクシミリ通信網による受信と判断して、ファクス受信状態となるために起こります。一度、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。	P.128
	ファクス情報サービスの取り出ししかたは？	・ P.75をご覧ください。	-
	子機で出たときのファクスの受信方法は？	・ P.70をご覧ください。	-

	こんなときは	内 容	参照 ページ
留守番電話	留守設定ができない	・ 用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。	P.83
	『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』と聞こえた	・ 用件がすぐいっぱいになります。不要な用件を消去してください。	P.83
	留守設定しているのに留守番電話が応答しない	・ 「電話モード」でお使いの場合、「トールセイバしない」に設定すると、留守番電話が応答しません。「トールセイバする」に設定してください。	P.87
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・ 「トールセイバしない」に設定すると、「着信ベル回数の設定」で設定した回数だけベルが鳴ります。	P.79 P.87
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった(用件件数は表示されている)	・ モニタスピーカ音量が「切」になっています。	P.47
	留守設定時にも転送受信(外付け電話機でのファクス受信)と、FAXかんたん受信はできるか？	・ 転送受信もFAXかんたん受信もできます。	-
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・ 着信ベル回数を10回以下に設定してください。	P.72
	留守設定にしているとファクスがメモリに入ってしまう	・ 記録紙がなくなっていないですか？ ・ おやすみモードになっていませんか？ ・ 「リモート取り出しをする」に設定していませんか？	P.114 P.96 P.89
	外出先から操作(リモート操作)できない	・ パスワードは登録しましたか？ ・ プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・ 「リモート操作する」に設定してありますか？	P.89
	用件転送は6秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	・ 転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	-
	おやすみモードがタイマ切替で解除されても、留守設定の状態となる	・ おやすみモードの間に用件を録音または、リモート取り出しの文書をメモリに受信したときは、このことをお知らせするために[留守]ボタンを点滅させています。	P.97
	おやすみモードのタイマ切替を使用したときに入ったメモリの内容と用件はいつプリントまたは再生されるのか？	・ メモリされた受信文書は、留守設定を解除した時にプリントされます。録音された用件は、[再生]ボタンを押した時、または留守設定を解除した時に再生されます。	P.82 P.84

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ハ ン ド ス キ ャ ナ	「ハンドスキャナ カクニン」と表示が出た	・ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。	P.99
	ハンドスキャナでコピーできない	・普通に原稿をセットしてコピーできますか？ ・凹凸のある原稿を読み取っていませんか？	P.60 P.98
	読み取り中に「ピッピッピッ」という音がした	・読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	P.99
	記録位置がズれる	・原稿を基準線と読み取りマークに合わせてください。	P.99
	ハンドスキャナで読みとると、拡大または縮小コピーになる	・拡大 / 縮小コピーの設定を確認してください。	P.101

	こんなときは	内 容	参照 ページ
外 付 け 電 話 機	電話がかかけられない	・回線種別の設定が合っていますか？外付け電話機の説明書をご覧ください。	-
	転送受信できない(ファクス受信)	・転送受信をするように設定されていますか？ ・こちらから電話をかけたときは、転送受信できません。親機の [スタート/コピー] ボタンを押して受信してください。	P.78
	電話がかかってきた時に、親機のベルは鳴っているのに外付け電話機のベルは途中で鳴りやむ	・ファクス / 電話自動切替したあとは、外付け電話機のベルは鳴りません。	P.71
	ファクスを使用中に、外付け電話機の受話器を上げてしまったら、通信異常になった	・外付け電話機がブランチ接続( 並列接続 )になっていませんか？	P.16
	電話に出たら、「トゥルルル」という音が聞こえ、その後、『ファクシミリの方は...』というメッセージが流れ、話ができない	・ブランチ接続になっています。 ・ベルが鳴っている時に受話器をとってください。スピークスだけ鳴っている時は、スピークス側で出てください。	P.16
	「FAXかんたん受信をする」に設定しているが、外付け電話機ではできない	・外付け電話機ではメッセージは流れません。「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたあと無音になります。それから受話器を戻してください。	P.76
	構内交換機(PBX)に接続したときに、転送受信できない	・外付け電話機は、背面の「電話機」端子に接続されていますか？ ・ダイヤル回線の場合、外付け電話機で電話を受けた時、相手がファクスのとき(「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたとき)は、次の操作を行ってください。 [ 3 ]を押す 5秒ほど待ってから受話器を戻す トーン信号(プッシュ信号)送出機能があるとき トーンボタン(またはPB)を押す [ 3 ] * ]を押す	P.21

	こんなときは	内 容	参照 ページ
いろいろなサービス	ポケベル呼び出しができない	・ 用件転送がセットされていますか？	P.93
	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合の ファクスの使用上の問題点は？	・ P.35をご覧ください。	-
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？ また、外付け電話機は使用できるか？	・ 使えません。 ・ 外付け電話機も使用できません。	P.6
	ダイヤルインで使用时、外付け電話機 のベルが鳴らなくても、電話を受けたり かけたりできるか？	・ 外付け電話機のベルが鳴らなくても、親機のベルが鳴っている間に取れば、電話で話せます。また、こちらから電話をかけることもできます。	-
	ダイヤルインサービスを利用している が、用件転送はできるか？	・ 用件転送はできます。	-
	NTTのボイスワープ(転送サービス) に加入したが、電話への転送ができる か？	・ 無鳴動着信に設定していると転送できません。着信ベル回数は、ボイスワープ(転送)するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ(転送)するようにしなければなりません。 ・ ボイスワープに加入すると、相手が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	P.72 P.73

	こんなときは	内 容	参照 ページ
接続方法	ホームテレホンにファクスを接続したら ドアホンが使えなくなった	・ 配線の線芯数に違いがあります。ホームテレホンのメーカーにお問い合わせください。 ・ 接続方法を確認してください。	P.130
	ホームテレホンにファクスを接続する 方法は？	・ P.130をご覧ください。	-
	ホームテレホンに接続して、ファクスの ベルが鳴るがホームテレホンの電話 機のベルが鳴らない	・ P.130をご覧ください。	-
	パソコンと接続しているが、ファクスの 受信ができない	・ P.131をご覧ください。	-
	パソコンと接続しているが、時々ファ クスが動作し、パソコン通信ができな い	・ パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離して置いてみてください。 ・ パソコン通信にファクスの転送受信番号(3と*)が含まれているため、ファクスが転送受信状態になっています。転送受信を「しない」に設定し、テストしてみてください。(3*以外に、2*、5*、7*に設定できます。) ・ パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器により装置を分離してください。	P.78 P.131

	こんなときは	内 容	参照 ページ
その他	回線種別の設定のしかたは？	・ P.21をご覧ください。	-
	発信元情報の入れ方は？	・ P.56をご覧ください。	-
	音量調整のしかたは？	・ P.47をご覧ください。	-
	短縮番号を変えたいがどうすれば消せるか？	・ P.29、P.31をご覧ください。	-
	「ゲンコウ カクニン」と表示されるが、 原稿が取れない	・ カバーを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.112
	発信元登録で電話番号を入れたが、登 録されない	・ 数字は文字表に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	P.56

# ? エラーコード表

ファクスの送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに「ツウシン イジョウ ××」と表示されたり、不達レポートに「××」とプ

リントされます。「××」はエラーコードで、その内容と対処方法を示します。

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
00	原稿が正しくセットされていないため、送信できませんでした。原稿を正しくセットして、もう一度送りなおしてください。	P.58
40	記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	P.114
41	記録紙がつまりました。取り除いてください。	P.113
46	原稿がつまりました。セットしなおしてください。	P.112
47	カバーが開いています。カバーを閉めてください。	P.114
71	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。	-
74、75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送りなおしてください。	-
77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手機の記録紙がなくなった、もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	-
92、97、98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	-

70番以降のコードは、電話回線または相手機種関係の異常の場合です。再度送信してみてください。  
上記以外のエラーコードについては、NECサービスセンターまたはサービスステーションにお問い合わせください。  
( P.128 )





## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。



## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

## ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの

【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

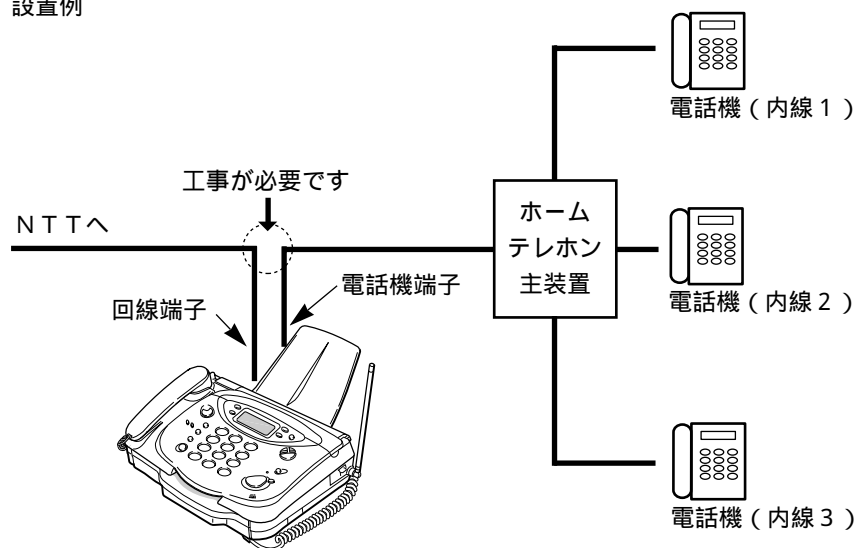
# ? いろいろな接続のしかた

## ホームテレホン / ビジネスホンとの接続

交換機などの付加装置をご利用の場合は、接続工事が必要になることがあります。ホームテレホンやビジネスホンをお買い求めになっ

たお店またはホームテレホンなどのメーカーにご相談ください。

設置例



### ご注意

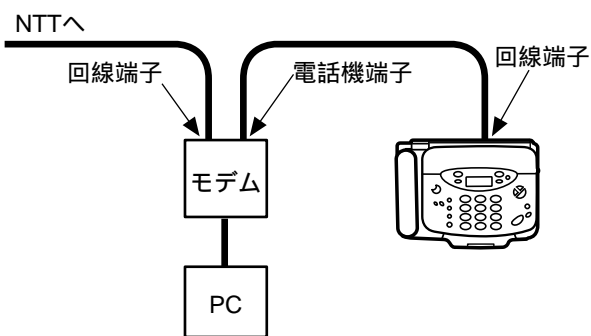
本機を使用中は、ホームテレホン / ビジネスホンは使用できません。

ファクス / 電話自動切替をしたあと（お買い上げいただいた状態では、ベルが6回鳴ったあと）は、ホームテレホンやビジネスホンのベルが鳴らなくな

ります。したがって、着信ベル回数を多くしたり（P.72）、電話モードを利用したり（P.74）できませんが、着信ベル回数が10回以上の場合と、電話モードの場合、相手が自動送信のファクスのときは、自動的に受信できません。

## パソコンやモデムとの接続

モデムやモデム内蔵のパソコンで電話を受けるときには、モデムの電話機端子に本機を接続します。このときモデムやモデム内蔵のパソコン側の設定を、ファクス/電話自動切替する(自動的に回線を接続する)前に着信するようにしてください。モデムやモデム内蔵のパソコンの接続方法や設定方法の詳細については各々の説明書を参照してください。

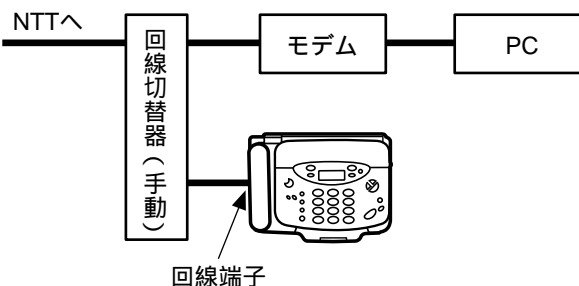


### ご注意

モデムやモデム内蔵のパソコンと接続した場合、NTT回線種別は手動で設定してください。( P.21) モデムやモデム内蔵のパソコンで通信中は、本機を使用できません。

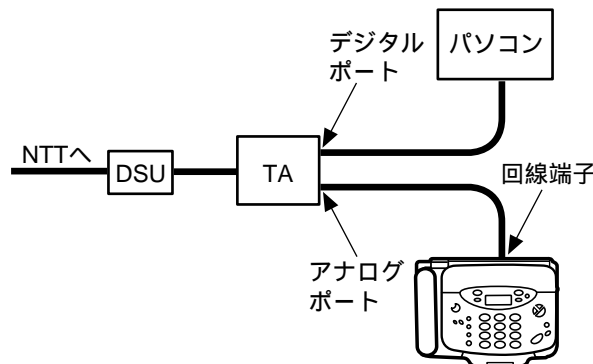
通話中やファクスの通信中にモデムやモデム内蔵のパソコンを操作すると、通話やファクスがただちに切断されます。本機が使用中でないことを確認してから、モデムなどを操作してください。

参考：回線切替器を利用する場合



## ISDNターミナルアダプタ(TA)との接続

インターネットやパソコン通信にNTTのISDN回線(INSネット64)を利用する場合は、ISDNターミナルアダプタ(以下TA)を用いて本機とパソコンの両方を接続することができます。ISDN回線を利用するには、NTTへ申し込みが必要です。



### ご注意

TAとNTT電話回線間の接続には、デジタルサービスユニット(DSU)が必要です。あらかじめご用意ください。なお、TAによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはTAの説明書をご覧ください。

TAには、デジタル信号で通信するためのデジタルポートと、アナログ信号で通信するためのアナログポートが装備されています。本機はアナログポートに接続します。

本機のダイヤル信号の種別はプッシュ信号(PB)に設定してください。( P.21)

## ドアホンとの接続

本機にはNTTドアホンを最大2台まで接続できます。工が必要です。

### ご注意

接続できるNTTドアホンの種類と接続工事については、お近くのNECサービスセンターまたはサービスステーションにご相談ください（P.128）。（ドアホンとドアホンユニットをNTT窓口よりご購入していただく必要があります。）



### 設定

- 1 機能選択 を押します。 キリウセントク シテクダサイ
  - 2 3 を押します。 セツテイモト
  - 3 セット を押します。 ヨミリ ノク
  - 4 機能選択 を8回押します。  
それまでのドアホン接続状態が表示されます。  
ドアホン セツゾク ナシ
  - 5 1 または 3 を押して接続状態を選びます。  
 ドアホン1セツゾク： ドアホン1接続のとき  
 ドアホン2セツゾク： ドアホン2接続のとき  
 ドアホン1&2セツゾク： ドアホン1、2接続のとき  
 ドアホン セツゾクナシ： ドアホン未接続のとき
  - 6 セット を押します。 カリヨウ
- 10/17 12:00
0

### こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

# ?仕様

ご使用前の  
注意

設置と  
初期状態

電  
話

ファ  
クス

留  
守  
番

ハン  
ドス  
キャ  
ナ

ス  
ー  
パ  
ー  
レ  
ー  
C  
R

ダイ  
ヤル  
イン

困  
っ  
た  
と  
き  
は

## ファクシミリ

原稿サイズ	最大：257（幅）×1000（長さ）mm 最小：128（幅）×128（長さ）mm
記録紙サイズ	感熱記録紙：257mm×30mmまたは210mm×30mm （ロール紙：外径62mm以下、巻き芯内径1インチ）
有効読取幅	250mm（B4） 205mm（A4）
有効記録幅	252mm（B4） 208mm（A4）
走査方法	送信：CCDによる原稿移動型平面走査またはCCD内蔵ハンドスキャナ移動による平面走査 受信：感熱記録ヘッドによる平面走査
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：15.4 line/mm（細かい） 7.7 line/mm（小さい） 3.85 line/mm（普通）
変調方式	G3/ECM
通信速度	9600/7200/4800/2400bps
電送時間*1	G3約20秒、ECM約12秒
記録方式	感熱記録
適用回線	一般電話回線 ファクシミリ通信網(1300Hz)(G3サービス) ダイヤルイン回線 NCC回線
自動受信	有(ファクス/電話自動切替機能内蔵)
電源	AC 100±10V 50/60Hz
消費電力	待機時：約7W 最大時：約120W 送信時：約20W（標準的原稿） 受信時：約33W（標準的原稿）
直流抵抗	261（20mA）
外形寸法	約330（横幅）×270（奥行き）×120（高さ）mm （突起部を除く）
重量	約3.9kg（記録紙を除く）
使用環境	温度：5～35 湿度：45～85%

*1 電送時間は、A4判700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85 line/mm）で高速モード（9600bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

## コードレス電話

使用可能距離	見通し距離約100m
使用周波数帯	250MHz/380MHz帯
送信出力	10mW（FM）
電波のチャンネル数	89チャンネル 通話：87チャンネル 制御：2チャンネル

## 子機

電源	DC2.4V（NB-R24M ニカド電池使用）
電池充電時間	約9時間
電池持続時間	連続待受時：約200時間 連続通話時：約8時間
外形寸法	54（横幅）×53（奥行き）× 198（高さ）mm（突起部を除く）
重量	約230g（電池パックを含む）
電池寿命	約2年

## 充電器

外形寸法	66（横幅）×234（奥行き） ×74（高さ）mm
重量	約240g
消費電力	4VA（充電時）
電源	AC 100V 50/60Hz

## 留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約15分（標準音声）
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2 固定：1

本機を設置する場所がNTTの支店・営業所（交換機）から遠距離の場合、お使いになれないことがありますのでNECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。  
外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

# ? 索引

## [ア]

- アース接続・・・・・・・・・・ 3、18
- アース端子・・・・・・・・・・ 13、18
- ISDNターミナルアダプタとの接続・・・・・・・・ 131
- IDコード・・・・・・・・・・ 48
- アフターサービスのご案内・・・・・・・・ 127
- 安全に正しくご使用いただくために・・・・・・・・ 2
- アンテナ・・・・・・・・・・ 13

## [イ]

- 居留守モニタ・・・・・・・・・・ 82
- 色がついた原稿や文字がうすい原稿を送るとき・・ 63
- インフォメーションサービス・・・・・・・・ 127

## [ウ]

- 受ける
  - 親機で受ける・・・・・・・・・・ 34、70
  - 子機で受ける・・・・・・・・・・ 34、70
  - 電話を受ける・・・・・・・・・・ 34
  - ファクスを受ける・・・・・・・・・・ 70

## [エ]

- Fネットについて・・・・・・・・・・ 74
- エラーコード表・・・・・・・・・・ 126
- LCR
  - スーパーLCRの利用・・・・・・・・・・ 102

## [オ]

- 応答メッセージ・・・・・・・・・・ 83
  - 応答メッセージを消去する・・・・・・・・ 81
  - 応答メッセージを録音する・・・・・・・・ 80
- オートリダイヤル・・・・・・・・ 65、67、100
- 同じ相手にもう一度かける・・・・・・・・ 27
- オプション品・消耗品のご案内・・・・・・・・ 127
- おまかせ送信・・・・・・・・・・ 67
- 親機・・・・・・・・・・ 12
  - 親機から子機を呼ぶ・・・・・・・・ 42、43
  - 親機で受ける・・・・・・・・・・ 34、70
  - 親機で電子電話帳を使って電話をかける・・ 30
  - 親機で電話をかける・・・・・・・・ 26
  - 親機で保留する・・・・・・・・・・ 28
  - 親機でリダイヤルする・・・・・・・・ 27
  - 親機の音量調整・・・・・・・・・・ 47
  - 親機の受話器を持たずに話をする・・・・・・・・ 36
  - 親機の電子電話帳の登録・・・・・・・・ 29
  - 電話を親機から子機へ転送する・・・・・・・・ 38
  - 電話を親機から外付け電話機へ転送する・・ 49
- おやすみモード・・・・・・・・・・ 95
  - おやすみモードの解除のしかた・・・・・・・・ 96
  - おやすみモードの設定のしかた・・・・・・・・ 96
  - おやすみモードのタイマ切替・・・・・・・・ 97

- 音声メッセージの設定・・・・・・・・・・ 73
- オンフックダイヤル・・・・・・・・・・ 26
- オンライン通信・・・・・・・・・・ 103、106
- 音量
  - 受話音量・・・・・・・・・・ 47
  - ベル音量・・・・・・・・・・ 47
  - モニタスピーカ音量・・・・・・・・ 47
  - ワイワイトーク音量・・・・・・・・ 47
  - 音量調整・・・・・・・・・・ 47

## [カ]

- 海外通信の設定・・・・・・・・・・ 69
- 海外へ送るときは・・・・・・・・・・ 65
- 外出先で留守番電話の用件を聞く/  
受信文書を取り出す・・・・・・・・ 90
- 外出先で留守番電話/ファクスを操作する・・・・ 89
- 解除
  - おやすみモードの解除のしかた・・・・・・・・ 96
  - (送信結果通知)・・・・・・・・・・ 68
  - (優先着信)・・・・・・・・・・ 55
  - 用件転送の解除・・・・・・・・・・ 93
  - 留守解除のしかた・・・・・・・・ 82、88

## 回線種別

- NTT回線種別の設定・・・・・・・・・・ 21
- 回線種別の自動選択・・・・・・・・ 22
- 回線端子・・・・・・・・・・ 13
- 外線リモート・・・・・・・・・・ 89
- 外線を他の内線へ転送する・・・・・・・・ 38
- 拡大/縮小の設定・・・・・・・・・・ 101
- 各部の名称・・・・・・・・・・ 13
- 画質モード・・・・・・・・・・ 62

## カット

- 自動カットモード・・・・・・・・・・ 77
- 手動カットのしかた・・・・・・・・・・ 77
- 手動カットモード・・・・・・・・・・ 77

## 壁掛け

- 充電器を壁掛けする場合・・・・・・・・ 17

## かんたん受信

- FAXかんたん受信・・・・・・・・ 34、49、70
- FAXかんたん受信の設定・・・・・・・・ 76

## 感熱紙

- 普通紙みたいな感熱紙・・・・・・・・ 127

## [キ]

- 機能選択早見表・・・・・・・・・・ 144
- キャッチホンの利用・・・・・・・・・・ 35
- キャリアシート・・・・・・・・・・ 59、127
- Q&A・・・・・・・・・・ 119
- 共通鳴動について・・・・・・・・ 108
- 記録紙・・・・・・・・・・ 12
  - 記録紙がつまったとき・・・・・・・・ 113



記録紙がなくなったときは	71、79
記録紙の交換	114
記録紙のサイズ	114
記録紙のセット	19
記録紙の保管について	127
記録紙を節約して受ける	77
高感度感熱記録紙	127
記録紙スタッカ	12、13
記録紙スタッカの取り付け	18
記録紙排出口	13

## [ク]

組み立てかた	16
クリアレポート	6

## [ケ]

## 原稿

## 色がついた原稿や

文字がうすい原稿を送るとき	63
---------------	----

送れない原稿	59
--------	----

原稿がつまったとき	112
-----------	-----

原稿のサイズおよび厚さ	58
-------------	----

原稿のセットのしかた	58
------------	----

原稿を取り除きたいときは	58
--------------	----

写真や小さい文字の原稿を送るとき	62
------------------	----

送信原稿の種類の設定	62
------------	----

原稿セットガイド	13、58
----------	-------

原稿挿入口	13
-------	----

原稿排出口	13
-------	----

原稿読み取り部	117
---------	-----

## [コ]

## 交換

記録紙の交換	114
--------	-----

電池パックの交換	118
----------	-----

高感度感熱記録紙	127
----------	-----

コードレス子機使用についてのご注意	5
-------------------	---

子機	12、15
----	-------

子機から親機を呼ぶ	44、45
-----------	-------

子機使用上のご注意	5
-----------	---

子機で受ける	34、70
--------	-------

## 子機で親機の短縮番号を

使って電話をかける	32
-----------	----

子機で短縮ダイヤルを使って電話をかける	32
---------------------	----

子機で電話をかける	26
-----------	----

子機で保留する	28
---------	----

子機でリダイヤルする	27
------------	----

子機で留守番電話を操作する	88
---------------	----

子機の音量調整	47
---------	----

子機の充電	18
-------	----

子機の使用可能時間	18
-----------	----

子機の増設	48
-------	----

子機の短縮ダイヤルの登録	31
--------------	----

子機の通話範囲について	5
-------------	---

子機の取り付け	17
---------	----

子機のベルを優先して鳴らす	55
---------------	----

子機の防水機能について	6
-------------	---

子機を持たずに話をする	37
-------------	----

電話を子機から親機へ転送する	39
----------------	----

電話を子機から他の子機へ転送する	40
------------------	----

国際ダイヤル通話	65
----------	----

国際電話を利用するとき	29
-------------	----

固定メッセージ	83
---------	----

## コピー

コピーしてはいけないもの	61
--------------	----

コピーのしかた	60
---------	----

ハンズキャナでコピーする	99
--------------	----

梱包品の確認	12
--------	----

## [サ]

## サービスセンターノ

サービスステーション	127、128
------------	---------

## 再生

再生中のボタン操作について	84、88
---------------	-------

用件の再生	84、88
-------	-------

用件の再生順序の設定	86
------------	----

再発呼待ち	65
-------	----

## [シ]

識別番号の登録	48
---------	----

時刻セット	20
-------	----

システムリスト	116
---------	-----

自動カットモード	77
----------	----

自動送信	64
------	----

自分の電話番号を登録する	22
--------------	----

自分の名前を登録する	56
------------	----

写真や小さい文字の原稿を送るとき	62
------------------	----

## 充電

子機の充電	18
-------	----

充電残量	26
------	----

充電器	12、15
-----	-------

充電器の取り付け	17
----------	----

充電器を壁掛けする場合	17
-------------	----

修理を依頼されるときは	127
-------------	-----

縮小の設定	101
-------	-----

## 受信

転送受信の設定	78
---------	----

FAXかんたん受信	34、49、70
-----------	----------

FAXかんたん受信の設定	76
--------------	----

ポーリング受信について	75
-------------	----

メモリ代行受信	70、71、79
---------	----------

受信文書		おやすみモードの設定のしかた	9 6
受信文書を取り出す	9 0	音声メッセージの設定	7 3
メモリ内の受信文書が		海外通信の設定	6 9
プリント出力されないとき	1 1 5	拡大 / 縮小の設定	1 0 1
手動カットのしかた	7 7	スーパー L C R の設定	1 0 4
手動カットモード	7 7	(送信結果通知)	6 8
手動送信	6 6	送信原稿の種類の設定	6 2
受話音量	4 7	着信ベル回数設定	7 2
受話器	1 2、1 3	転送受信の設定	7 8
受話器の取り付け	1 7	(ドアホン)	1 3 2
仕様	1 3 3	トールセイバの設定	8 7
消去		発信元を相手の記録紙にプリントする設定	5 7
応答メッセージを消去する	8 1	F A X かんたん受信の設定	7 6
(自分の電話番号)	2 2	ファクス / 電話自動切替の設定	7 1
すべての用件を消去する	8 5	ファクス優先の設定	7 3
全用件消去	8 5	(ペーパーセーブ)	7 7
(短縮ダイヤル)	3 1	ボイスコールの設定	4 1
(電子電話帳)	2 9	保留メロディの設定	5 5
特定の用件だけを消去する	8 5、8 8	無鳴動着信の設定	7 1、7 3
用件の消去	8 5	メロディハンドスキャナの設定	1 0 1
用件を聞いてから一度に消去する	8 5、8 8	優先着信の設定	5 5
消耗品のご案内	1 2 7	用件の再生順序の設定	8 6
初期状態について	2 4	呼出ベル回数設定	7 2
		料金表示の設定	1 0 6
[ ス ]		リモート操作の設定	8 9
スーパー L C R		留守設定のしかた	8 2、8 8
スーパー L C R の設定とご利用の準備操作	1 0 4	設定内容を確認するとき	1 1 6
スーパー L C R の利用	1 0 2		
スタッカ		[ ソ ]	
記録紙スタッカ	1 2、1 3	操作パネル	1 3、1 4
記録紙スタッカの取り付け	1 8	送信	
スピーカ		おまかせ送信	6 7
モニタスピーカ	1 3	自動送信	6 4
モニタスピーカ音量	4 7	手動送信	6 6
		電子電話帳で送信	6 9
[ セ ]		ハンドスキャナで送信する	1 0 0
清掃		メモリ送信	6 7
ハンドスキャナの清掃	1 1 7	送信結果通知	6 8
本体の清掃	1 1 7	送信できなかったときは	6 5
ローラーの清掃	1 1 7	増設	
接続		子機の増設	4 8
アース接続	3、1 8	相談窓口	
N T T 電話回線の接続	2 0	お客様相談窓口	1 2 7
外付け電話機の接続	2 1	外付け電話機	
電源の接続	1 8	外付け電話機の接続	2 1
設置		外付け電話機の利用	4 9
設置スペース	1 6		
設置についてのご注意	2	[ タ ]	
設定		ターミナルアダプタとの接続	1 3 1
N T T 回線種別の設定	2 1	代行受信	
		メモリ代行受信	7 0、7 1、7 9

タイマ  
おやすみモードのタイマ切替・・・ 9 7

ダイヤルイン  
ダイヤルインサービスの利用・・・ 1 0 7  
ダイヤルインの登録・・・ 1 0 9

ダイヤル回線・・・ 2 1

代理応答について・・・ 1 0 8

ダストカバー・・・ 1 3

端子  
アース端子・・・ 1 3、1 8  
回線端子・・・ 1 3  
電話機端子・・・ 1 3

短縮ダイヤル・・・ 2 9  
子機で短縮ダイヤルを使って  
電話をかける・・・ 3 2  
子機の短縮ダイヤルの登録・・・ 3 1

短縮番号・・・ 2 9、3 1

[チ]  
小さい文字の原稿を送るとき・・・ 6 2

着信  
無鳴動着信の設定・・・ 7 1、7 3  
優先着信の設定・・・ 5 5

[ツ]  
通話圏外・・・ 2 6  
通話時間表示について・・・ 2 6  
通話範囲について・・・ 5  
通話録音・・・ 5 3  
通話録音した内容を相手に聞かせる・・・ 5 4  
通話録音した内容を聞く・・・ 5 4

[テ]  
ディスプレイ・・・ 1 4  
停電が復旧すると・・・ 6  
停電したとき・・・ 6

手入れ  
日頃のお手入れ・・・ 1 1 7

電源の接続・・・ 1 8

電子電話帳・・・ 2 9  
親機で電子電話帳を使って電話をかける・・・ 3 0  
親機の電子電話帳の登録・・・ 2 9  
電子電話帳で送信・・・ 6 9

転送・・・ 3 8、4 9  
外線を他の内線へ転送する・・・ 3 8  
電話を親機から子機へ転送する・・・ 3 8  
電話を親機から外付け電話機へ転送する・・・ 4 9  
電話を子機から親機へ転送する・・・ 3 9  
電話を子機から他の子機へ転送する・・・ 4 0  
電話を外付け電話機から親機へ転送する・・・ 4 9  
転送受信の設定・・・ 7 8

電池パック・・・ 1 2、1 1 8、1 2 7  
電池パックの交換・・・ 1 1 8  
電池パックの取り付け・・・ 1 7

電話回線  
N T T電話回線の接続・・・ 2 0  
電話回線接続コード・・・ 1 2

電話機端子・・・ 1 3

電話コンセント・・・ 1 6

電話番号リストのプリント・・・ 3 3

電話番号を登録する・・・ 2 2

電話モード・・・ 7 2、7 4

電話を受ける・・・ 3 4

電話をかける・・・ 2 6  
親機で電子電話帳を使って電話をかける・・・ 3 0  
親機で電話をかける・・・ 2 6  
子機で親機の短縮番号を  
使って電話をかける・・・ 3 2  
子機で短縮ダイヤルを使って電話をかける・・・ 3 2  
子機で電話をかける・・・ 2 6

[ト]  
ドアホン  
通話中にドアホンから  
呼び出しがあったとき・・・ 5 1  
ドアホンから呼び出しがあったとき・・・ 5 0  
ドアホンとの接続・・・ 1 3 2  
ドアホンとの通話・・・ 5 0  
ドアホンでモニタする・・・ 5 2

登録  
親機の電子電話帳の登録・・・ 2 9  
子機の短縮ダイヤルの登録・・・ 3 1  
自分の電話番号を登録する・・・ 2 2  
自分の名前を登録する・・・ 5 6  
ダイヤルインの登録・・・ 1 0 9  
発信元登録・・・ 5 6  
用件転送先の登録・・・ 9 2  
リモートパスワードの登録・・・ 8 9

トールセイバ・・・ 7 9  
トールセイバの設定・・・ 8 7

トーン信号送出・・・ 4 8

特長・・・ 1 0

取り付け  
記録紙スタッカの取り付け・・・ 1 8  
子機の取り付け・・・ 1 7  
充電器の取り付け・・・ 1 7  
受話器の取り付け・・・ 1 7  
電池パックの取り付け・・・ 1 7

[ナ]  
内線通話・・・ 4 1  
内線通話の途中で電話がかかってきたとき・・・ 4 6

内線のベルの鳴りかた	4 1
内線番号について	3 8、4 1
名前を登録する	5 6

## [ハ]

ハウリング音	3 6、3 7、4 2、4 3、4 4、4 5
パスワード	
リモートパスワードの登録	8 9
パソコンやモデムとの接続	1 3 1
発信元	
発信元記録	5 7
発信元登録	5 6
発信元を相手の記録紙にプリントする設定	5 7
早わかりガイド	
操作早わかりガイド	1 4 0
ハンズフリー通話	3 6
ハンズキャナ	1 3
ハンズキャナでコピーする	9 9
ハンズキャナで送信する	1 0 0
ハンズキャナでの	
原稿の読み取りについて	9 8
ハンズキャナの清掃	1 1 7
メロディハンズキャナの設定	1 0 1

## [ヒ]

ビジネスホンとの接続	1 3 0
------------	-------

## [フ]

ファクシミリ通信網	7 4
ファクス	
外出先で留守番電話/ファクスを操作する	8 9
ファクス/電話自動切替の仕組み	7 1
ファクス/電話自動切替の設定	7 1
ファクス優先の設定	7 3
ファクスを受ける	7 0
ファクスを送る	6 4
留守番電話やファクスが入ったら	
外出先へ通知する	9 2
FAXかんたん受信	3 4、4 9、7 0
FAXかんたん受信の設定	7 6
FAXサービスボタンの使いかた	7 5
ファクス情報サービス	1 2 7
ファクス情報サービスの利用	7 5
不達レポート	6 5、6 7、1 0 0
普通紙みたいな感熱紙	1 2 7
ブッシュ回線	2 1
ブッシュ信号	4 8
ブランチ接続	1 6
プリント	
システムリストのプリント例	1 1 6
電話番号リストのプリント	3 3

## [ヘ]

ペーパーセーブ	7 7
ベル	
子機のベルを優先して鳴らす	5 5
着信ベル	7 1、7 9
着信ベル回数の設定	7 2
ベル音量	4 7
呼出ベル	7 1
呼出ベル回数の設定	7 2

## [ホ]

ボイスコールの設定	4 1
防水機能について	6
ホームテレホン/ビジネスホンとの接続	1 3 0
ポーリング受信について	7 5
ポケベル呼び出し	9 4
補修性能部品について	1 2 7
保証書	1 2、1 2 7
保留	
保留する	2 8
保留メロディ	2 8
保留メロディの設定	5 5
本書の見方	1
本体の清掃	1 1 7

## [ム]

無鳴動着信の設定	7 1、7 3
----------	---------

## [メ]

メッセージ	
応答メッセージを消去する	8 1
応答メッセージを録音する	8 0
音声メッセージの設定	7 3
固定メッセージ	8 3
メモリ	
原稿の読み取り中に	
メモリがいっぱいになったとき	6 7
メモリ送信	6 7
メモリ代行受信	7 0、7 1、7 9
メモリ内の受信文書が	
プリント出力されないとき	1 1 5
メモリフル	6 7
メモリクリアレポート	6
メロディ	
保留メロディ	2 8
保留メロディの設定	5 5
メロディ音	2 8
メロディハンズキャナの設定	1 0 1

[モ]

文字がうすい原稿を送るとき ..... 6 3

モデムとの接続 ..... 1 3 1

モニタ

    居留守モニタ ..... 8 2

    ドアホンでモニタする ..... 5 2

    モニタスピーカ ..... 1 3

    モニタスピーカ音量 ..... 4 7

[ユ]

優先着信の設定 ..... 5 5

[ヨ]

用件

    外出先で留守番電話の用件を聞く ..... 9 0

    用件の再生 ..... 8 4、8 8

    用件の再生順序の設定 ..... 8 6

    用件の再生と消去 ..... 8 4、8 8

    用件の消去 ..... 8 5

    留守番電話に録音された用件や  
    通話録音した内容を相手に聞かせる ..... 5 4

用件転送 ..... 9 2

    用件転送先の登録 ..... 9 2

    用件転送されたときの受けかた ..... 9 3

    用件転送の解除 ..... 9 3

    用件転送のセット ..... 9 3

読み取り

    原稿の読み取り ..... 9 8

    原稿の読み取り中に  
    メモリがいっぱいになったとき ..... 6 7

    ハンドスキャナでの  
    原稿の読み取りについて ..... 9 8

    読み取りできる範囲 ..... 5 8

    読み取り濃度 ..... 6 3

    読み取り幅と読み取り長さ ..... 9 8

[ラ]

ランプ ..... 1 4、6 4

    LCRランプ ..... 1 4、1 0 5

    着信 / 充電ランプ ..... 1 5

[リ]

リスト

    システムリスト ..... 1 1 6

    電話番号リストのプリント ..... 3 3

リダイヤル ..... 2 7

    オートリダイヤル ..... 6 5、6 7、1 0 0

リモート

    外線リモート ..... 8 9

    リモート操作コード表 ..... 9 1

    リモート操作の設定 ..... 8 9

    リモート取り出し ..... 8 9

    リモートパスワードの登録 ..... 8 9

    留守番リモート ..... 8 8

    料金表示の設定 ..... 1 0 6

[ル]

留守

    留守解除のしかた ..... 8 2、8 8

    留守設定での動作 ..... 7 9

    留守設定のしかた ..... 8 2、8 8

留守番電話

    外出先で留守番電話の用件を聞く ..... 9 0

    外出先で留守番電話 / ファクスを操作する ..... 8 9

    子機で留守番電話を操作する ..... 8 8

    留守番電話に録音された用件や  
    通話録音した内容を相手に聞かせる ..... 5 4

    留守番電話やファクスが入ったら  
    外出先へ通知する ..... 9 2

    留守番リモート ..... 8 8

[レ]

レバー

    カバー開レバー ..... 1 3

    黄色いレバー ..... 1 1 4

レポート

    不達レポート ..... 6 5、6 7、1 0 0

    メモリクリアレポート ..... 6

[ロ]

ローラーの清掃 ..... 1 1 7

録音

    応答メッセージを録音する ..... 8 0

    通話中の会話を録音する ..... 5 3

    通話録音 ..... 5 3

    通話録音した内容を相手に聞かせる ..... 5 4

    通話録音した内容を聞く ..... 5 4

    録音できる時間 ..... 5 3、8 2




[ワ]


























































ワイワイトーク ..... 3 6

    ワイワイトーク音量 ..... 4 7




# ？ 操作早わかりガイド

## 親機

 : 受話器をとる     : 受話器を戻す     : ボタンを押す




電話をかける	 → 相手先の番号 → 通話 →   → 相手先の番号 →  → 通話 → 
リダイヤルする	 →  → 通話 → 
保留する	通話中 → 
もう一度話す	保留中 →  (または  ) → 通話
子機で話す	保留中 → (受話器を戻していないとき  ) → 子機  (または  ) → 通話
電子電話帳を使って電話をかける	 →  相手先を選ぶ →   →  → 短縮番号 (01 ~ 20)
電話を受ける	着信音 →  → 通話 → 
キャッチホンの利用	通話中 → 「ブルルル・ブブッ」 →  → あとの人と通話 →  → はじめの人と通話
ワイワイトーク (ハンズフリー通話)	 → 相手先の番号 → 通話 → 
転送 (外線を子機へ転送する)	通話中 →  → 内線番号 (注) → (ボイスコール) → 子機と話す →  子機が出ないときは [内線 / ドアホン] を押す
転送される側	呼出音 → (メッセージを聞く) →  (または  ) → 親機と話す → 外線と通話
内線通話 (子機を呼ぶ)	 → 内線番号 (注) → (ボイスコール) → 通話 (  ) →  (  ) 子機 呼出音 → (メッセージを聞く) →  (または  ) → 通話 →  (または  )
内線通話の途中で電話がかかってきたとき	内線通話中 → 着信音 →  →  → 外線と通話
音量調整	ベル音量      待機中 →  /  (音量) 受話器で通話中 →  /  (音量) ワイワイトーク音量      ワイワイトーク中 →  /  (音量) モニタスピーカ音量      用件再生中 →  /  (音量)
トーン(プッシュ)信号送出	電話をかける →  (以後のダイヤルはトーン信号が送出される)
ドアホンとの通話	呼出音 →  → 通話 → 
外線と通話中のとき	外線と通話中 → 呼出音 →  → ドアホンと通話 →  → 外線と通話
内線と通話中のとき	内線と通話中 → 呼出音 →  → ドアホンと通話 → 
ドアホンでモニタする	 → ドアホン番号 →  → モニタ (通話) →  (ドアホン1 : 8、ドアホン2 : 9)











(注) 付属の子機 : 2、増設子機 (1 台目) : 3、増設子機 (2 台目) : 4、増設子機 (3 台目) : 5、子機一斉 : *

電話	通話録音 (通話中の会話を録音する)	受話器で通話中 →  → 録音 →  ⊕ストップ
	通話録音した内容を聞く	再生 →  → 再生 →  ⊕ストップ
	留守番電話に録音された 用件や通話録音した内容を 相手に聞かせる	受話器で通話中 → 再生 →  → 再生 →  ⊕ストップ
コピー	コピーのしかた	原稿セット →  ⊕スタート コピー
ファクス	画質モード	文字の大きさ  [ フツウ チイサイ コマカイ シャシン ジドウ ]
	自動送信	原稿セット → 相手先の番号 →  ⊕スタート コピー
	手動送信	原稿セット →  → 相手先の番号 → 通話 → 相手が受信操作 →  ⊕スタート コピー → 
	おまかせ送信 (メモリ送信)	原稿セット → 相手先の番号 → おまかせ送信 
	電子電話帳で送信	原稿セット →  電話帳/キャッチ 相手先を選ぶ →  ⊕スタート コピー
	ファクスを受ける	通話中 → 相手が送信操作 →  ⊕スタート コピー →    → 「ポー・ポー・ポー…」 →  ⊕スタート コピー →    → 「ポー・ポー・ポー…」 → 『ファクシミリを受信します…』 → 
FAXサービスボタンの 使いかた (ポーリング受信)	FAXサービス  → 相手先の番号 →  ⊕スタート コピー	
留守番	留守設定 / 解除のしかた	 留守
	用件の再生	再生 →  → 再生 →  ⊕ストップ
	特定の用件だけを 消去する	消去したい用件を再生中 →  消去
	用件を聞いてから一度に 消去する	用件を再生 → 『用件は以上です』 → 「* * * …」 →  消去
	おやすみモードの設定 / 解除のしかた	おやすみ 
ハンドスキャナ	ハンドスキャナで コピーする	ハンドスキャナを外す → 原稿の上に置く →  ⊕スタート コピー → 原稿を読み取る →  ⊕ストップ → ハンドスキャナを戻す
	ハンドスキャナで 送信する	ハンドスキャナを外す → 相手先の番号 → 原稿の上に置く →  ⊕スタート コピー → 原稿を読み取る →  ⊕ストップ → ① → ハンドスキャナを戻す

(注) ファクス自動受信 P.71、原稿 / 記録紙がつまったとき P.112、P.113、記録紙の交換 P.114

# 子機

 : 充電器からとる  : 充電器に戻す  : ボタンを押す

電話をかける	 → 相手先の番号 → 通話 →   外線 → 相手先の番号 → 通話 → 	
リダイヤルする	 →  <small>リダイヤル ボース</small> → 通話 → 	
保留する	通話中 →  <small>保留</small>	
もう一度話す	保留中 →  <small>保留</small> (または  外線)、または  ) → 通話	
親機で話す	保留中 → (充電器に戻していないとき  切) → 親機  → 通話	
短縮ダイヤルの登録	 <small>短縮 登録</small> → 短縮番号 (0~9) → 相手先の番号 →  <small>短縮 登録</small>	
短縮ダイヤルを使って電話をかける	 →  <small>短縮 登録</small> → 短縮番号 (0~9)	
親機の短縮番号を使って電話をかける	 →  <small>短縮 登録</small> →  # → 親機の短縮番号の下1桁 (1~9、0)	
電話を受ける	着信音 →  → 通話 →  着信音 →  外線 → 通話 → 	
キャッチホンの利用	通話中 → 「プルルル・プップ」 →  <small>優先 キャッチ</small> → あとの人と通話 →  <small>優先 キャッチ</small> → はじめの人と通話	
ワイワイトーク (ハンズフリー通話)	 <small>ワイワイトーク</small> → 相手先の番号 → 通話 → 	
転送 (外線を親機へ転送する)	通話中 →  <small>内線/ドアホン</small> →  1 → (ボイスコール) → 親機と話す →  (または  切)	
転送される側	呼出音 → (メッセージを聞く) →  → 子機と話す → 外線と通話	
転送 (外線を他の子機へ転送する)	通話中 →  <small>内線/ドアホン</small> → 内線番号 (注) → メッセージを言う →  (または  切)	
転送される側	呼出音 →  (または  ) <small>内線/ドアホン</small> → メッセージを聞く → 外線と通話	
内線通話 (親機を呼ぶ)	 <small>内線/ドアホン</small> →  1 → (ボイスコール) → 通話 →  (または  切)	
親機	呼出音 → メッセージを聞く → 通話 (ボイスコール未設定時  → 通話 →  )	
内線通話の途中で電話がかかってきたとき	内線通話中 → 着信音 →  外線 → 外線と通話	
音量調整	ベル音量	待機中 →  0 (1秒以上) [切 (ピピッ) 標準 大] → ボタンから手を離す
	受話音量	子機をとって通話中 →  外線 [標準 大 特大]
	ワイワイ トーク音量	ワイワイトーク中 →  <small>ワイワイトーク</small> [標準 大 特大]
トーン(プッシュ)信号送出	電話をかける →  * (以後のダイヤルはトーン信号が送出される)	
ドアホンとの通話	呼出音 →  (または  ) <small>内線/ドアホン</small> → 通話 →  (または  切)	
外線と通話中のとき	外線と通話中 → 受話口から呼出音 →  <small>内線/ドアホン</small> → ドアホンと通話 →  外線 → 外線と通話	
内線と通話中のとき	内線と通話中 → 受話口から呼出音 →  切 → 呼出音 →  <small>内線/ドアホン</small> → ドアホンと通話 →  切	
ドアホンでモニタする	 <small>内線/ドアホン</small> → ドアホン番号 → モニタ (通話) →  (または  切) (ドアホン1 : 8、ドアホン2 : 9)	

(注) 付属の子機 : 2、増設子機 (1台目) : 3、増設子機 (2台目) : 4、増設子機 (3台目) : 5、子機一斉 : *



電話	通話録音 (通話中の会話を録音する)	子機をとって通話中 →  → (5) → 録音 →
	通話録音した内容を聞く	待機中 →  → (2) → 再生 →  (または )
	留守番電話に録音された 用件や通話録音した内容を 相手に聞かせる	子機をとって通話中 →  → (2) → 再生 →
	優先着信の設定	待機中 →  (ゆっくり点滅)
ファクス	送信結果通知	待機中 → (FAX) ( [内線/ドアホン] がゆっくり点滅 )
	ファクスを受ける	通話中 → 相手が送信操作 → (FAX) → 「ポー・ポー・ポー...」 → (FAX) → 「ポー・ポー・ポー...」 → 『ファクシミリを受信します...』 →
留守番	留守設定のしかた	待機中 →  → (7) →  (または )
	留守解除のしかた	待機中 →  → (9) →  (または )
	用件の再生	待機中 →  → (2) → 再生 →  (または )
	特定の用件だけを 消去する	消去したい用件を再生中 → (8)
	用件を聞いてから一度に 消去する	用件を再生 → 『用件は以上です』 → 「ピッピッピッ...」 → (8)

### 外付け電話機

ファクスの受けかた	→ 「ポー・ポー・ポー...」の時 → (3) → 5秒待つ → (ダイヤル回線の場合) → (3) (✳) (初期値) → (プッシュ回線の場合) → 無音 → (FAXかんたん受信の場合)
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 外線リモート (外出先の電話機)

電話をかける → # [パスワード] # → 操作コード  
(プッシュ信号)

巻き戻し	# 1 #	留守設定	# 7 #
用件再生	# 2 #	用件消去	# 8 #
早送り	# 3 #	留守設定解除	# 9 #
用件転送設定	# 6 1 #	リモート 取り出し	# 0 #
用件転送解除	# 6 2 #		

# ? 機能選択早見表

■ : お買い上げ時の状態です

	機 能	内 容	手 順	参照ページ
システム	電話番号リスト	電子電話帳のプリント	機能選択 ① セット	P.33
	システムリスト	各種設定内容のプリント	機能選択 ① セット 機能選択	P.116
受信設定	無鳴動着信	(する) × (しない)	機能選択 ② セット	P.73
	音声メッセージ	(流す) × (流さない)	機能選択 ② セット 機能選択	P.73
	着信ベル回数	1~19回、** (無制限) 6回	機能選択 ② セット 機能選択 × 2回	P.72
	呼出ベル回数	1~19回、10回	機能選択 ② セット 機能選択 × 3回	P.72
	読み取り濃度	~ 薄く読み取る 濃く読み取る	機能選択 ③ セット	P.63
設定モード	ペーパーセーブ	(する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択	P.77
	発信元記録	■ (する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択 × 2回	P.57
	海外通信	(する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択 × 3回	P.69
	FAXかんたん受信	■ (する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択 × 4回	P.76
	手動カット	(する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択 × 5回	P.77
	ボイスコール	■ (する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択 × 6回	P.41
	転送受信	しない、2*、3*、5*、7*	機能選択 ③ セット 機能選択 × 7回	P.78
	ドアホン接続	ドアホン1、ドアホン2、ドアホン1&2、ドアホンなし	機能選択 ③ セット 機能選択 × 8回	P.132
	保留メロディ	メロディ1、メロディ2	機能選択 ③ セット 機能選択 × 9回	P.55
	回線種別	20P、10P、PB	機能選択 ③ セット 機能選択 × 10回	P.21
登録モード	電子電話帳	相手先の番号と名前	機能選択 ④ セット 電話帳 / キャッチ	P.29
	電話番号	自分の電話番号	機能選択 ④ セット 機能選択	P.22
	発信元	自分の名前	機能選択 ④ セット 機能選択 × 2回	P.56
	おやすみモードのタイマ切替	おやすみモードのオン / オフ時間	機能選択 ④ セット 機能選択 × 3回	P.97
	リモート操作	リモート操作 (する) × (しない) リモート取り出し (する) × (しない) リモートパスワード	機能選択 ④ セット 機能選択 × 4回	P.89
	用件転送	(する) × (しない) 転送先電話番号	機能選択 ④ セット 機能選択 × 5回	P.92
	ダイヤルイン	(する) × (しない) ファクス用と電話用の番号 共通鳴動 (する) × (しない) 代理応答 (する) × (しない)	機能選択 ④ セット 機能選択 × 6回	P.109
	時刻	年月日、時刻	機能選択 ④ セット 機能選択 × 7回	P.20
留守番電話	全用件消去	用件の全消去	機能選択 ⑤ セット	P.85
	応答メッセージ録音	応答メッセージの録音	機能選択 ⑤ セット 機能選択	P.80
	応答メッセージ消去	応答メッセージの消去	機能選択 ⑤ セット 機能選択 × 2回	P.81
	用件の再生順序	OLD NEW、NEW OLD	機能選択 ⑤ セット 機能選択 × 3回	P.86
	トールセイバ	■ (する) × (しない)	機能選択 ⑤ セット 機能選択 × 4回	P.87
LCR	スーパーLCRの利用	■ (する) × (しない)	機能選択 ⑥ セット	P.104
	料金表示	■ (する) × (しない) 親機だけ表示する、親機と子機も表示する	機能選択 ⑥ セット 機能選択 × 2回	P.106
ハンズフリー	倍率	82%、等倍、115%、122%、141%	ハンズフリーを外す 機能選択	P.101
	メロディ	流す、流さない	ハンズフリーを外す 機能選択 × 2回	P.101



本製品には米国の輸出管理法の規制を受ける製品が含まれており、輸出する場合、輸出先によっては米国政府の許可が必要です。

This equipment contains the components regulated under "U.S.A. Export Administration Regulations". Therefore, U.S. Government approval is required when exported to stipulated areas.

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。

This equipment ( including the softwares ) has the specifications to be used only in Japan. Also our maintenance service and technical supports are not available overseas.

品番	<b>speax 315 KCL</b> <b>speax 315 KCLW</b>	年 月 日
お買い上げ店	TEL ( )	

**日本電気株式会社**

〒108-01 東京都港区芝五丁目7番1号

EOI - 800401 - J

1997年10月 初版発行

© NEC Corporation 1997

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。  
本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。